

---

松戸市総合計画  
前期基本計画評価のための  
市民意識調査

---

結果報告書

平成23年10月

松 戸 市



# 目次

調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の設計.....	3
2 - 1 調査の対象.....	3
2 - 2 サンプル数.....	3
2 - 3 抽出方法.....	3
2 - 4 調査の方法.....	3
2 - 5 調査の期間.....	3
3 調査の枠組み.....	4
4 回収状況.....	9
5 これまでの調査状況.....	9
市民意識調査 単純集計結果.....	11
市民意識調査の回答者の特性.....	29
1 基本属性.....	31
1 - 1 性別.....	31
1 - 2 年齢.....	32
1 - 3 居住地区.....	33
1 - 4 就労状況.....	34
1 - 5 居住年数.....	36
1 - 6 出身地.....	37
1 - 7 家族構成.....	38
2 回答者の特性.....	39
2 - 1 興味関心.....	39
2 - 2 日常的な行動範囲.....	40
2 - 3 主な交通手段.....	41
2 - 4 行政情報の入手先.....	42
2 - 5 行政サービスに対する満足度.....	43
市民意識調査に基づく「指標の現状（値）」.....	45
1 指標の現状（値）.....	47
第1節 連携型地域社会の形成.....	47
第1項 人権を尊重する社会の実現.....	53
第2項 男女共同参画社会づくり.....	58

第3項 市民と行政のパートナーシップの強化.....	62
第5項 IT社会の実現.....	69
第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現.....	74
第1項 多様な生きがい感のある環境づくり.....	74
第2項 健康の維持・増進.....	80
第3項 日常生活および緊急時の安全・安心性の向上.....	84
第4項 福祉のための基盤整備.....	89
第3節 次代を育む文化・教育環境の創造.....	91
第1項 生涯学習の推進（学習活動の割合）.....	95
第1項 生涯学習の推進（学習活動の成果を活かしている割合）.....	99
第3項 生涯にわたるスポーツ活動の支援.....	104
第4項 国際化の推進と平和意識の高揚（外国籍市民との交流の割合）.....	108
第4項 国際化の推進と平和意識の高揚（国際紛争に対する関心の割合）.....	111
第6項 多様な文化・芸術の創造.....	115
第4節 安全で快適な生活環境の実現.....	118
第2項 人と自然が共生するまちづくり.....	123
第4項 安全で安心な地域環境づくり.....	126
第5項 自立をめざした消費者行政の推進.....	131
第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興.....	135
第2項 都市基盤の整備.....	139
第6節 都市経営の視点に立った行財政運営.....	143
第5項 庁舎および庁舎機能の整備充実.....	143
2 平成22年度指標値一覧.....	149
3 松戸市に対する意見・要望（自由記載）.....	150
添付資料：市民意識調査-調査票.....	185

## 調査の概要



# 1 調査の目的

松戸市では、松戸市総合計画後期基本計画(計画期間:平成 23 年度～32 年度)を、今年度より開始しています。今回の調査は、平成 23 年 3 月をもって完了した松戸市総合計画前期基本計画(計画期間:平成 10 年度～22 年度)の評価を行うにあたっての参考とするために実施したものです。

# 2 調査の設計

## 2 1 調査の対象

松戸市に居住する 20 歳以上の男女個人  
(母数:391,185 人、平成 23 年 7 月 6 日現在の住民基本台帳に基づく)

## 2 2 サンプル数

3,000 人

## 2 - 3 抽出方法

性別、年齢、支所管区による層化無作為抽出

## 2 - 4 調査の方法

郵送調査法

## 2 - 5 調査の期間

平成 23 年 7 月 25 日～8 月 9 日

### 3 調査の枠組み

調査の前提となる、前期基本計画「施策展開の方向」の「目的」「指標」および今回の調査対象項目は次のとおりです。

#### 注釈

- 1: 目的は「市民と行政が役割分担を自覚し、協働して実現した状態」を表します
- 2: 主な指標は、「目的の達成度を計るための尺度」を表します

節	項	内容	目的	主な指標	調査対象
1		連携型地域社会の形成	市民が互いを尊重し、住み続けたいと思うまちになる	松戸に住み続けたいと思う人の割合	
	1	人権を尊重する社会の実現	さまざまな人権侵害がなくなり、一人ひとりの個性や生き方がより尊重されるようになる	身の周りで人権が守られていると思っている人の割合	
	2	男女共同参画社会づくり	性別に係わらず、社会・家庭での役割が、今以上に選択できるようになる	性別による役割固定を支持しない人の割合	
	3	市民と行政のパートナーシップの強化	市民主体の地域づくりが活発になる	地域活動に参加している人の割合 NPO法人の数	
	4	情報提供の充実	市民が必要に応じて、知りたい行政情報を得られるようになる	ホームページのアクセス件数	
	5	IT社会の実現	IT技術が活用される地域社会になる	インターネットを利用している人の割合	
2		豊かな人生を支える福祉社会の実現	生涯を通して、心豊かに健やかに暮らせるようになる	健康寿命 ('平均寿命' - '認知症・寝たきりの平均期間')	
	1	多様な生きがい感のある環境づくり	生涯を通して、自分に合った社会参加ができ、生きがい感をもてるようになる	生きがい感をもっている人の割合	
	2	健康の維持・増進	生涯を通して、健康に良いと思う行動や身近な人の健康に配慮ができ、病気や障害をもつことになっても、自分に合った健康生活が送れるようになる	本人が健康であると思う人の割合	
	3	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上	生涯を通して、必要な時に必要に応じて十分な医療、介護、保護、支援などのサービスが受けられ、生活する上での安心感ももてるようになる	日常生活(心配事が起きた時を含む)に対するの安心感をもつ人の割合	
	4	福祉のための基盤整備	生涯を通して、必要な時に健康福祉施設サービスが必要に応じて利用できるようになる	出産や子育てに不安や心配がない人の割合	

節	項	内容	目的	主な指標	調査対象
3		次代を育む 文化・教育環境の創造	多くの市民が暮らしたいと思う文化や教育環境がある	文化・教育に魅力を感じて、いつまでも住み続けたいと思う人の割合	
	1	生涯学習の推進	より多くの人が積極的に学習活動を行い、その成果を活かすようになる	学習活動を行っている人の割合 学習活動の成果を地域社会で活かしている人の割合	
	2	学校教育の推進	個々の発達段階に応じて児童生徒が基礎基本を習得するようになる	基礎基本習得の到達度	
	3	生涯にわたる スポーツ活動の支援	より多くの人がスポーツに親しむようになる	スポーツを行っている人の割合	
	4	国際化の推進と 平和意識の高揚	外国籍市民が暮らしやすくなる	外国籍市民で暮らしに満足している人の割合 外国籍市民と交流している人の割合	
			すべての人が世界平和を望むようになる	国際紛争に対する関心を示す人の割合	
	5	青少年の健全育成	より多くの青少年が社会の一員であることを自覚して生活するようになる	青少年育成団体への小中学生の帰属率	
6	多様な文化・芸術の創造	より多くの人が文化・芸術に親しみ、自ら創造的な活動をするようになる	文化・芸術に親しむ人の割合		
4		安全で快適な 生活環境の実現	安心してゆとりのある暮らしができるようにする	安心やゆとりを感じている人の割合	
	1	良好な生活空間の実現	良好な生活空間に住むことができるようにする	資産価値 (公示価格の増減率の近隣市比較)	
	2	人と自然が共生する まちづくり	緑や水にふれあえるようにする	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合 BOD(75%値)	
	3	リサイクル型の 都市づくり	市民の生活に身近な環境負荷が少なくなる	廃棄物の最終処分量 環境基準達成率(大気・騒音)	
	4	安全で安心な 地域環境づくり	日常生活における火災・交通事故および地震等の災害が発生した時に被害を少なくする	火災による焼死者数(放火自殺者を除く)	
				心肺停止患者の蘇生率 交通事故の発生件数 災害に対して自ら対策を講じている人の割合	
5	自立をめざした 消費者行政の推進	商品やサービスの購入時に、トラブルに巻き込まれることが少なくなる	商品やサービスの購入時に、トラブルに巻き込まれた人の割合		

節	項	内容	目的	主な指標	調査対象
5	魅力ある都市空間の形成と産業の振興		快適で便利な賑わいのあるまちに住むことができるようにする	快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	
	1	都市環境の整備	地域ごとの特色を活かし、交流人口が増えるようにする	昼間人口	
	2	都市基盤の整備	公共交通を利用しやすくする	鉄道の混雑率(緩行電車)	
				鉄道の混雑率(快速電車)	
			車の流れを良くする	渋滞箇所数	
			水害を少なくする	浸水面積	
			汚水が川に直接流れないようにする	下水道利用率 (「下水道利用者数」÷「市内人口」)	
			いつでも安心して水が使えるようにする	(水道水に)満足している人の割合	
	3	活力ある産業の振興	産業を維持・発展させる	商業の年間商品販売額 製造品出荷額等 農業粗生産額 農業粗生産額(10a 当り)	
	4	就労環境と就労機会の整備	安定した雇用が確保されるとともに、働きやすい職場になる	新規求人倍率(松戸市内) 障害者法定雇用率を達成している企業の割合	
5	多様な近郊型観光の振興	観光客が多く訪れるようになる	主要観光スポットの観光客数		
6	都市経営の視点に立った行財政運営		地方分権に対応できる自己責任・自己決定能力を向上させ、行政の自立度を高める	財政力指数	
	1	効率的・効果的な施策を実現するシステムの形成	生産性の向上を図り、質の高い行政運営を推進する	経常収支比率	
	2	行政としての経営基盤の強化	多種多様な行政需要に応えることが可能であり、社会経済情勢の変化に柔軟に対応できる健全財政を維持・増進する	自主財源比率	
	3	広域行政への取り組み	近隣自治体との連携を強化する	連携して実施した業務数	
	4	計画行政の推進	市民に分かりやすい行政運営の中長期ビジョンと戦略を示し、それを推進する	前期基本計画の6節30項に設定した指標の達成率(進捗状況)	
	5	庁舎および庁舎機能の整備充実	市役所・支所の利便性を向上させる	市役所・支所を不便と感じている人の割合	

調査対象の「指標」を調べるために、意識調査用に設問化する必要があります。その際、回答者の立場を「個人」「地域」「社会」の3つに、回答者の意図を「態度(認知・評価・関心)」「行動」「意向」の5つに分類し、設問を作成しました。なお、前期基本計画「施策展開の方向」の「目的」「指標」の設定並びに「指標」の設問化に当たっては、(株)政策情報システム研究所の協力を得て作成したものです。

今回の調査目的に照らし合わせて、平成13年度、平成16年度、平成18年度、平成20年度に実施した市民意識調査の枠組みおよび設問をほぼ踏襲して利用しております。

設問化の方向は次のとおりです。

節	項	主な指標	立場	意図
1		松戸に住み続けたいと思う人の割合	個人	意向
	1	身の周りで人権が守られていると思っている人の割合	社会	態度 (認知)
	2	性別による役割固定を支持しない人の割合	個人	態度 (認知)
	3	地域活動に参加している人の割合	社会	行動
	5	インターネットを利用している人の割合	個人	行動
2	1	生きがい感をもっている人の割合	個人	態度 (認知)
	2	本人が健康であると思う人の割合	個人	態度 (認知)
	3	日常生活(心配事が起きた時を含む)に対するの安心感をもつ人の割合	個人	態度 (認知)
	4	出産や子育てに不安や心配がない人の割合	個人	態度 (認知)
3		文化・教育に魅力を感じて、いつまでも住み続けたいと思う人の割合	社会	態度 (評価)
	1	学習活動を行っている人の割合	個人	行動
		学習活動の成果を地域社会で活かしている人の割合	個人	態度 (認知)
	3	スポーツを行っている人の割合	個人	行動
	4	外国籍市民と交流している人の割合	個人	行動
		国際紛争に対する関心を示す人の割合	社会	態度 (関心)
6	文化・芸術に親しむ人の割合	個人	行動	
4		安心やゆとりを感じている人の割合	地域	態度 (評価)
	2	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	地域	態度 (評価)
	4	災害に対して自ら対策を講じている人の割合	個人	行動
	5	商品やサービスの購入時に、トラブルに巻き込まれた人の割合	個人	行動
5		快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	地域	態度 (評価)
	2	(水道水に)満足している人の割合	地域	態度 (評価)
6	5	市役所・支所を不便と感じている人の割合	個人	意向

さらに、説明変数として属性(「基本的事項」「現在の指向」「行政への関心」)を付け加え、作成しました。

市民意識調査の枠組みは、次のようになります。

説明変数

<属性 : 基本的事項>

- F 1 : 性別
- F 2 : 年齢
- F 3 : 職業
- S Q : 勤務地・通学地
- F 4 : 在住年数
- F 5 : 出身地
- F 6 : 家族構成
- F 8 : 日常行動範囲
- F 9 : 主な交通手段  
(居住地区)



<属性 : 現在の指向>

- F 7 : 現在の興味・関心



<属性 : 行政への関心>

- F 1 0 : 行政情報の入手方法
- F 1 1 : 行政満足度

被説明変数

<個人>

- Q 2 : 性別による役割【態度(認知)】
- Q 4 : 生きがい感【態度(認知)】
- Q 5 : 健康認識【態度(認知)】
- Q 6 : 安心感【態度(認知)】
- Q 8 : 学習の実践【行動】
- Q 9 : 学習成果の活用【態度(認知)】
- Q 1 0 : インターネット利用【行動】
- S Q 1 : 利用用途【行動】
- S Q 2 : 利用媒体【行動】
- Q 1 1 : スポーツ活動【行動】
- Q 1 2 : 文化・芸術活動【行動】
- Q 1 3 : 外国人との交流【行動】
- Q 1 4 : 防災対策【行動】
- Q 1 5 : 消費トラブル【行動】
- Q 1 6 : 市役所の利便【態度(認知)】
- Q 1 8 : 定住意向【意向】

<地域>

- Q 3 : 国際平和【態度(関心)】
- Q 7 : 地域活動への参加【行動】
- Q 1 7-ア : 保健福祉医療【態度(評価)】
- Q 1 7-イ : まちの賑わい【態度(評価)】
- Q 1 7-ウ : 交通の便【態度(評価)】
- Q 1 7-エ : 教育環境【態度(評価)】
- Q 1 7-オ : 文化・芸術環境【態度(評価)】
- Q 1 7-カ : スポーツ環境【態度(評価)】
- Q 1 7-キ : 都市施設【態度(評価)】
- Q 1 7-ク : 水道水【態度(評価)】
- Q 1 7-ケ : 自然環境【態度(評価)】
- Q 1 7-コ : 公害【態度(評価)】
- Q 1 7-サ : まちの景観【態度(評価)】
- Q 1 7-シ : まちの安全性【態度(評価)】
- Q 1 7-ス : 伝統・文化遺産【態度(評価)】
- Q 1 7-セ : 地域のイベント【態度(評価)】
- Q 1 7-ソ : 住宅事情【態度(評価)】
- S Q : 住宅事情の不满【態度(評価)】

<社会>

- Q 1 : 人権の確保【態度(認知)】

自由回答

## 4 回収状況

サンプル数	:3,000 人
有効回収数	:1,567 人
有効回収率	:52.2%

### 【参考】単純集計結果の標本誤差（信頼度 95%）

回答比率 (P) (n) 回答者数	10% (90%) 前後	20% (80%) 前後	30% (70%) 前後	40% (60%) 前後	50% 前後
1,567 人	± 1.5%	± 2.0%	± 2.3%	± 2.5%	± 2.5%
1,500 人	± 1.5%	± 2.1%	± 2.4%	± 2.5%	± 2.6%
1,000 人	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.2%
800 人	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.5%	± 3.5%
600 人	± 2.4%	± 3.3%	± 3.7%	± 4.0%	± 4.1%
400 人	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%

上記の標本誤差は、単純無作為抽出を前提としたものです。

全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、母集団の全数を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがあります。

抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出されます。(信頼度95%)

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(100 - P)}{n}}$$

(N = 母集団数、n = 回答者数、P = 回答の比率)

例えば、今回の調査において、ある設問の回答数(n)が 1,567 人であり、その設問中の選択肢の回答比率(P)が 50%であった場合、その回答比率の誤差は ± 2.5% となり、47.5% ~ 52.5% の範囲にあると考えられます。

## 5 これまでの調査状況

調査年度	調査期間	サンプル数	有効回収数	有効回収率	データの取り扱い
平成 13 年度	平成 13 年 10 月 30 日 ~ 11 月 13 日 (14 日間)	3,000 人	1,612 人	53.7%	平成 13 年度 起点値
平成 16 年度	平成 16 年 11 月 19 日 ~ 12 月 31 日 (42 日間)	3,000 人	1,144 人	38.1%	平成 16 年度 中間値
平成 18 年度	平成 18 年 11 月 29 日 ~ 12 月 12 日 (14 日間)	3,000 人	1,607 人	53.6%	平成 18 年度 中間値
平成 20 年度	平成 20 年 6 月 16 日 ~ 6 月 30 日 (15 日間)	3,000 人	1,407 人	46.9%	平成 19 年度 実績値
平成 21 年度	平成 22 年 1 月 28 日 ~ 2 月 12 日 (16 日間)	3,000 人	1,524 人	50.8%	平成 21 年度 実績値
平成 23 年度	平成 23 年 7 月 25 日 ~ 8 月 9 日 (16 日間)	3,000 人	1,567 人	52.2%	平成 22 年度 実績値



## 市民意識調査 単純集計結果



はじめに、あなたの日頃の身の回りのことについてお聞きします。

Q1 あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか。次の中で、人権が守られていないと日頃感じることをお答え下さい。

選択肢	平成22年度 (今回)			平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	2,209件	141.0%	143.8%	146.0%	158.2%	157.6%
1 女性の人権問題	668人	186件	11.9%	11.1%	12.5%	14.3%	16.1%	17.2%
2 子どもの人権問題		166件	10.6%	9.8%	10.3%	16.3%	15.6%	12.7%
3 高齢者の人権問題		304件	19.4%	22.5%	26.2%	24.1%	21.3%	19.1%
4 障害者の人権問題		262件	16.7%	18.9%	19.0%	25.3%	22.8%	24.1%
5 同和問題		35件	2.2%	2.6%	2.9%	2.5%	3.4%	3.7%
6 外国籍市民の人権問題		108件	6.9%	7.6%	8.4%	9.0%	10.6%	13.1%
7 患者の人権問題		193件	12.3%	12.6%	13.6%	17.1%	16.3%	15.5%
8 その他		56件	3.6%	3.1%	2.6%	2.4%	3.3%	2.8%
9 人権問題は特にない	753人	753件	48.1%	45.7%	41.3%	37.8%	41.4%	42.4%
無回答	146人	146件	9.3%	9.9%	9.1%	9.5%	6.8%	6.3%

Q2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感する方ですか、それとも同感しない方ですか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 同感する方	186人	11.9%	12.8%	15.6%	15.1%	14.5%	13.3%
2 どちらともいえない	605人	38.6%	41.1%	38.8%	40.9%	40.7%	41.2%
3 同感しない方	739人	47.2%	43.2%	43.8%	41.8%	43.2%	43.4%
4 わからない	17人	1.1%	1.6%	0.9%	1.3%	0.7%	1.1%
無回答	20人	1.3%	1.3%	0.9%	0.9%	0.9%	1.1%

Q3 あなたは、現在世界のあちこちで起こっている国際紛争の解決について特に関心をお持ちですか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 大変関心を持っている	238人	15.2%	14.0%	15.8%	19.7%	23.3%	29.7%
2 かなり関心を持っている	246人	15.7%	17.5%	18.7%	18.4%	25.3%	26.8%
3 ある程度関心を持っている	839人	53.5%	54.4%	54.6%	52.0%	44.8%	38.2%
4 あまり関心を持っていない	186人	11.9%	10.3%	8.1%	7.2%	5.1%	3.5%
5 ほとんど関心がない	38人	2.4%	2.2%	2.2%	1.8%	1.0%	0.9%
無回答	20人	1.3%	1.6%	0.6%	1.0%	0.5%	0.9%

次に、あなた自身の感じていることや考え方などについておたずねします。

Q4 あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 大変感じている	168人	10.7%	12.3%	12.6%	12.8%	13.6%	12.1%
2 かなり感じている	191人	12.2%	14.2%	13.1%	15.2%	21.4%	22.5%
3 ある程度感じている	881人	56.2%	52.5%	55.0%	53.0%	48.6%	45.7%
4 あまり感じていない	215人	13.7%	14.0%	14.1%	14.0%	13.6%	15.8%
5 ほとんど感じていない	89人	5.7%	5.8%	4.3%	4.1%	2.1%	3.0%
無回答	23人	1.5%	1.2%	0.9%	0.9%	0.6%	0.9%

Q5 あなたは今、健康だと思えますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 非常に健康だと思う	138人	8.8%	9.1%	8.8%	9.5%	8.1%	8.6%
2 健康な方だと思う	884人	56.4%	56.8%	55.4%	56.1%	57.8%	57.8%
3 どちらとも言えない	208人	13.3%	13.5%	14.7%	13.3%	13.5%	13.1%
4 あまり健康な方ではないと思う	179人	11.4%	11.4%	12.7%	12.3%	14.7%	15.0%
5 健康でないと思う	140人	8.9%	8.3%	7.6%	8.0%	5.5%	5.0%
無回答	18人	1.1%	1.0%	0.7%	0.7%	0.3%	0.6%

Q6 あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度	
	全体	1,567人	5,879件	375.2%	371.2%	356.0%	365.6%	352.8%
1 自分の健康	1,492人	767件	48.9%	46.9%	47.3%	48.3%	46.2%	45.5%
2 家族の健康		853件	54.4%	54.2%	52.5%	54.9%	53.4%	52.2%
3 将来自分や家族が必要になったときの介護		840件	53.6%	58.7%	55.2%	55.9%	53.8%	52.7%
4 現在の生活や家計		405件	25.8%	24.7%	22.8%	23.1%	19.8%	20.8%
5 将来の生活や家計		852件	54.4%	54.8%	54.7%	56.7%	55.4%	56.1%
6 仕事		401件	25.6%	25.6%	21.7%	23.3%	22.2%	29.7%
7 出産や子育て		146件	9.3%	10.2%	9.5%	9.3%	9.4%	10.2%
8 子どもの将来		547件	34.9%	34.6%	30.5%	33.5%	26.3%	27.7%
9 住居や住まい		283件	18.1%	17.1%	17.1%	17.5%	18.3%	18.3%
10 財産や資産		224件	14.3%	14.9%	12.9%	12.2%	14.5%	12.7%
11 人との付き合い		241件	15.4%	13.3%	14.4%	14.7%	14.1%	17.9%
12 生きがい		166件	10.6%	9.4%	10.9%	9.9%	11.0%	12.9%
13 その他		79件	5.0%	2.6%	2.1%	2.4%	2.9%	1.4%
14 特になし		56人	56件	3.6%	3.0%	4.0%	3.2%	4.7%
無回答	19人	19件	1.2%	1.2%	0.8%	0.5%	0.8%	0.7%

Q7 あなたは、市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、日頃積極的に参加していますか。

選択肢	平成22年度 (今回)			平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	件数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	1,706件	108.9%	108.9%	111.5%	111.4%	111.6%	110.0%
1 町会・自治会	480人	290件	18.5%	16.1%	21.6%	18.1%	19.7%	16.4%
2 ボランティア団体		55件	3.5%	3.1%	3.7%	4.0%	4.6%	3.8%
3 PTA		65件	4.1%	3.4%	4.5%	4.9%	3.9%	4.9%
4 NPO法人(特定非営利活動法人)		25件	1.6%	1.3%	1.6%	1.5%	1.7%	0.6%
5 子ども会育成会		26件	1.7%	2.0%	2.8%	2.6%	2.9%	4.1%
6 企業による奉仕活動		31件	2.0%	1.3%	2.3%	2.2%	1.8%	1.3%
7 有志・仲間との奉仕活動		79件	5.0%	4.6%	5.7%	6.0%	6.6%	5.1%
8 その他		48件	3.1%	3.1%	3.3%	2.9%	3.8%	0.9%
9 積極的に参加しているものはない	1,017人	1,017件	64.9%	69.4%	62.3%	64.4%	64.2%	69.0%
無回答	70人	70件	4.5%	4.6%	3.8%	4.8%	2.4%	3.9%

Q8 あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか。過去1年間に振り返って、学習活動に取り組んだ日数は平均するとどのくらいですか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 ほぼ毎日	82人	5.2%	6.7%	7.0%	7.0%	7.0%	8.1%
2 週に数日ほど	180人	11.5%	11.5%	13.6%	12.8%	16.5%	14.0%
3 月に数日ほど	354人	22.6%	21.6%	21.6%	22.8%	21.9%	22.3%
4 年に数日ほど	257人	16.4%	13.9%	16.2%	13.9%	16.2%	17.9%
5 全くない	655人	41.8%	43.8%	39.8%	41.0%	36.6%	35.6%
無回答	39人	2.5%	2.5%	1.8%	2.5%	1.7%	2.0%

Q9 あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか。

選択肢	平成22年度 (今回)			平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	件数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	2,263件	144.4%	139.0%	144.0%	145.7%	143.1%	146.8%
1 仕事、職業に活かされている	1,086人	400件	25.5%	23.8%	24.6%	25.4%	24.0%	27.0%
2 自分自身の向上に活かされている		653件	41.7%	36.1%	38.9%	39.6%	42.7%	41.3%
3 家庭や家族に活かされている		237件	15.1%	14.0%	16.9%	16.1%	15.4%	17.0%
4 地域活動や社会活動に活かされている		108件	6.9%	6.0%	6.6%	6.7%	6.6%	5.8%
5 親睦を深めたり、友人を得るときに活かされている		347件	22.1%	21.9%	21.1%	22.2%	21.1%	23.1%
6 その他		37件	2.4%	3.3%	2.8%	1.1%	2.2%	2.0%
7 活かされていない	274人	274件	17.5%	19.8%	15.6%	17.0%	16.9%	16.7%
無回答	207人	207件	13.2%	14.1%	17.6%	17.7%	14.2%	13.9%

Q10 あなたは、ご自身でインターネット（携帯電話やスマートフォンによるネット利用を含む）を利用しますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 毎日のように利用している	718人	45.8%	37.2%	38.1%	27.8%	27.3%	17.3%
2 時々利用している	234人	14.9%	15.2%	13.9%	15.3%	13.0%	11.3%
3 たまに利用している	113人	7.2%	7.6%	9.3%	9.9%	10.4%	9.5%
4 ほとんど利用していない	106人	6.8%	9.6%	6.8%	9.0%	7.2%	8.1%
5 全く利用していない	366人	23.4%	28.0%	29.4%	36.2%	39.3%	51.8%
無回答	30人	1.9%	2.3%	2.4%	1.9%	2.8%	2.0%

(Q10で、1～3を選択した人のみお答えください)

あなたは、インターネットをどのようなことに活用していますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度	
	全体	1,065人	2,668件	250.5%	239.9%	229.4%	212.4%	222.4%
1 電子メールの送信によく利用している	1,052人	692件	65.0%	63.1%	63.6%	52.2%	62.2%	72.5%
2 メールマガジンやニュースなどのメール情報をよく受信している		469件	44.0%	45.7%	42.8%	33.1%	39.5%	36.3%
3 いろいろなホームページを開いて情報を入手している		869件	81.6%	77.6%	76.2%	83.2%	80.5%	73.6%
4 チケット予約やショッピング、オークション参加、株売買など買い物や取引きをしている		456件	42.8%	40.7%	35.8%	34.6%	31.0%	24.3%
5 自分自身でホームページやブログ(フェイスブックやツイッター含む)などを利用し、情報を発信している		141件	13.2%	9.0%	7.9%	5.2%	4.3%	4.9%
6 その他		28件	2.6%	2.8%	2.2%	4.0%	4.7%	0.3%
無回答	13人	13件	1.2%	1.1%	0.9%	0.1%	0.2%	0.2%

(Q10で、1～3を選択した人のみお答えください)

あなたのインターネット利用は、次の中のどれにあてはまりますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度
	全体	1,065人	100.0%	100.0%
1 パソコンからのみ利用している	315人	29.6%	34.3%	37.2%
2 パソコンが主で、補助的に携帯電話・スマートフォンを利用している	321人	30.1%	29.6%	31.2%
3 パソコン、携帯電話・スマートフォンの利用がほぼ半々である	127人	11.9%	11.7%	10.1%
4 携帯電話・スマートフォンが主で、補助的にパソコンを利用している	157人	14.7%	11.9%	9.0%
5 携帯電話・スマートフォンからのみ利用している	93人	8.7%	7.7%	8.2%
6 その他	4人	0.4%		
無回答	48人	4.5%	4.8%	4.3%

Q11 あなたは日頃、運動・スポーツをしていますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 現在も継続的にしている	494人	31.5%	31.9%	30.5%	29.0%	31.2%	28.7%
2 最近、始めた	71人	4.5%	4.0%	5.5%	5.0%	3.7%	4.8%
3 以前はしていたが、現在はしていない	591人	37.7%	37.2%	37.5%	39.0%	37.9%	41.4%
4 以前も、現在もしていない	380人	24.3%	25.0%	24.5%	25.3%	26.0%	24.5%
無回答	31人	2.0%	1.9%	1.9%	1.8%	1.1%	0.6%

Q12 あなたは日頃、絵画、音楽、映像、演劇などの芸術文化を鑑賞したり、創作や実践することがありますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 鑑賞し、自分でも創作や実践もしている	148人	9.4%	9.0%	9.5%	9.4%	10.1%	10.7%
2 よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない	232人	14.8%	14.3%	14.7%	16.7%	15.3%	13.6%
3 時々鑑賞している	356人	22.7%	25.1%	20.0%	20.2%	21.5%	22.5%
4 たまに鑑賞している	473人	30.2%	28.6%	31.1%	30.4%	31.5%	31.6%
5 ほとんど鑑賞しない	327人	20.9%	21.1%	22.5%	21.5%	20.6%	20.8%
無回答	31人	2.0%	1.8%	2.2%	1.9%	1.0%	0.8%

Q13 あなたは日頃、松戸市に在住したり、滞在したりしている外国の方達と親しく接することがどのくらいありますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 大変よくある	27人	1.7%	2.0%	1.5%	1.6%	2.2%	1.6%
2 しばしばある	23人	1.5%	1.3%	1.5%	1.4%	2.4%	2.0%
3 ときどきある	128人	8.2%	7.9%	8.7%	8.2%	5.7%	7.4%
4 あまりない	253人	16.1%	14.8%	13.9%	15.0%	11.1%	10.9%
5 ほとんどない	1,117人	71.3%	72.2%	72.8%	72.3%	77.8%	77.7%
無回答	19人	1.2%	1.6%	1.6%	1.6%	0.9%	0.4%

Q14 あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	件数	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	3,899件	248.8%	200.1%	210.0%	212.4%	192.5%
1 消火器の設置	1,261人	457件	29.2%	32.7%	32.3%	32.7%	31.0%
2 家具などの転倒防止		579件	36.9%	24.6%	25.3%	25.9%	19.6%
3 水や食糧の備蓄		757件	48.3%	29.3%	33.2%	31.3%	24.3%
4 非常持ち出し用品の確保		601件	38.4%	24.0%	25.8%	28.6%	24.8%
5 身内との連絡方法の確立		498件	31.8%	20.0%	20.7%	23.4%	18.9%
6 避難経路や避難場所の確認		500件	31.9%	24.7%	26.9%	27.2%	24.4%
7 防災訓練などへの参加		188件	12.0%	14.6%	14.1%	13.0%	11.0%
8 その他		13件	0.8%	0.5%	0.6%	0.6%	0.2%
9 特に準備はしていない	288人	288件	18.4%	28.0%	30.1%	28.5%	38.2%
無回答	18人	18件	1.1%	1.7%	0.9%	1.2%	0.1%

Q15 あなたは、この1年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	件数	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	1,576件	100.6%	101.2%	100.7%	101.3%	101.4%
1 店舗で購入した商品やサービスでのトラブルや被害	136人	75件	4.8%	4.7%	5.7%	5.2%	6.6%
2 訪問販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害		5件	0.3%	0.8%	0.7%	1.4%	2.4%
3 通信販売(ネットオークション含む)で購入した商品やサービスでのトラブルや被害		33件	2.1%	2.3%	2.1%	2.3%	2.2%
4 電話勧誘販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害		12件	0.8%	0.5%	1.0%	1.1%	1.2%
5 その他		20件	1.3%	2.0%	2.2%	1.7%	0.3%
6 トラブルや被害にあっていない	1,360人	1,360件	86.8%	86.5%	86.0%	86.7%	86.3%
無回答	71人	71件	4.5%	4.5%	3.0%	2.9%	2.3%

Q16 あなたは市役所への問合せや、窓口の手続、サービスの利用などの際、市役所や支所などが身近で便利だと感じていますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 大変便利だと感じている	120人	7.7%	7.8%	8.0%	7.1%	9.1%	8.1%
2 かなり便利だと感じている	161人	10.3%	12.7%	10.6%	10.4%	12.0%	15.1%
3 ある程度便利だと感じている	692人	44.2%	40.0%	44.3%	42.0%	41.2%	39.8%
4 あまり便利だと感じていない	424人	27.1%	27.0%	26.2%	28.3%	25.9%	25.1%
5 ほとんど便利だと感じていない	144人	9.2%	10.0%	10.0%	10.9%	10.3%	11.1%
無回答	26人	1.7%	2.6%	0.9%	1.3%	1.6%	0.7%

Q17 あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～ソまでの各項目ごとに、あなたの考えに最も近いものをお答え下さい。

		全体	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない	無回答
ア 保健・医療・福祉サービス	平成22年度（今回）	1,567人	52人	260人	728人	281人	93人	99人	54人
		100.0%	3.3%	16.6%	46.5%	17.9%	5.9%	6.3%	3.4%
	平成21年度（前回）	100.0%	2.8%	15.0%	48.8%	17.5%	7.6%	5.6%	2.6%
	平成19年度	100.0%	2.9%	15.7%	42.3%	19.3%	9.7%	7.4%	2.6%
	平成18年度	100.0%	1.9%	12.3%	43.3%	18.9%	11.4%	8.2%	4.0%
	平成16年度	100.0%	3.3%	16.4%	43.5%	16.6%	7.2%	10.2%	2.7%
	平成13年度	100.0%	3.3%	15.4%	44.5%	14.8%	7.8%	11.6%	2.6%
イ まちの賑わいや買い物の便	平成22年度（今回）	1,567人	97人	380人	571人	341人	119人	16人	43人
		100.0%	6.2%	24.3%	36.4%	21.8%	7.6%	1.0%	2.7%
	平成21年度（前回）	100.0%	4.4%	24.0%	37.1%	21.5%	8.5%	1.2%	3.3%
	平成19年度	100.0%	4.7%	24.0%	38.4%	20.5%	8.4%	1.1%	3.1%
	平成18年度	100.0%	5.4%	24.0%	35.7%	21.0%	10.0%	1.0%	3.0%
	平成16年度	100.0%	6.6%	26.6%	37.2%	18.5%	7.8%	0.8%	2.5%
	平成13年度	100.0%	7.0%	28.5%	35.7%	18.1%	7.6%	1.2%	2.0%
ウ 通勤・通学などの交通の便	平成22年度（今回）	1,567人	111人	429人	592人	227人	74人	47人	87人
		100.0%	7.1%	27.4%	37.8%	14.5%	4.7%	3.0%	5.6%
	平成21年度（前回）	100.0%	7.2%	25.4%	37.2%	14.4%	6.2%	3.9%	5.7%
	平成19年度	100.0%	9.0%	25.9%	36.6%	13.7%	5.8%	4.0%	5.0%
	平成18年度	100.0%	7.4%	26.8%	36.5%	14.9%	5.7%	3.4%	5.3%
	平成16年度	100.0%	8.3%	25.1%	34.8%	14.9%	6.7%	4.3%	5.9%
	平成13年度	100.0%	7.6%	28.5%	31.8%	15.6%	8.0%	3.5%	4.9%
エ 子どもの教育環境	平成22年度（今回）	1,567人	16人	177人	682人	193人	67人	324人	108人
		100.0%	1.0%	11.3%	43.5%	12.3%	4.3%	20.7%	6.9%
	平成21年度（前回）	100.0%	2.0%	12.7%	40.7%	11.5%	5.9%	20.7%	6.5%
	平成19年度	100.0%	1.4%	10.1%	40.2%	14.1%	6.7%	21.1%	6.4%
	平成18年度	100.0%	1.7%	9.1%	38.5%	16.8%	8.1%	20.2%	5.7%
	平成16年度	100.0%	1.8%	11.0%	41.9%	13.4%	6.3%	19.3%	6.3%
	平成13年度	100.0%	1.6%	9.8%	42.4%	14.2%	6.2%	19.4%	6.4%

			十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない	無回答
		全体							
オ 文化・芸術の鑑賞や活動環境	平成22年度（今回）	1,567人	9人	124人	690人	304人	99人	263人	78人
		100.0%	0.6%	7.9%	44.0%	19.4%	6.3%	16.8%	5.0%
	平成21年度（前回）	100.0%	1.3%	9.3%	43.8%	19.0%	5.9%	15.6%	5.1%
	平成19年度	100.0%	1.1%	8.1%	43.2%	19.5%	7.8%	15.2%	5.0%
	平成18年度	100.0%	0.8%	7.9%	41.8%	19.8%	7.9%	16.8%	5.0%
	平成16年度	100.0%	0.8%	9.6%	41.8%	19.9%	6.5%	16.3%	5.1%
	平成13年度	100.0%	0.9%	10.3%	41.4%	20.4%	5.6%	16.3%	5.1%
カ スポーツや健康づくりのための環境	平成22年度（今回）	1,567人	30人	140人	655人	347人	101人	216人	78人
		100.0%	1.9%	8.9%	41.8%	22.1%	6.4%	13.8%	5.0%
	平成21年度（前回）	100.0%	1.7%	11.0%	42.7%	21.4%	6.8%	11.4%	4.9%
	平成19年度	100.0%	1.9%	10.6%	43.5%	19.6%	7.9%	11.6%	4.9%
	平成18年度	100.0%	1.4%	10.2%	39.3%	21.8%	10.1%	12.9%	4.4%
	平成16年度	100.0%	1.7%	14.3%	39.9%	19.8%	7.2%	12.2%	5.0%
	平成13年度	100.0%	1.9%	12.7%	41.2%	19.3%	7.1%	12.9%	4.9%
キ 道路、公園、下水道などの都市施設	平成22年度（今回）	1,567人	46人	255人	654人	338人	161人	58人	55人
		100.0%	2.9%	16.3%	41.7%	21.6%	10.3%	3.7%	3.5%
	平成21年度（前回）	100.0%	3.5%	17.9%	40.9%	19.6%	11.0%	3.1%	3.9%
	平成19年度	100.0%	2.6%	16.8%	39.0%	23.5%	11.4%	3.5%	3.3%
	平成18年度	100.0%	3.0%	14.9%	35.7%	23.2%	17.2%	2.5%	3.5%
	平成16年度	100.0%	3.6%	18.7%	34.4%	22.3%	15.3%	2.5%	3.1%
	平成13年度	100.0%	3.2%	17.3%	32.8%	23.5%	15.2%	4.5%	3.4%
ク 水道水のおいしさ、安さ	平成22年度（今回）	1,567人	26人	175人	724人	325人	155人	116人	46人
		100.0%	1.7%	11.2%	46.2%	20.7%	9.9%	7.4%	2.9%
	平成21年度（前回）	100.0%	2.3%	11.3%	46.1%	19.8%	11.0%	5.9%	3.6%
	平成19年度	100.0%	1.0%	9.3%	41.9%	23.7%	15.2%	5.6%	3.3%
	平成18年度	100.0%	2.1%	6.0%	36.3%	24.6%	20.5%	7.2%	3.2%
	平成16年度	100.0%	1.1%	5.1%	33.9%	27.6%	23.1%	6.0%	3.1%
	平成13年度	100.0%	1.1%	4.5%	30.6%	27.2%	27.0%	6.6%	3.0%

			十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない	無回答
		全体							
ケ 緑地・河川などの自然環境	平成22年度（今回）	1,567人	41人	282人	735人	281人	98人	64人	66人
		100.0%	2.6%	18.0%	46.9%	17.9%	6.3%	4.1%	4.2%
	平成21年度（前回）	100.0%	2.2%	17.3%	46.7%	19.4%	6.9%	4.0%	3.5%
	平成19年度	100.0%	2.9%	19.8%	44.5%	19.5%	7.2%	3.2%	3.0%
	平成18年度	100.0%	2.4%	15.8%	40.9%	22.9%	10.8%	3.6%	3.5%
	平成16年度	100.0%	1.4%	17.0%	40.5%	23.3%	11.4%	3.0%	3.6%
	平成13年度	100.0%	2.4%	18.7%	37.4%	24.2%	10.7%	3.3%	3.2%
コ 空気のきれいさ、 騒音・悪臭などの公害の少なさ	平成22年度（今回）	1,567人	38人	263人	682人	373人	138人	33人	40人
		100.0%	2.4%	16.8%	43.5%	23.8%	8.8%	2.1%	2.6%
	平成21年度（前回）	100.0%	2.8%	18.0%	46.3%	19.6%	8.0%	2.4%	2.9%
	平成19年度	100.0%	3.2%	15.5%	46.1%	21.8%	8.6%	2.1%	2.7%
	平成18年度	100.0%	1.9%	14.7%	41.9%	24.3%	11.9%	1.9%	3.2%
	平成16年度	100.0%	1.6%	14.3%	43.3%	25.4%	10.5%	2.2%	2.7%
	平成13年度	100.0%	2.1%	14.1%	40.6%	24.4%	14.2%	1.9%	2.7%
サ まち並み、建物など まち全体の景観	平成22年度（今回）	1,567人	18人	193人	790人	352人	128人	42人	44人
		100.0%	1.1%	12.3%	50.4%	22.5%	8.2%	2.7%	2.8%
	平成21年度（前回）	100.0%	1.5%	10.4%	51.2%	21.2%	9.6%	3.0%	3.0%
	平成19年度	100.0%	1.6%	11.2%	47.8%	24.7%	8.7%	2.6%	3.3%
	平成18年度	100.0%	1.2%	11.0%	42.6%	25.3%	14.1%	2.7%	3.0%
	平成16年度	100.0%	1.4%	10.0%	46.2%	26.8%	11.0%	2.1%	2.5%
	平成13年度	100.0%	1.9%	10.6%	47.6%	24.1%	10.8%	2.3%	2.7%
シ 事故や災害に強い安全なまち	平成22年度（今回）	1,567人	14人	128人	739人	317人	126人	188人	55人
		100.0%	0.9%	8.2%	47.2%	20.2%	8.0%	12.0%	3.5%
	平成21年度（前回）	100.0%	0.7%	5.8%	47.8%	21.8%	8.1%	12.3%	3.5%
	平成19年度	100.0%	1.1%	6.0%	46.1%	20.8%	8.2%	14.3%	3.6%
	平成18年度	100.0%	0.9%	5.4%	41.6%	22.0%	11.9%	14.8%	3.4%
	平成16年度	100.0%	0.3%	5.7%	38.4%	25.3%	9.6%	18.0%	2.6%
	平成13年度	100.0%	1.2%	5.9%	43.3%	21.2%	9.1%	16.7%	2.5%

			十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない	無回答
		全体							
ス 史跡や神社仏閣など 歴史・伝統文化遺産	平成22年度（今回）	1,567人	34人	248人	850人	151人	30人	208人	46人
		100.0%	2.2%	15.8%	54.2%	9.6%	1.9%	13.3%	2.9%
	平成21年度（前回）	100.0%	2.6%	15.6%	55.8%	8.5%	2.4%	11.9%	3.1%
	平成19年度	100.0%	2.4%	15.6%	54.6%	9.0%	2.2%	12.9%	3.3%
	平成18年度	100.0%	2.6%	14.9%	51.7%	10.4%	2.5%	14.4%	3.5%
	平成16年度	100.0%	2.1%	15.8%	52.4%	8.3%	2.2%	15.8%	3.3%
	平成13年度	100.0%	3.0%	17.4%	48.8%	7.9%	1.6%	17.1%	4.2%
セ 特色ある祭りや 地域ぐるみのイベント	平成22年度（今回）	1,567人	27人	201人	829人	215人	61人	187人	47人
		100.0%	1.7%	12.8%	52.9%	13.7%	3.9%	11.9%	3.0%
	平成21年度（前回）	100.0%	2.2%	12.5%	48.2%	17.2%	4.3%	12.5%	3.1%
	平成19年度	100.0%	2.1%	11.7%	53.1%	13.3%	3.5%	13.3%	3.0%
	平成18年度	100.0%	2.1%	13.6%	47.8%	14.4%	5.9%	12.9%	3.3%
	平成16年度	100.0%	1.5%	13.4%	48.6%	14.5%	4.5%	13.9%	3.7%
	平成13年度	100.0%	1.7%	14.1%	49.2%	12.8%	4.2%	13.6%	4.4%
ソ 住環境のゆとりなどの住宅事情	平成22年度（今回）	1,567人	30人	189人	767人	319人	95人	111人	56人
		100.0%	1.9%	12.1%	48.9%	20.4%	6.1%	7.1%	3.6%
	平成21年度（前回）	100.0%	1.8%	11.2%	49.3%	21.7%	7.5%	4.9%	3.4%
	平成19年度	100.0%	1.6%	12.4%	46.7%	23.3%	7.7%	4.5%	3.8%
	平成18年度	100.0%	1.6%	11.3%	44.2%	25.0%	10.0%	4.4%	3.4%
	平成16年度	100.0%	1.8%	12.3%	43.1%	25.6%	9.4%	5.2%	2.5%
	平成13年度	100.0%	2.0%	11.7%	43.2%	24.3%	10.9%	4.7%	3.2%

(Q17-ソで、4 または 5 を選択した人のみお答えください)

あなたが、住環境のゆとりなどの住宅事情に、「やや不満」または「きわめて不満」と感じる理由は何ですか。

選択肢	平成22年度 (今回)		
	全体	414人	1,442件 348.3%
1 高齢者等への配慮が足りない (段差がないなど)	401人	143件	34.5%
2 冷暖房の機器が省エネルギー対応になっていないため、費用負担がかさむ		77件	18.6%
3 地震・台風時の住宅の安全性が心配		206件	49.8%
4 住宅の断熱性や気密性が不足している		76件	18.4%
5 住宅の防犯性が心配		151件	36.5%
6 住宅が古く、いたんでいる		127件	30.7%
7 収納が少なく、使いにくい		114件	27.5%
8 外部からの騒音などに対する遮音性が足りない		124件	30.0%
9 火災時の避難が心配		82件	19.8%
10 換気性能(臭気や煙などの残留感がない)が悪い		58件	14.0%
11 台所・トイレ・浴室等が使いにくい		66件	15.9%
12 住宅の維持や管理がしにくい		47件	11.4%
13 居間など主たる居住室の採光が悪く、暗い		49件	11.8%
14 住宅の広さや間取りそのものに不満がある		109件	26.3%
無回答	13人	13件	3.1%

Q18 あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 住み続けたい	519人	33.1%	31.9%	32.3%	28.8%	31.4%	31.2%
2 できることなら住み続けたい	443人	28.3%	28.1%	25.9%	27.6%	28.3%	27.4%
3 どちらとも言えない	448人	28.6%	30.5%	30.9%	31.3%	28.9%	29.7%
4 あまり住み続けたくない	98人	6.3%	5.8%	6.9%	7.5%	7.1%	6.5%
5 住み続けたくない	33人	2.1%	2.4%	2.6%	3.0%	3.0%	3.0%
無回答	26人	1.7%	1.3%	1.4%	1.7%	1.3%	2.2%

最後にあなた自身についておたずねします。

F 1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 女性	871人	55.6%	52.5%	54.9%	56.4%	54.4%	55.6%
2 男性	660人	42.1%	43.8%	43.4%	42.1%	44.6%	42.1%
無回答	36人	2.3%	3.7%	1.6%	1.4%	1.0%	2.2%

F 2 あなたの年齢をお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 20～24歳	48人	3.1%	4.1%	3.7%	4.0%	4.7%	5.5%
2 25～29歳	83人	5.3%	6.1%	5.8%	6.2%	7.4%	8.4%
3 30～34歳	133人	8.5%	7.2%	8.7%	9.4%	9.8%	11.2%
4 35～39歳	160人	10.2%	10.0%	8.9%	10.6%	9.1%	8.4%
5 40～44歳	135人	8.6%	8.2%	8.5%	7.8%	7.0%	7.6%
6 45～49歳	150人	9.6%	6.8%	8.0%	7.7%	5.7%	8.1%
7 50～54歳	116人	7.4%	6.6%	8.0%	6.9%	8.5%	10.6%
8 55～59歳	124人	7.9%	9.6%	9.2%	12.2%	11.1%	10.2%
9 60～64歳	154人	9.8%	10.9%	11.4%	10.6%	10.6%	9.9%
10 65～69歳	162人	10.3%	11.5%	10.2%	11.2%	10.4%	8.1%
11 70～74歳	127人	8.1%	9.2%	10.0%	7.8%	7.0%	6.1%
12 75～79歳	84人	5.4%	4.8%	6.1%	4.5%	4.1%	4.0%
13 80歳以上	71人	4.5%	4.3%	0.6%	0.1%	4.0%	0.1%
無回答	20人	1.3%	0.7%	0.9%	1.1%	0.6%	1.7%

F 3 あなたの職業をお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 会社員	436人	27.8%	26.1%	27.9%	27.8%	27.4%	32.1%
2 公務員(教員、団体職員などを含む)	64人	4.1%	3.8%	3.9%	5.5%	5.2%	5.9%
3 自営業(農業を含む)	88人	5.6%	7.1%	8.2%	7.8%	9.0%	8.9%
4 アルバイトやパートなどの臨時雇用	225人	14.4%	14.0%	15.1%	13.9%	12.4%	13.0%
5 学生	23人	1.5%	1.6%	1.5%	2.0%	2.2%	2.0%
6 その他	54人	3.4%	2.2%	3.1%	2.7%	3.1%	0.7%
7 専業主婦	338人	21.6%	22.9%	21.8%	22.8%	21.2%	21.7%
8 無職	310人	19.8%	20.1%	14.9%	15.1%	18.7%	13.9%
無回答	29人	1.9%	2.1%	3.5%	2.4%	0.9%	1.7%

F 3 (SQ) あなたの勤務地または通学地をお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	890人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 自宅	53人	6.0%	7.8%	8.2%	8.8%	8.0%	8.8%
2 松戸市内(自宅を除く)	244人	27.4%	26.2%	26.4%	27.9%	24.5%	25.1%
3 千葉県内(松戸市を除く)	168人	18.9%	15.0%	17.0%	14.6%	15.8%	15.7%
4 東京都内	362人	40.7%	42.2%	41.3%	39.9%	44.1%	42.9%
5 埼玉県・茨城県	30人	3.4%	4.4%	3.3%	3.4%	4.1%	4.1%
6 その他	21人	2.4%	2.5%	1.9%	2.8%	2.4%	2.4%
無回答	12人	1.3%	1.9%	1.9%	2.5%	1.2%	1.0%

F 4 あなたの松戸市在住年数をお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 1年未満	46人	2.9%	2.6%	2.3%	3.4%	3.7%	4.8%
2 1年以上5年未満	137人	8.7%	8.3%	9.6%	9.6%	10.6%	12.1%
3 5年以上10年未満	154人	9.8%	7.8%	8.8%	10.1%	10.3%	11.2%
4 10年以上15年未満	137人	8.7%	9.8%	9.7%	8.2%	8.5%	8.1%
5 15年以上20年未満	108人	6.9%	7.2%	6.7%	8.6%	8.3%	8.7%
6 20年以上	950人	60.6%	62.7%	60.0%	57.9%	57.0%	52.9%
無回答	35人	2.2%	1.6%	2.9%	2.3%	1.7%	2.3%

F 5 あなたの出身地をお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 松戸市	280人	17.9%	17.8%	16.3%	17.2%	15.2%	15.4%
2 千葉県(松戸市を除く)	175人	11.2%	10.4%	8.8%	10.6%	9.4%	10.0%
3 東京都	356人	22.7%	22.6%	25.7%	24.3%	27.4%	24.1%
4 関東地方(千葉県・東京都を除く)	222人	14.2%	15.6%	13.5%	14.5%	14.5%	14.5%
5 北海道地方	54人	3.4%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	2.7%
6 東北地方	146人	9.3%	9.6%	9.0%	9.1%	8.7%	9.9%
7 中部地方	111人	7.1%	5.6%	6.8%	6.3%	5.7%	7.4%
8 近畿地方	65人	4.1%	3.9%	4.5%	4.1%	4.3%	3.6%
9 中国・四国地方	38人	2.4%	3.9%	3.4%	4.2%	3.8%	3.6%
10 九州・沖縄地方	89人	5.7%	5.1%	5.6%	4.4%	5.5%	5.5%
11 海外	5人	0.3%	0.2%	0.5%	0.1%	0.5%	0.3%
無回答	26人	1.7%	2.4%	3.0%	2.3%	1.9%	3.1%

F 6 あなたの家族構成をお答えください

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 ひとり世帯	169人	10.8%	10.0%	10.7%	9.3%	9.7%	12.1%
2 夫婦のみ世帯	424人	27.1%	27.6%	25.8%	25.6%	26.7%	23.7%
3 親と子ども世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯	268人	17.1%	18.1%	17.6%	19.0%	17.9%	17.5%
4 親と子ども世帯で、3以外の世帯	468人	29.9%	28.0%	28.1%	35.2%	29.7%	33.0%
5 親と子どもと孫の3世代以上の世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯	46人	2.9%	2.4%	2.8%	2.9%	3.1%	4.2%
6 親と子どもと孫の3世代以上の世帯で、5以外の世帯	42人	2.7%	3.2%	2.8%	3.0%	3.1%	4.2%
7 その他	114人	7.3%	9.7%	9.1%	2.3%	7.7%	2.4%
無回答	36人	2.3%	1.1%	3.2%	2.7%	2.1%	3.0%

F 7 あなたが今、興味や関心をお持ちのことについてお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度	
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
全体	1,567人	3,885件	247.9%	275.5%	270.5%	265.0%	258.6%	257.9%
1 家族の日常生活のこと	1,479人	720件	45.9%	46.2%	43.4%	44.7%	41.6%	36.2%
2 友人との交流やつながりなど、友人関係のこと		382件	24.4%	23.7%	22.5%	22.4%	24.4%	22.5%
3 近隣の人たちとの交流のこと		205件	13.1%	14.6%	12.3%	12.1%	14.2%	11.2%
4 地域の住み易さなど生活環境のこと		316件	20.2%	25.1%	23.0%	25.0%	25.8%	19.7%
5 昇進や収入など仕事や職場のこと		304件	19.4%	18.9%	17.6%	18.2%	18.5%	20.2%
6 不況、失業や低金利などの経済のこと		346件	22.1%	31.6%	21.9%	17.4%	22.2%	36.9%
7 公的年金や医療保障など社会福祉のこと		692件	44.2%	53.8%	55.6%	55.9%	52.2%	45.2%
8 子どもの教育環境などの教育関係のこと		261件	16.7%	20.1%	18.9%	22.7%	16.0%	16.6%
9 貧困や民族紛争などの国際問題のこと		76件	4.9%	6.2%	7.0%	7.4%	10.6%	16.7%
10 地球温暖化や自然破壊などの地球環境のこと		416件	26.5%	27.1%	38.7%	29.5%	25.6%	23.7%
11 外国人の世話をしたり日本を外国に紹介するなどの国際交流のこと		17件	1.1%	1.8%	2.0%	1.7%	1.7%	1.8%
12 その他		62件	4.0%	1.7%	2.6%	2.3%	2.1%	0.7%
13 特になし	54人	54件	3.4%	3.3%	1.7%	2.8%	1.9%	2.5%
無回答	34人	34件	2.2%	1.4%	3.3%	3.1%	1.8%	3.8%

F 8 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる範囲についてお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 隣近所	62人	4.0%	3.9%	2.5%	3.3%	3.2%	3.6%
2 町会程度	26人	1.7%	1.2%	1.1%	1.4%	1.4%	1.7%
3 近隣町会程度	69人	4.4%	4.5%	3.9%	4.2%	4.7%	4.5%
4 松戸市内程度	490人	31.3%	33.2%	31.5%	32.6%	38.5%	35.2%
5 千葉県内	438人	28.0%	26.9%	25.9%	27.0%	21.4%	23.1%
6 東京都内	380人	24.3%	23.0%	25.8%	25.2%	24.7%	25.3%
7 その他	64人	4.1%	3.7%	2.9%	3.0%	3.1%	2.6%
無回答	38人	2.4%	3.5%	6.4%	3.3%	2.9%	3.9%

F 9 あなたの通勤・通学を含め、お出かけの時に利用する主な交通手段をお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)			平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	2,607件	166.4%	171.7%	167.0%	166.6%	167.2%
1 電車	1,486人	1,012件	64.6%	65.2%	66.8%	64.9%	67.0%	67.0%
2 バス		219件	14.0%	14.8%	15.4%	15.0%	16.4%	16.7%
3 タクシー		35件	2.2%	3.3%	1.9%	2.4%	1.9%	2.0%
4 自家用車		596件	38.0%	46.2%	41.4%	42.0%	39.9%	40.2%
5 オートバイ・スクーター		43件	2.7%	2.0%	3.9%	2.5%	2.4%	2.8%
6 自転車		364件	23.2%	22.5%	20.8%	23.0%	22.7%	21.7%
7 徒歩		249件	15.9%	15.7%	12.9%	13.5%	13.7%	14.0%
8 その他		8件	0.5%	0.7%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%
無回答	81人	81件	5.2%	1.3%	3.6%	3.0%	2.9%	3.3%

F 10 あなたは、松戸市の行政情報を主に何によって入手しているかお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)			平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	2,255件	143.9%	146.9%	142.4%	143.5%	149.3%
1 テレビ・ラジオ	1,345人	154件	9.8%	8.7%	8.2%	10.1%	7.8%	6.7%
2 新聞・雑誌		220件	14.0%	19.2%	18.1%	17.9%	22.2%	23.3%
3 広報誌(広報まつど)		1,086件	69.3%	73.7%	73.1%	73.1%	78.8%	76.7%
4 松戸市のホームページ		321件	20.5%	14.4%	11.3%	9.3%	8.9%	4.8%
5 各種パンフレット		107件	6.8%	9.3%	8.1%	8.3%	7.8%	9.0%
6 町会などでの集会や会合		105件	6.7%	7.3%	7.2%	7.7%	9.4%	8.1%
7 市が主催する説明会など		3件	0.2%	0.1%	0.6%	0.5%	1.0%	0.7%
8 その他		37件	2.4%	2.0%	0.7%	2.0%	1.2%	1.1%
9 特になし	151人	151件	9.6%	11.0%	11.9%	12.2%	10.7%	11.5%
無回答	71人	71件	4.5%	1.4%	3.1%	2.5%	1.5%	2.8%

F 11 あなたは、納めた税金などの対価として提供された市の行政サービスについて、どのように感じているかお答えください。

選択肢	平成22年度 (今回)			平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 非常に満足している	7人	0.4%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	1.0%	
2 まあまあ満足している	229人	14.6%	14.7%	13.9%	10.6%	16.2%	15.1%	
3 どちらとも言えない	653人	41.7%	39.7%	36.3%	35.7%	40.6%	41.9%	
4 あまり満足していない	408人	26.0%	27.4%	29.8%	30.8%	25.8%	26.1%	
5 ほとんど満足していない	190人	12.1%	14.5%	15.3%	19.0%	14.1%	12.6%	
無回答	80人	5.1%	3.0%	4.0%	3.2%	2.7%	3.4%	

< 回答者の居住地区 >

選択肢	平成22年度 (今回)		平成21年度 (前回)	平成19年度	平成18年度	平成16年度	平成13年度
	全体	1,567人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 本庁	406人	25.9%	26.6%	27.6%	27.9%	24.9%	27.3%
2 常盤平	313人	20.0%	20.3%	20.7%	19.1%	19.4%	18.4%
3 小金	153人	9.8%	8.5%	8.9%	9.1%	8.7%	9.2%
4 小金原	105人	6.7%	7.3%	5.5%	6.2%	7.1%	7.0%
5 六美	97人	6.2%	5.8%	6.0%	5.8%	6.0%	6.5%
6 馬橋	116人	7.4%	9.1%	8.2%	8.1%	8.9%	7.3%
7 新松戸	185人	11.8%	11.5%	10.7%	12.4%	13.7%	12.2%
8 矢切	90人	5.7%	5.0%	6.0%	5.9%	5.6%	5.6%
9 東部	98人	6.3%	6.0%	6.3%	5.4%	5.6%	6.5%
無回答	4人	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

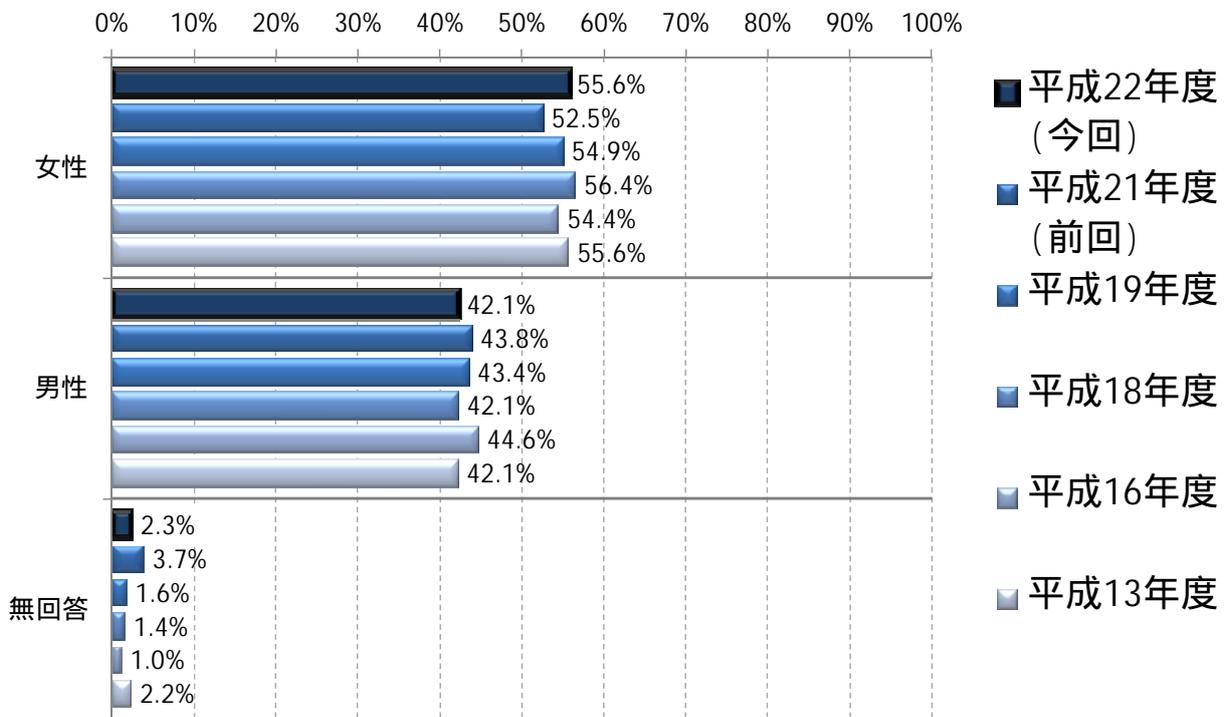
## 市民意識調査の回答者の特性



# 1 基本属性

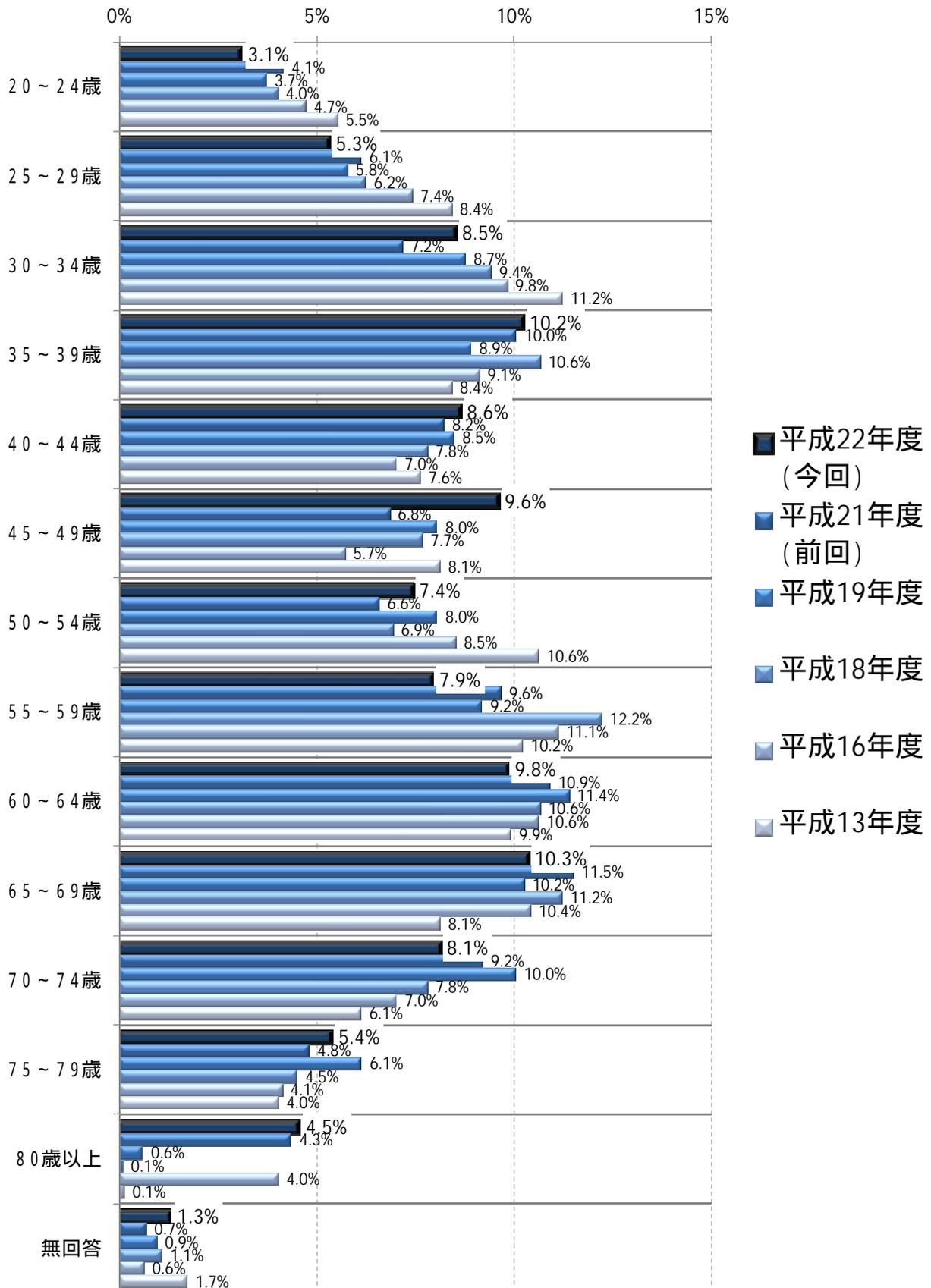
## 1 - 1 性別

回答者の性別をみると、“男性”(42.1%)よりも、“女性”(52.5%)の割合が高く、前回調査とほぼ同様の傾向を示しています。



## 1 - 2 年齢

回答者の年齢は、前回調査に比べると“45～49歳”、“30～34歳”など、30・40代の占める割合が高くなっています。一方で、“55～59歳”から“70～74歳”までの割合は前回調査よりも低くなっています。

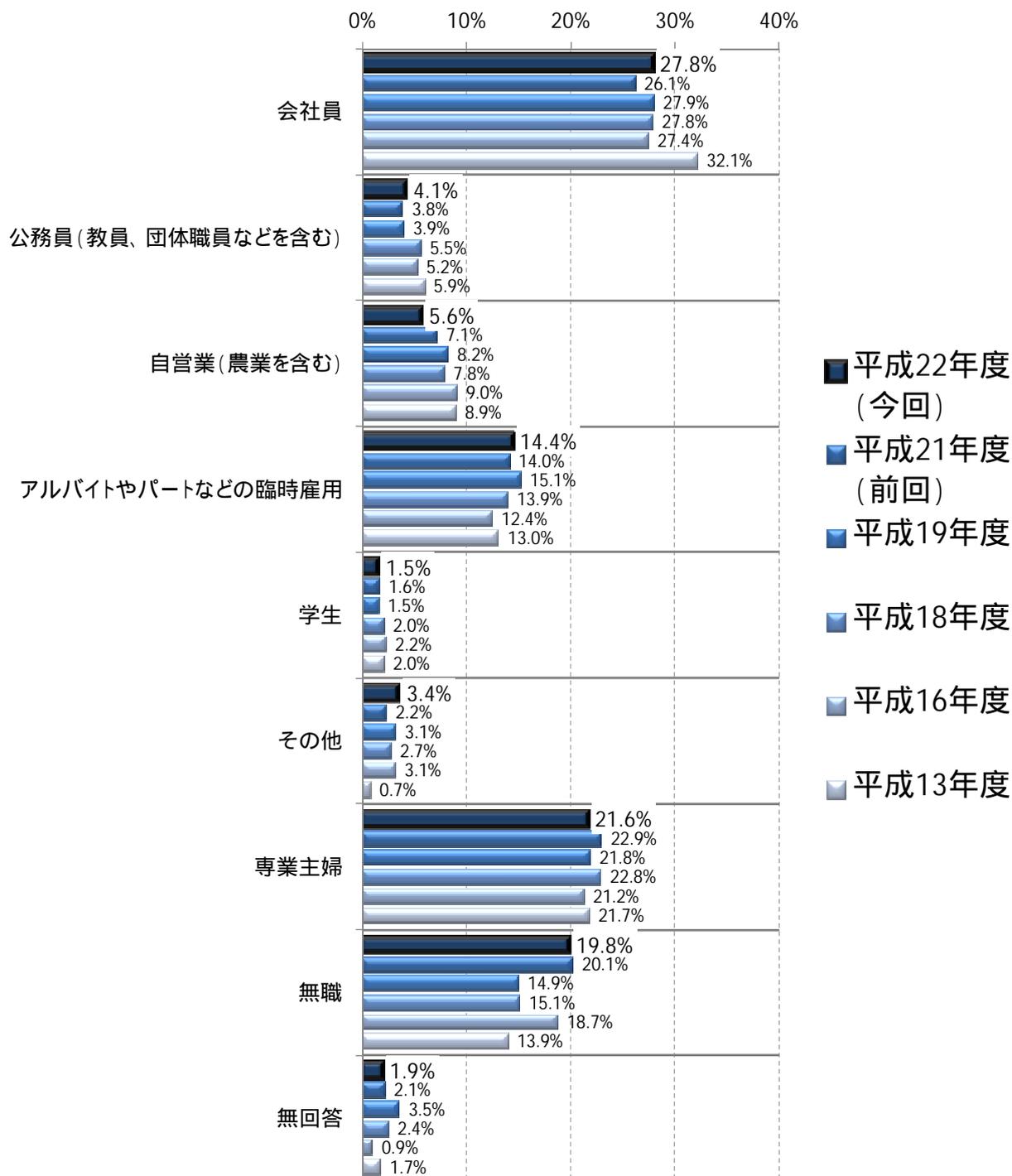




## 1 - 4 就労状況

### (1) 職業

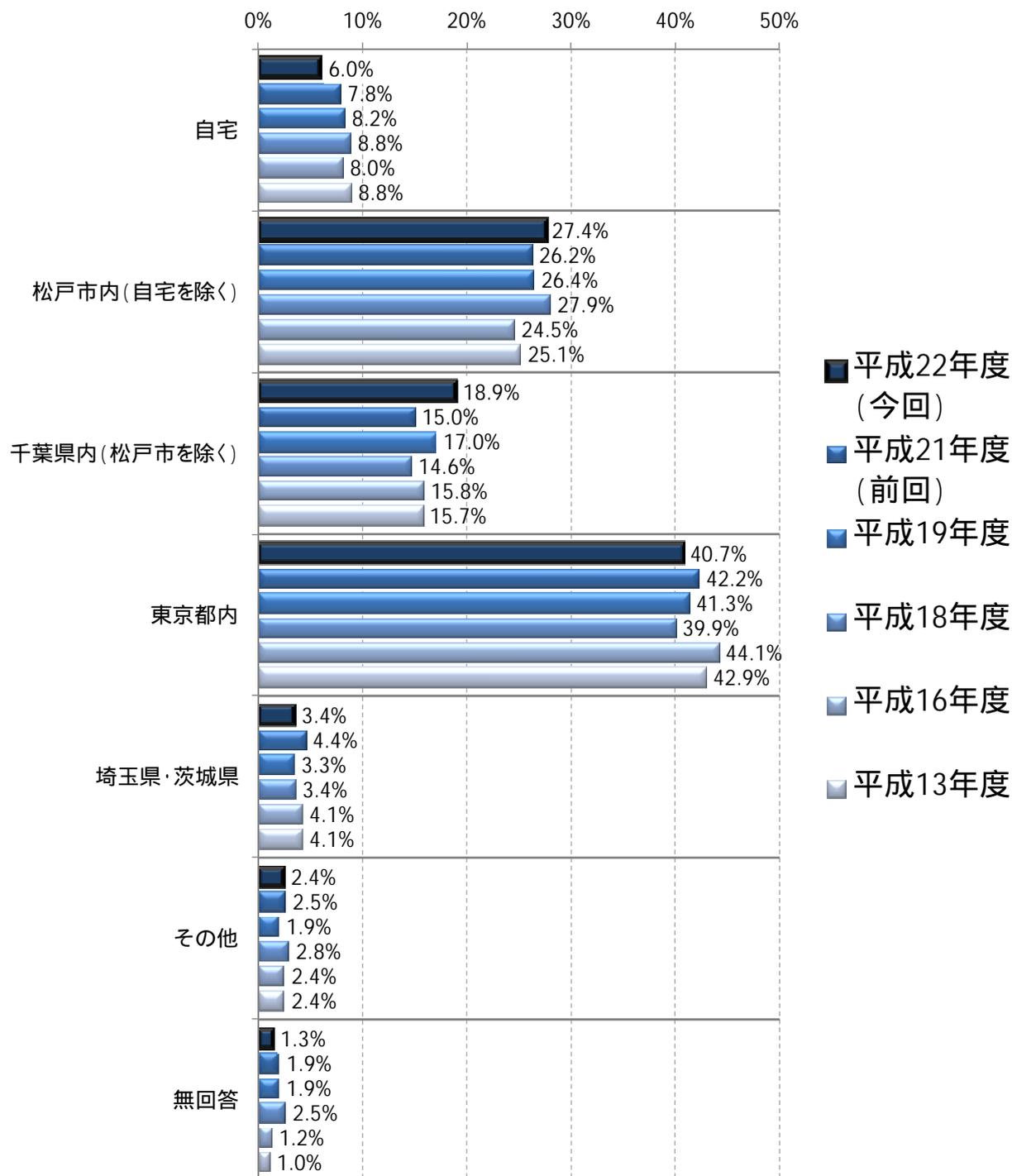
回答者の職業をみると、“会社員”(27.8%)と“専業主婦”(21.6%)がそれぞれ2割以上を占めて多くなっています。次いで“無職”(19.8%)で続いており、職業の構成はほぼ前回調査と同様となっています。



## (2) 勤務地・通学地

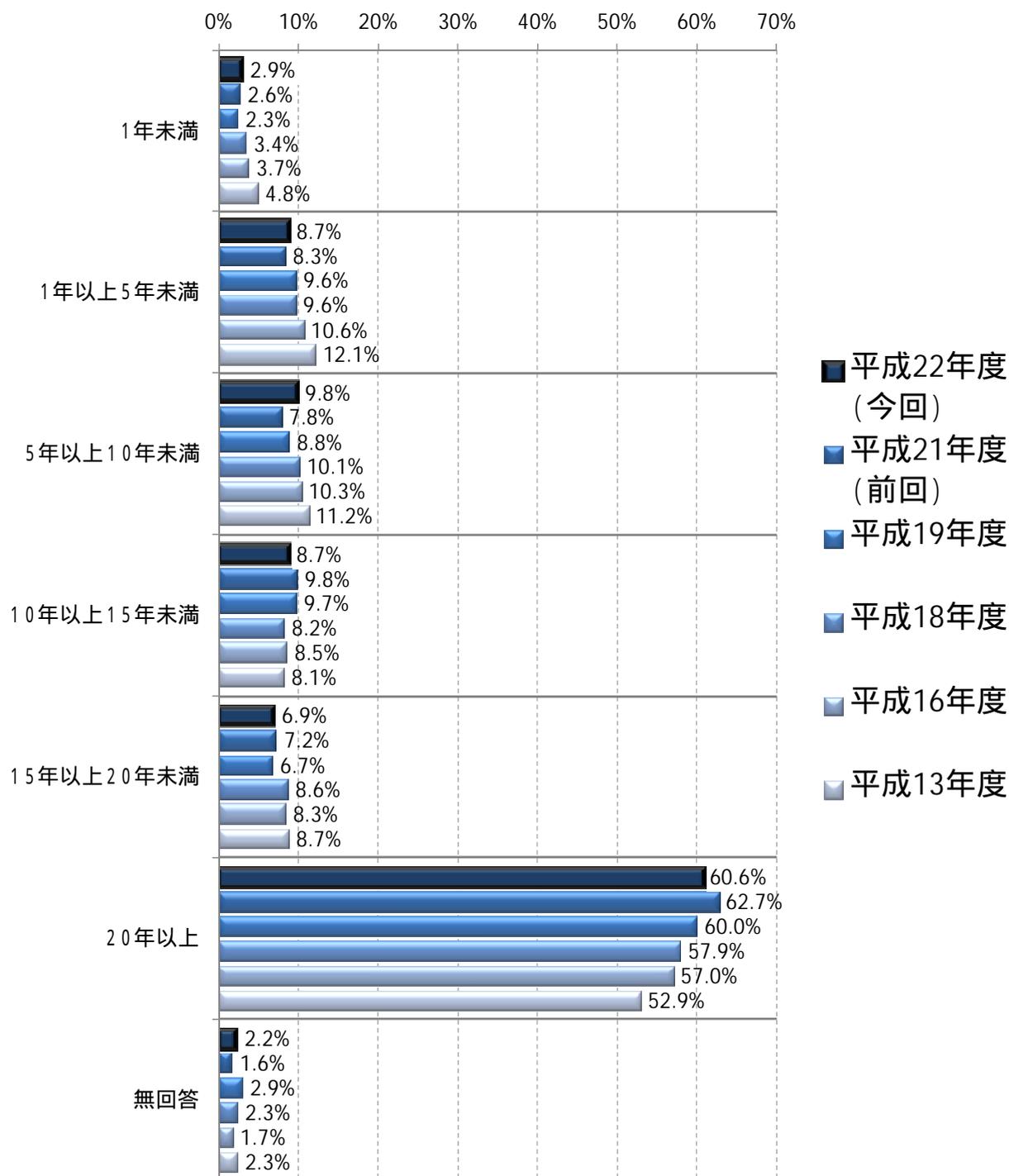
職業に対する回答が“専業主婦”と“無職”だった回答者を除いた 890 人に対して、勤務地・通学地について聞いたところ、前回調査と同様に回答者の 4 割は“東京都内”(40.7%)としています。次いで“松戸市内(自宅を除く)”が 27.4%となっており、ほぼ前回と同様の傾向を示しています。

前回に比べると、“千葉県内(松戸市を除く)”への回答の割合がやや増えています。



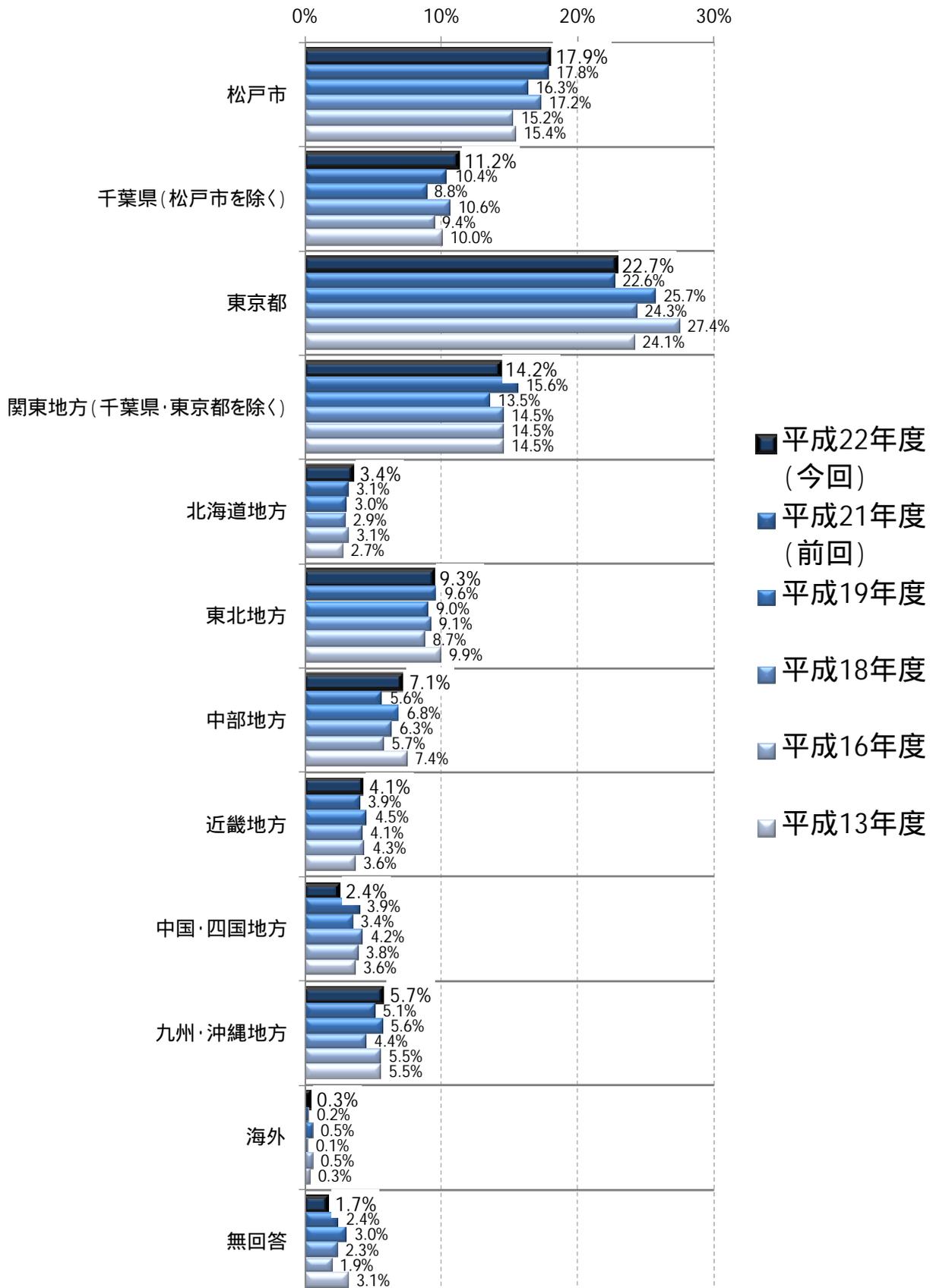
## 1 - 5 居住年数

回答者の居住年数は“20年以上”が60.6%で最も多くなっています。前回調査までは“20年以上”への回答の割合が毎回高まっていたが、今回調査では前回よりもわずかに回答の割合が減少しています。



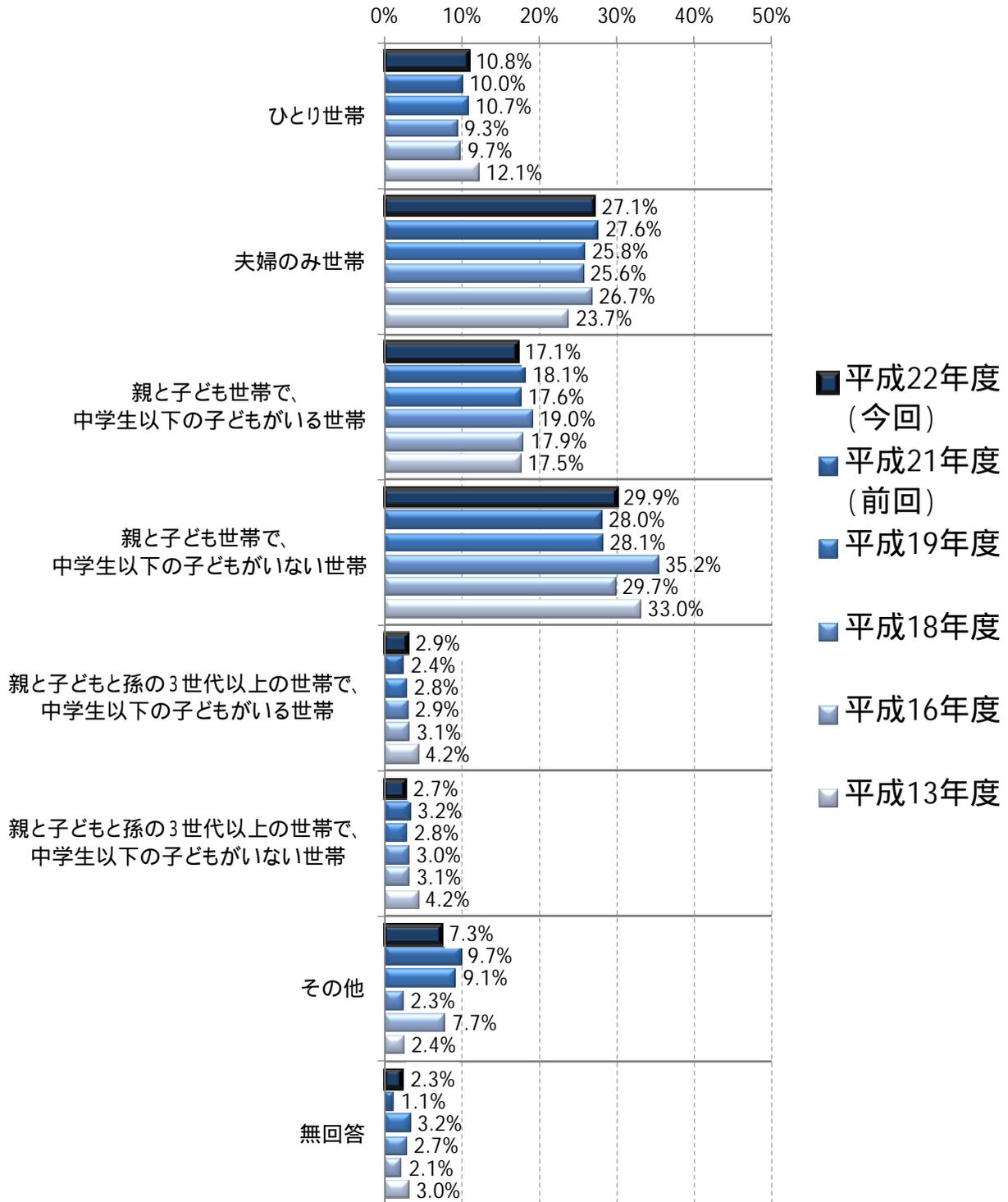
## 1 - 6 出身地

回答者の出身地は“東京都”が 22.7%で最も多く、次いで“松戸市”(17.9%)、“関東地方(千葉県・東京都を除く)”(14.2%)となっています。



## 1 - 7 家族構成

回答者の家族構成をみると、“親と子ども世帯で、中学生以下の子どもがいない世帯”(29.9%)と、“夫婦のみの世帯”(27.1%)が多く、次いで“親と子ども世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯”(17.1%)となっています。



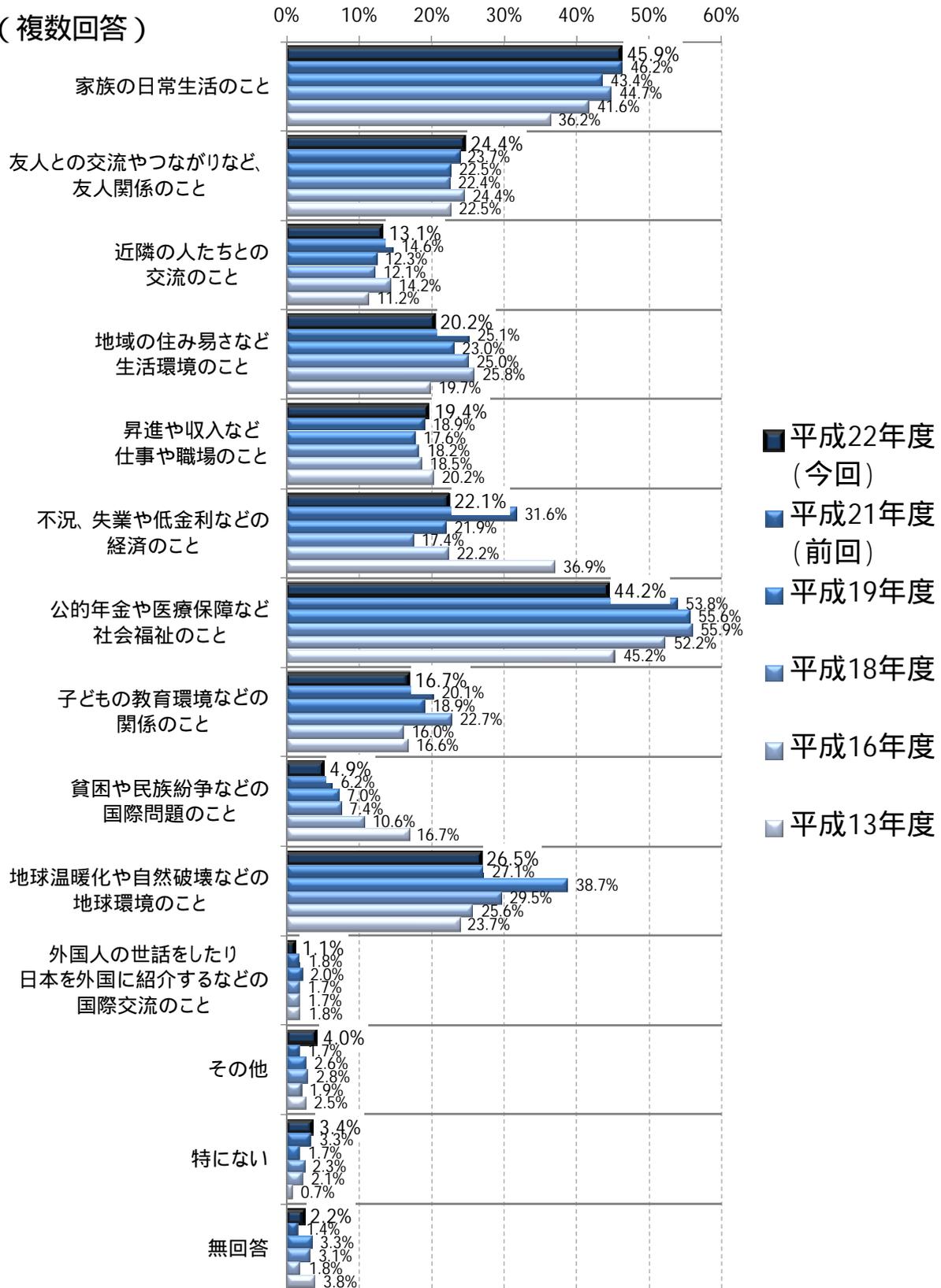
## 2 回答者の特性

### 2 - 1 興味関心

回答者の興味や関心をみると、前回調査と同様に“家族の日常生活のこと”（45.9%）と“公的年金や医療保障など社会福祉のこと”（44.2%）が多くなっています。

前回と比べると、“公的年金や医療保障など社会福祉のこと”への回答の割合は減少しています。

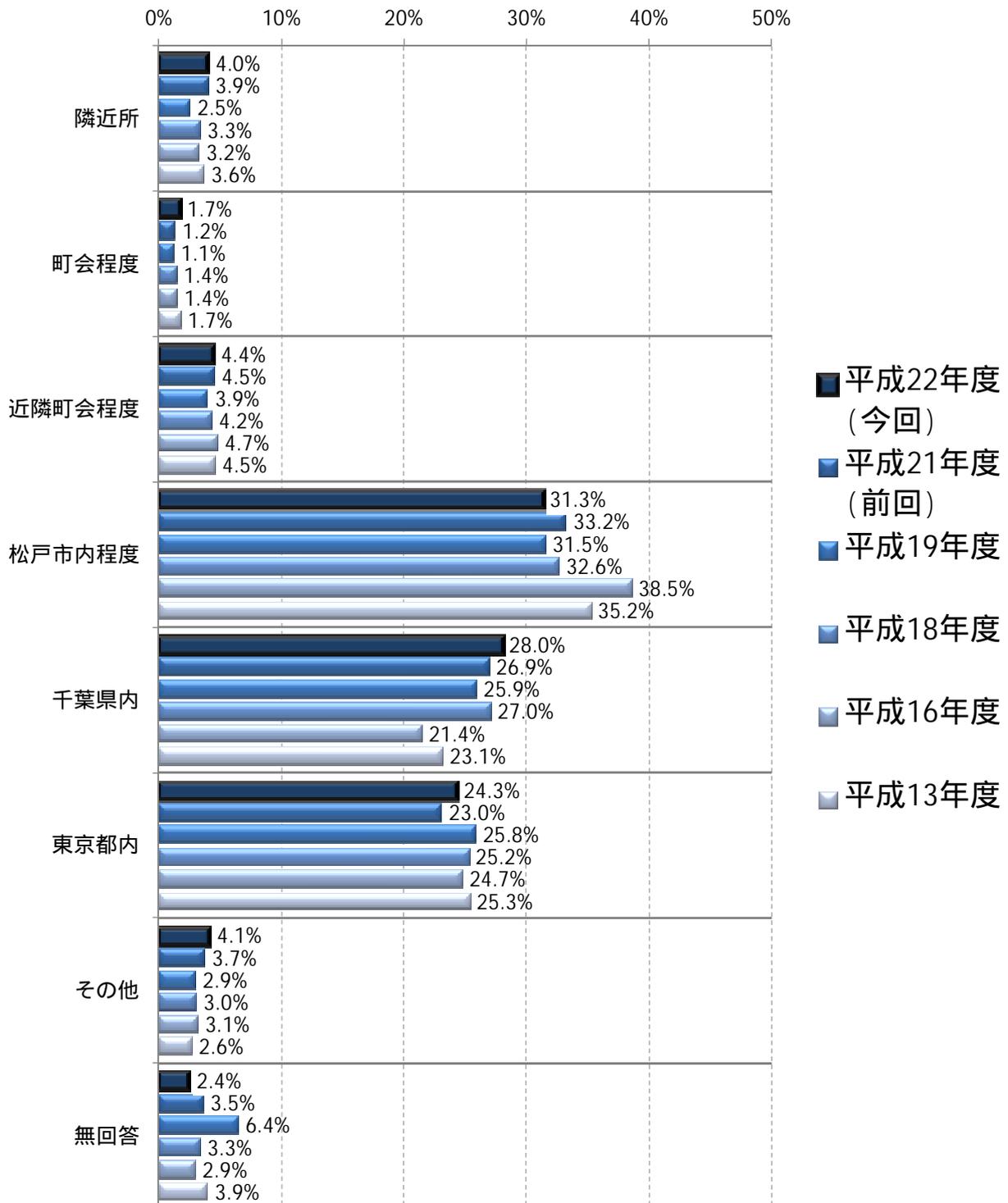
（複数回答）



## 2 - 2 日常的な行動範囲

日常的な行動範囲は、“松戸市内程度”(31.3%)、“千葉県内”(28.0%)が多く、次いで“東京都内”(24.3%)となっています。

前回調査と比べると、“松戸市内程度”への回答の割合がやや減少し、“千葉県内”、“東京都内”への回答の割合がわずかに増加しています。

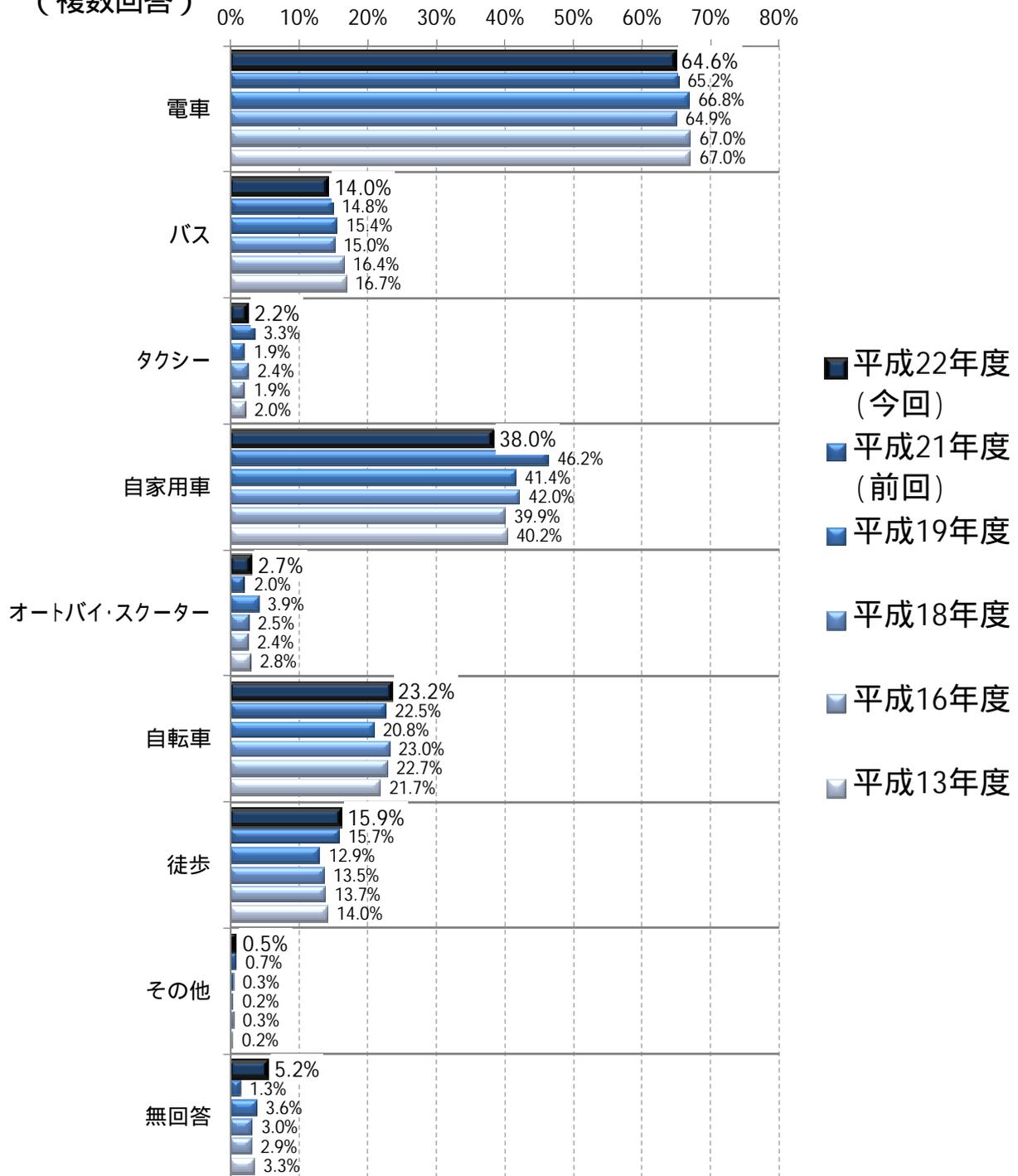


## 2 - 3 主な交通手段

回答者の主な交通手段は、“電車”(64.6%)が6割以上と最も多くなっています。次いで“自家用車”が38.0%、“自転車”が23.2%となっています。

前回調査に比べると、“自家用車”への回答の割合が減少し、“自転車”への回答の割合がやや増えています。

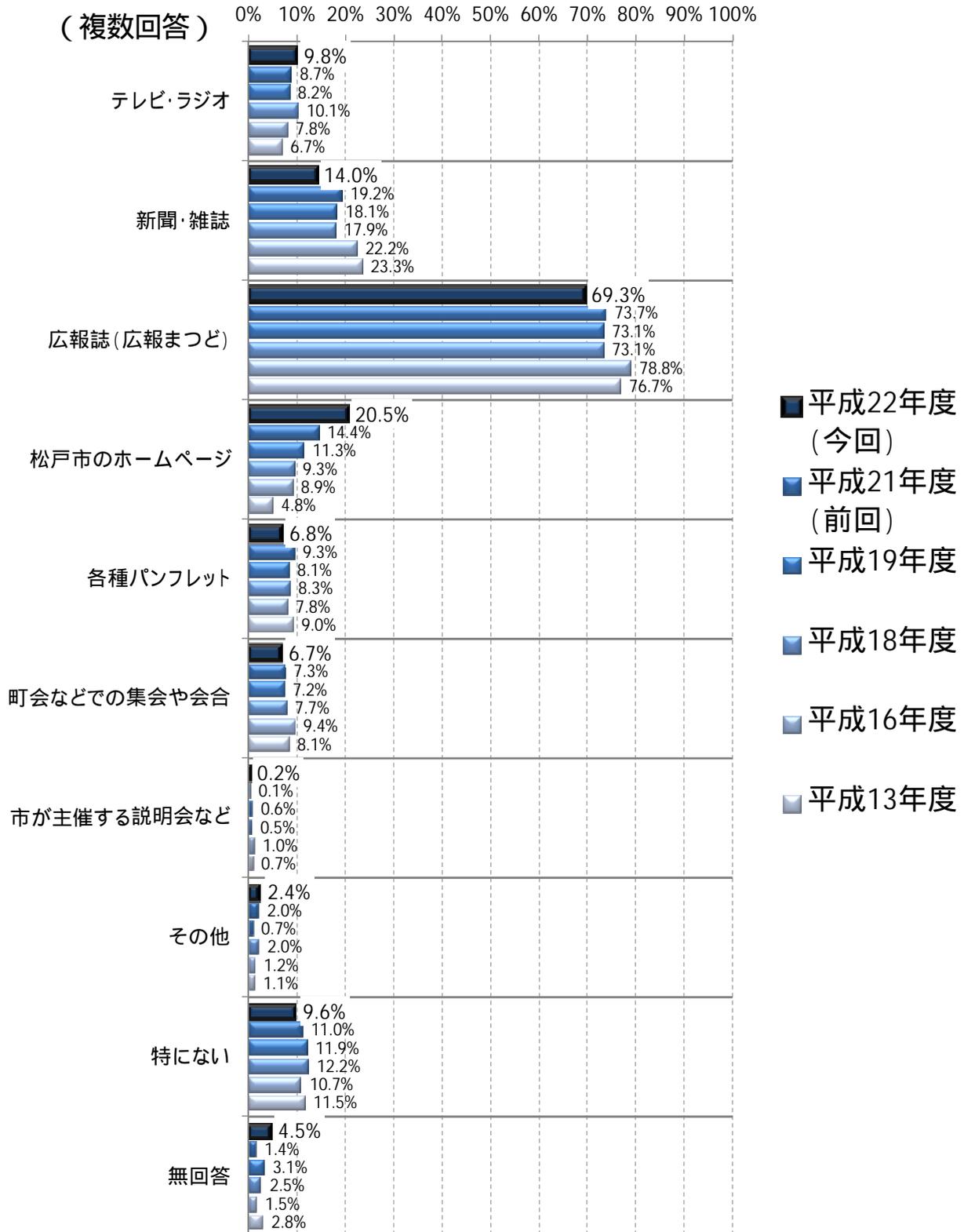
(複数回答)



## 2 - 4 行政情報の入手先

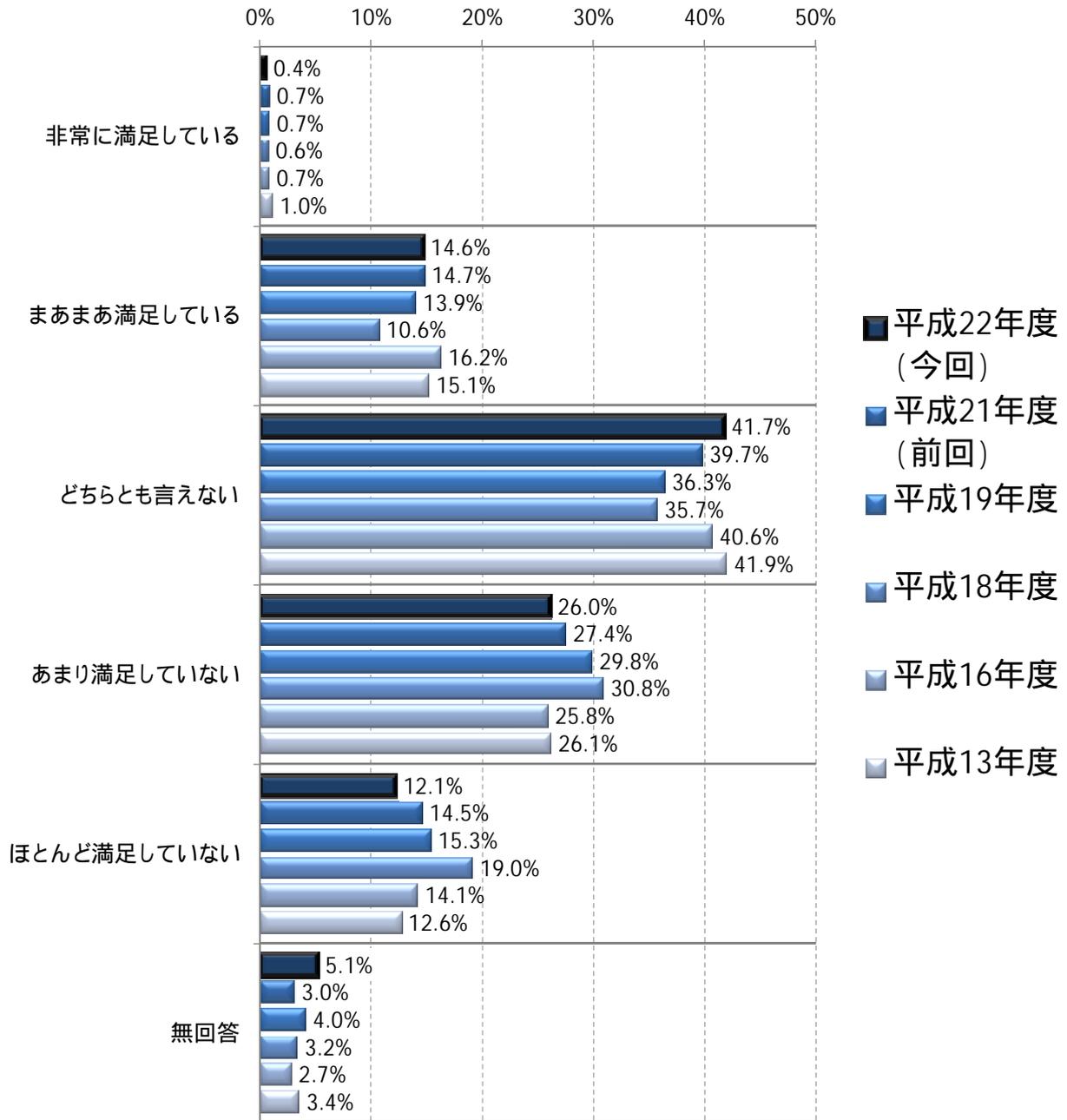
回答者の行政情報の入手先についてみると、“広報誌(広報まつど)”が69.3%で最も多くなっています。

“松戸市のホームページ”は調査ごとに回答の割合が増えており、今回調査では20.5%と2割を超え、“広報誌(広報まつど)”に次いで行政情報の入手先として活用されています。



## 2 - 5 行政サービスに対する満足度

行政サービスに対する満足度については、前回同様に“どちらとも言えない”(41.7%)が最も多くなっています。“あまり満足していない”、“ほとんど満足していない”への回答の割合は調査を重ねるごとに減少していますが、双方の回答をあわせると全体の3割以上は行政サービスに対して不満としています。





市民意識調査に基づく「指標の現状（値）」



# 1 指標の現状（値）

## 第1節 連携型地域社会の形成

目的：市民が互いを尊重し、住み続けたいと思うまちになる

指標：松戸に住み続けたいと思う人の割合

### （1）目的

一人ひとりが、個性や生き方を自由に選択し、自らの能力を発揮すること。また、その能力を地域社会に還元することにより、誰もが住みやすい環境形成を図ることを目的としています。

### （2）指標

誰もが住みやすい環境形成が実現できれば、今後も住み続けたいと思う意向が強くなると考えます。これにより、住みやすい環境形成が促進できたかどうかの成果を図ることができるものと思われます。

### （3）設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・意向」

Q18 あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。（1つに ）

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 住み続けたい        | 4 あまり住み続けたくない |
| 2 できることなら住み続けたい | 5 住み続けたくない    |
| 3 どちらとも言えない     |               |

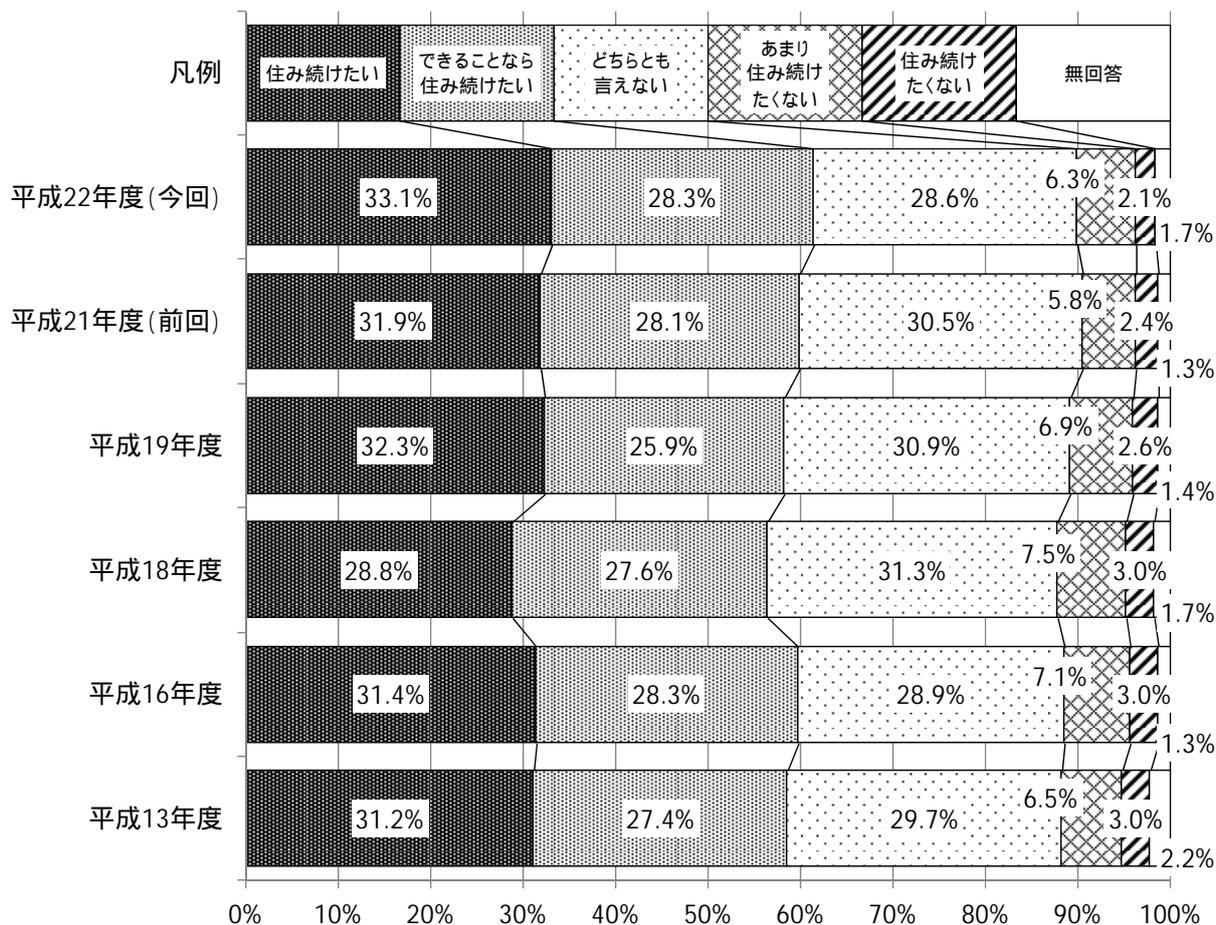
### （4）指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
住み続けたい	31.2%	31.4%	28.8%	32.3%	31.9%	<b>33.1%</b>
できることなら住み続けたい	27.4%	28.3%	27.6%	25.9%	28.1%	<b>28.3%</b>
計	58.6%	59.7%	56.4%	58.2%	60.0%	<b>61.4%</b>

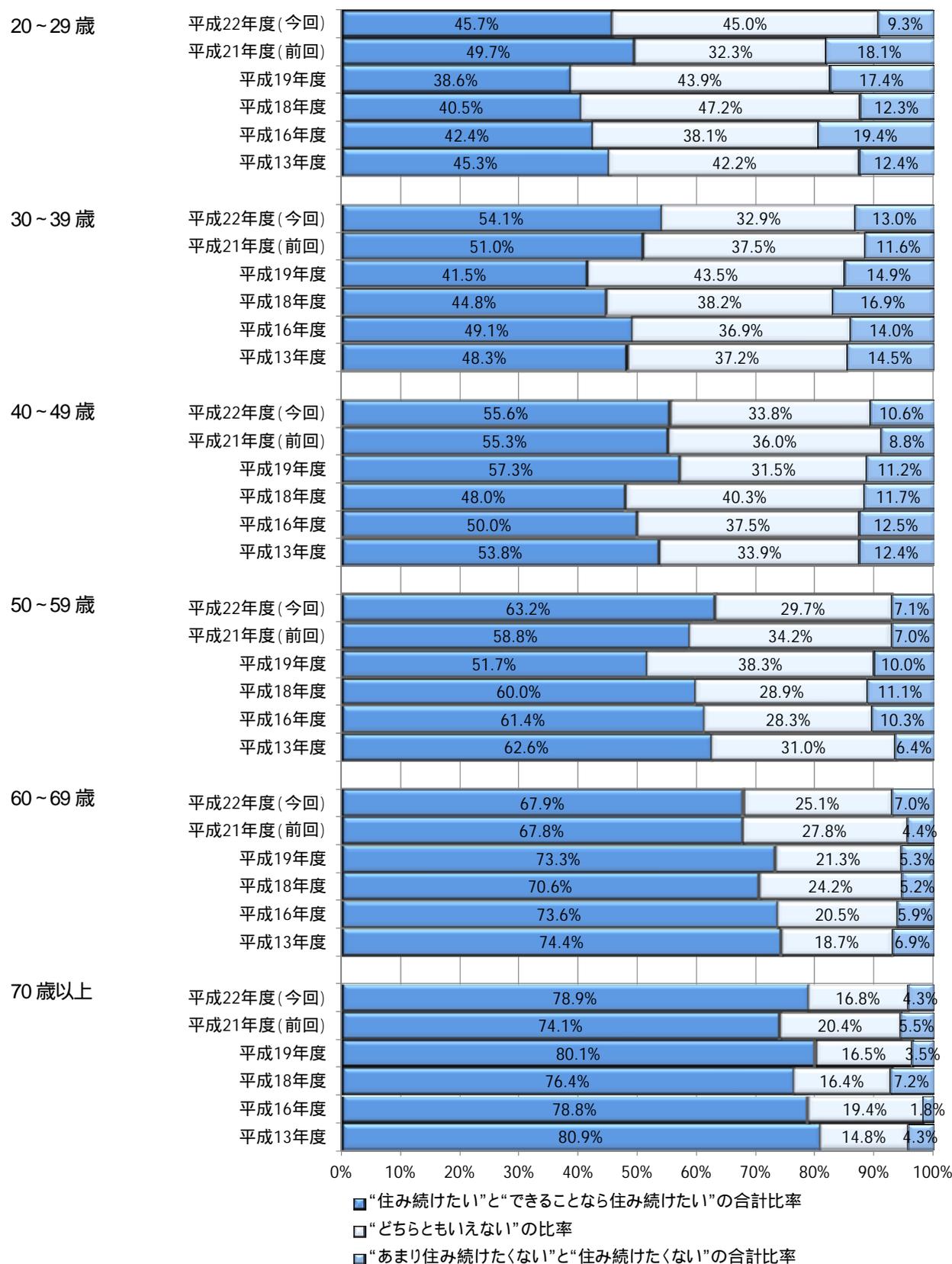
### (5) 指標の分析

松戸市への定住意向は平成18年度以降徐々に高まり、今回調査では61.4%が定住の意向を示しています。

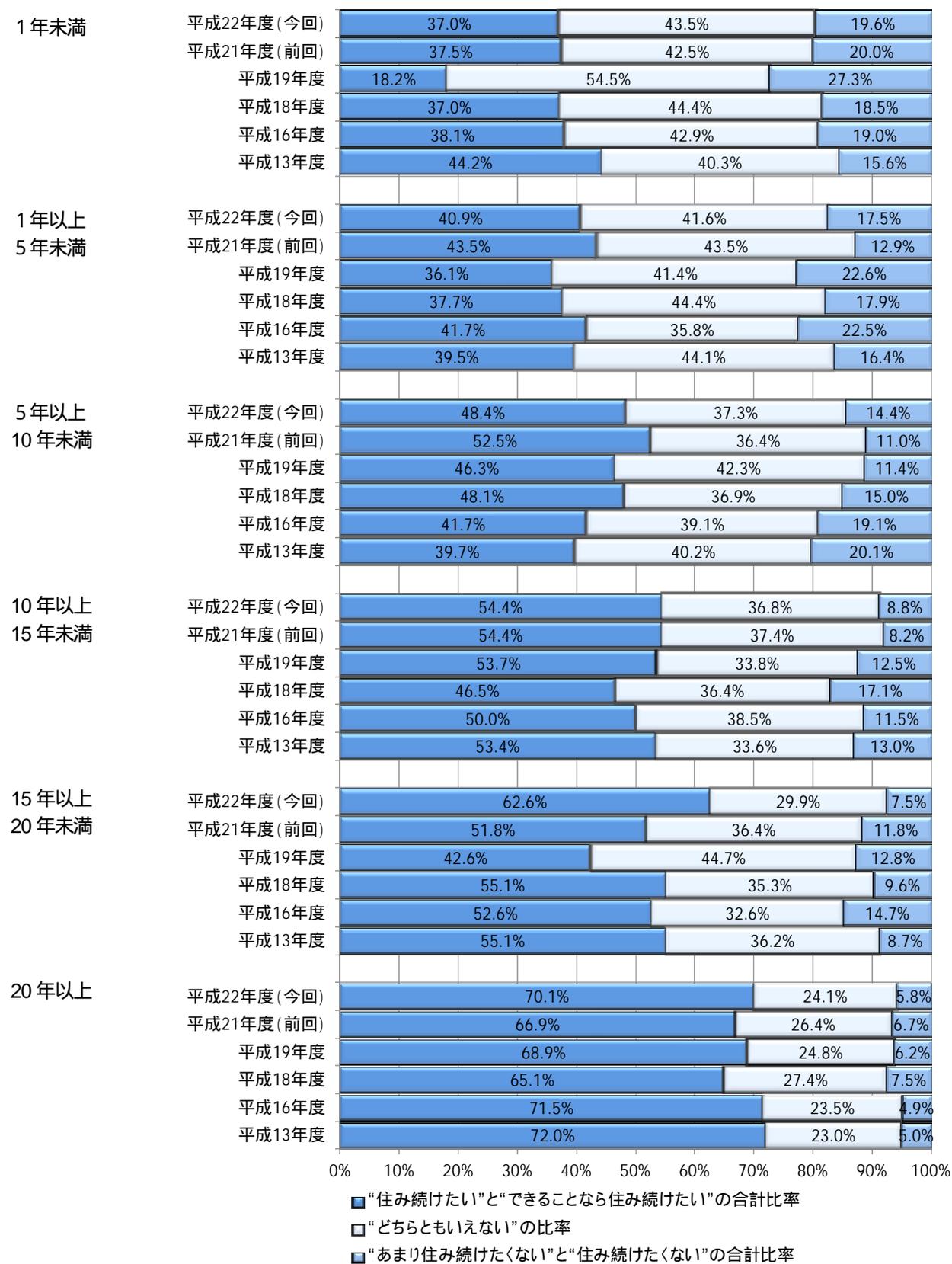
“住み続けたい”との回答は33.1%と全体の約1/3を占めています。平成18年以降、“住み続けたい”、“できることなら住み続けたい”という本市への定住意向を示す回答の割合は徐々に高まっており、今回の調査では6割以上が定住の意向を示しています。



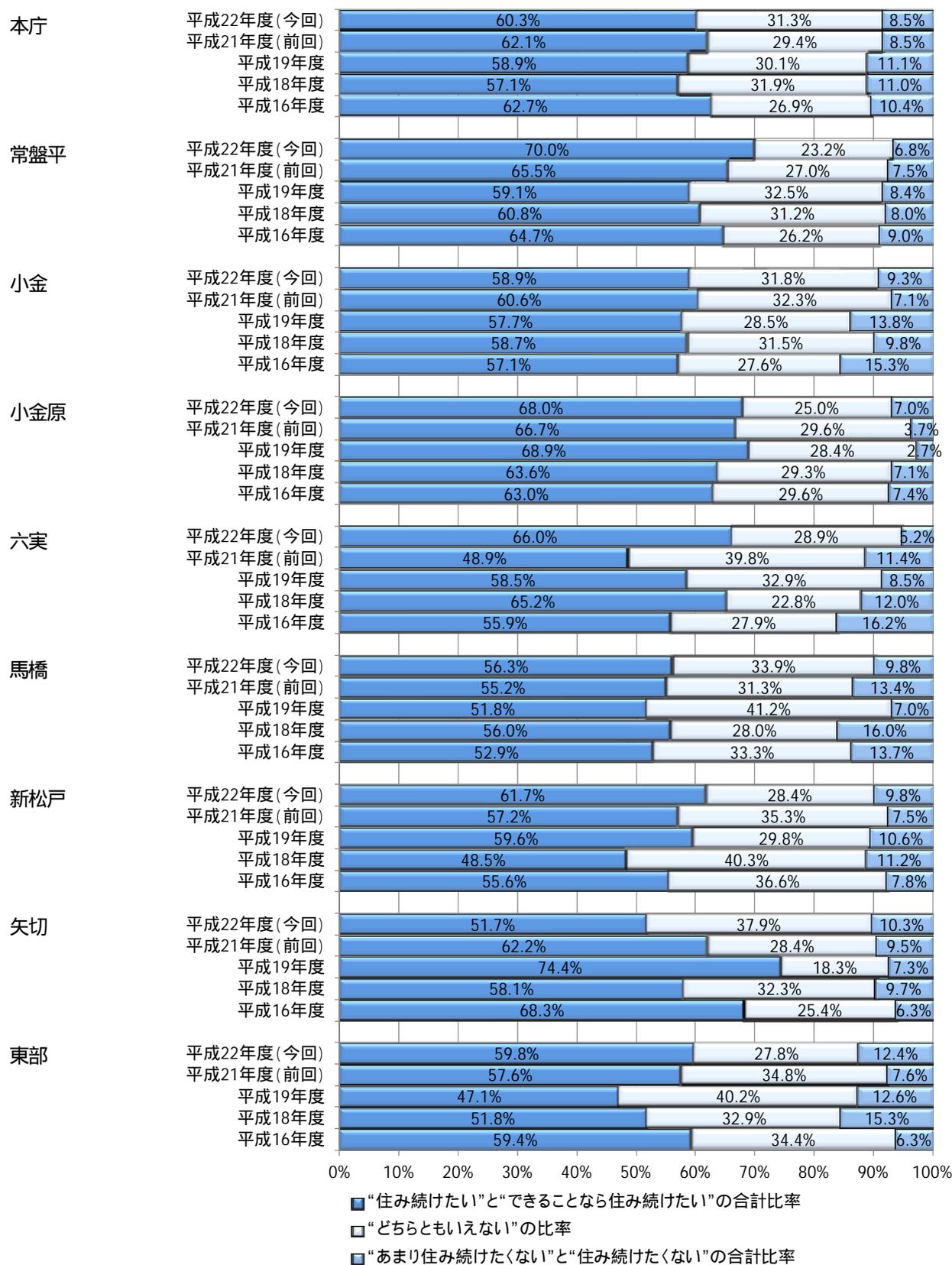
【定住意向×年齢】



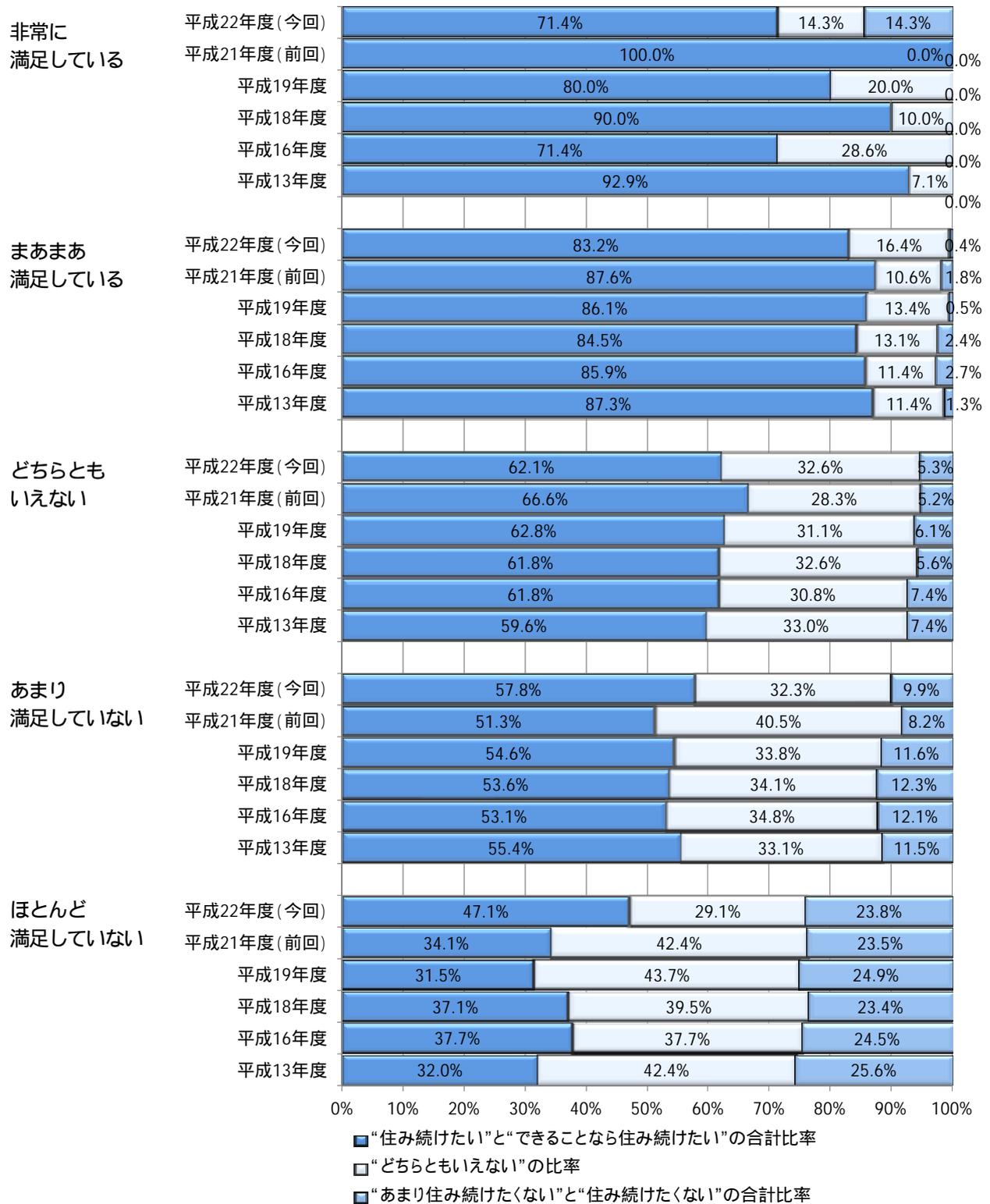
【定住意向×松戸市在住年数】



【定住意向×地区】



【定住意向×税金の対価サービス満足度】



# 第1節 連携型地域社会の形成

## 第1項 人権を尊重する社会の実現

目的：さまざまな人権侵害がなくなり、一人ひとりの個性や生き方がより尊重されるようになる

指標：身の回りで人権が守られていると思っている人の割合

### (1) 目的

人権尊重の理念が日々の暮らしのなかに活かされ、すべての人が差別や偏見による人権侵害を受けることのない、市民の誰もが、かけがえのない人間として尊重され、いきいきと生活できるまちになることが重要であると考えます。

### (2) 指標

差別や偏見などに代表される人権問題は、問題を他人ごととして捉えられがちな傾向や、被害にあった方々が声を出しにくい環境などから、その実態を正確なデータとして捉えることは難しい状況にあります。このことから、身の回りで人権が守られていると思っている人が増えることにより、一人ひとりの個性や生き方がより尊重され、今以上に市民がいきいきと生活できることを目指します。

### (3) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「社会・態度(認知)」

Q1 あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか。次の中で、人権が守られていないと日頃感じることをお答え下さい。(あてはまるもの全てに)

1 女性の人権問題	4 障害者の人権問題	7 患者の人権問題
2 子どもの人権問題	5 同和問題	8 その他( )
3 高齢者の人権問題	6 外国籍市民の人権問題	9 人権問題は特にない

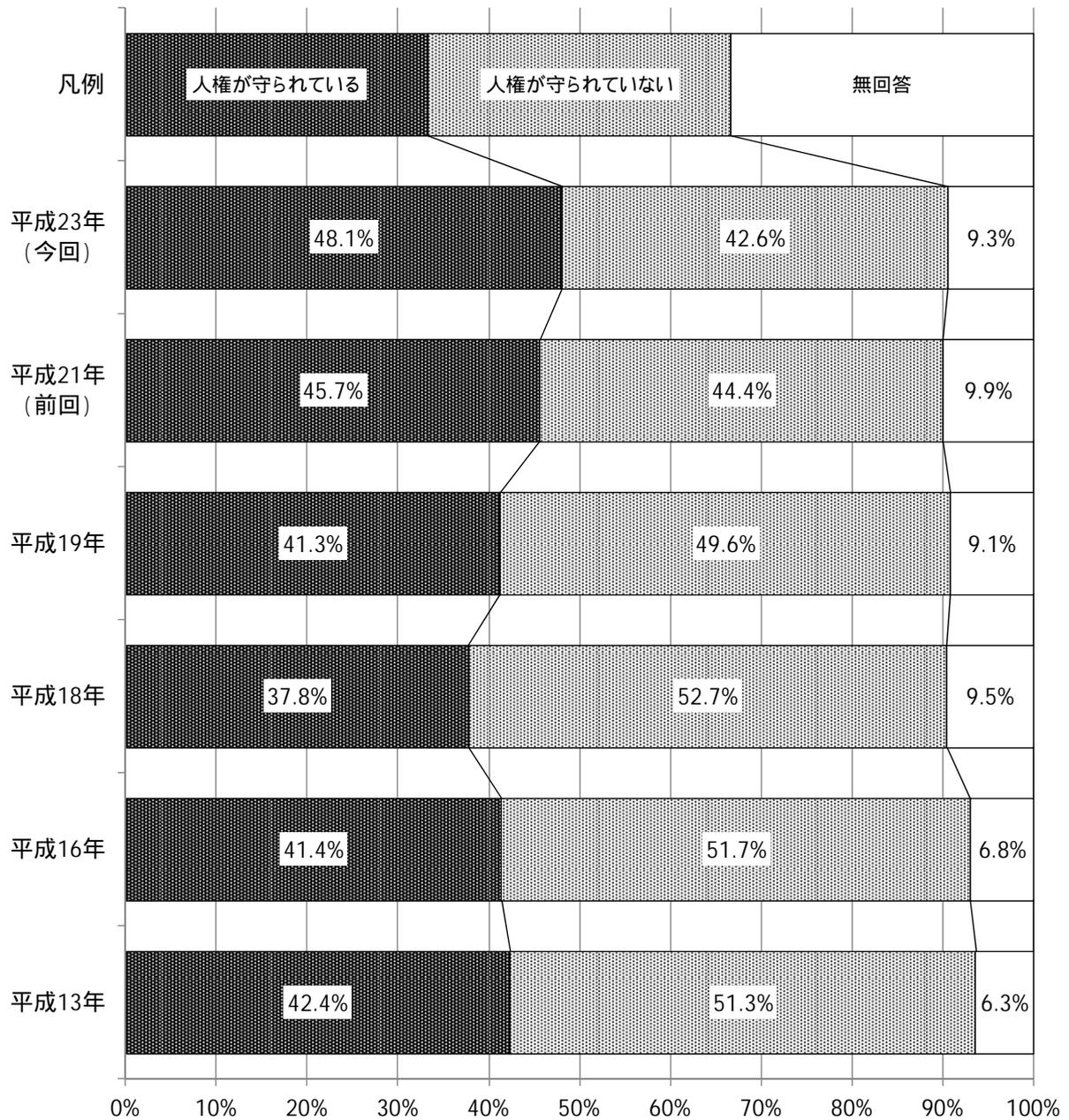
### (4) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
人権問題は特にない	42.4%	41.4%	37.8%	41.3%	45.7%	<b>48.1%</b>

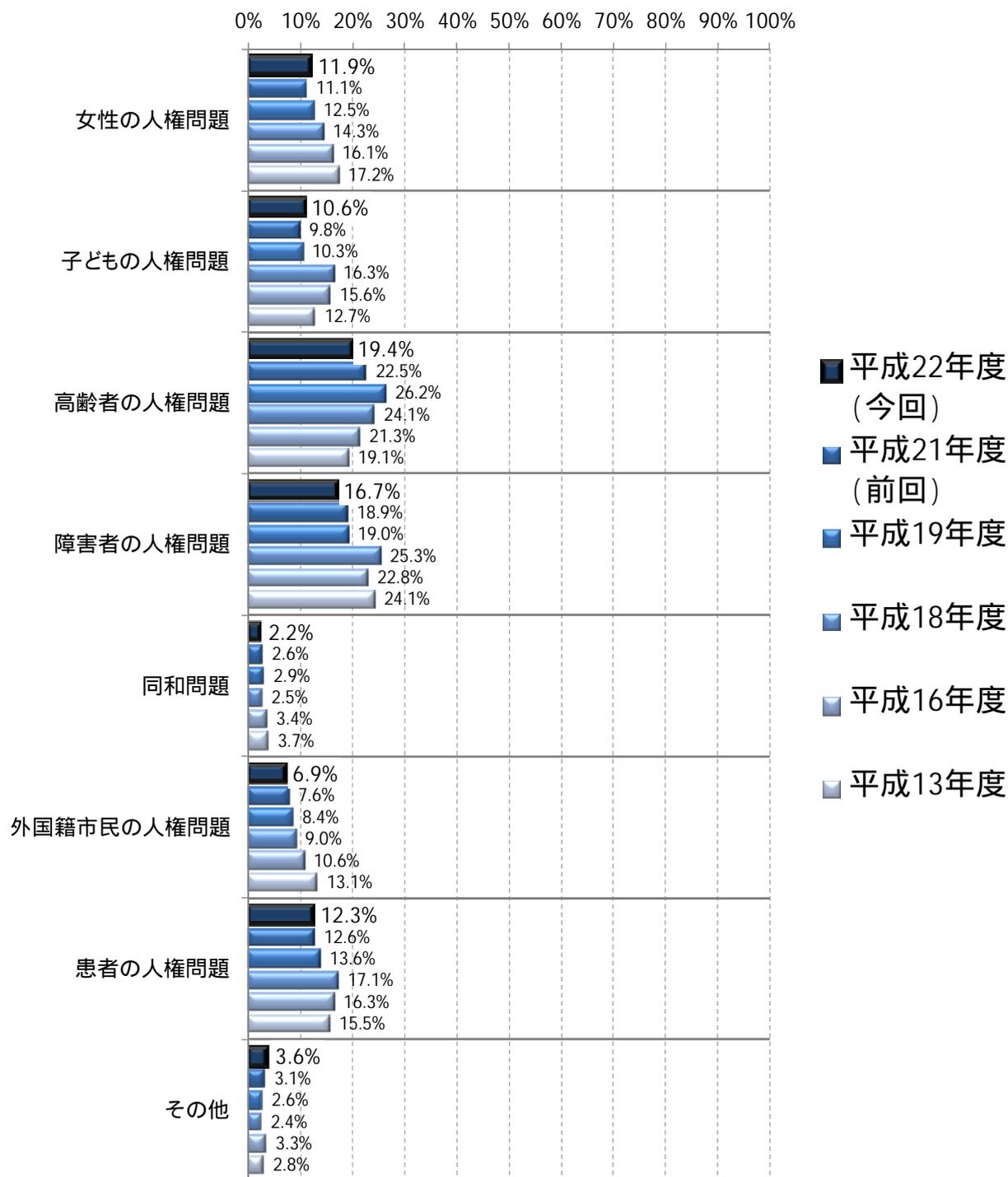
### (5) 指標の分析

半数は人権が守られていると評価しており、人権が守られていないと考えている人は減少しています。

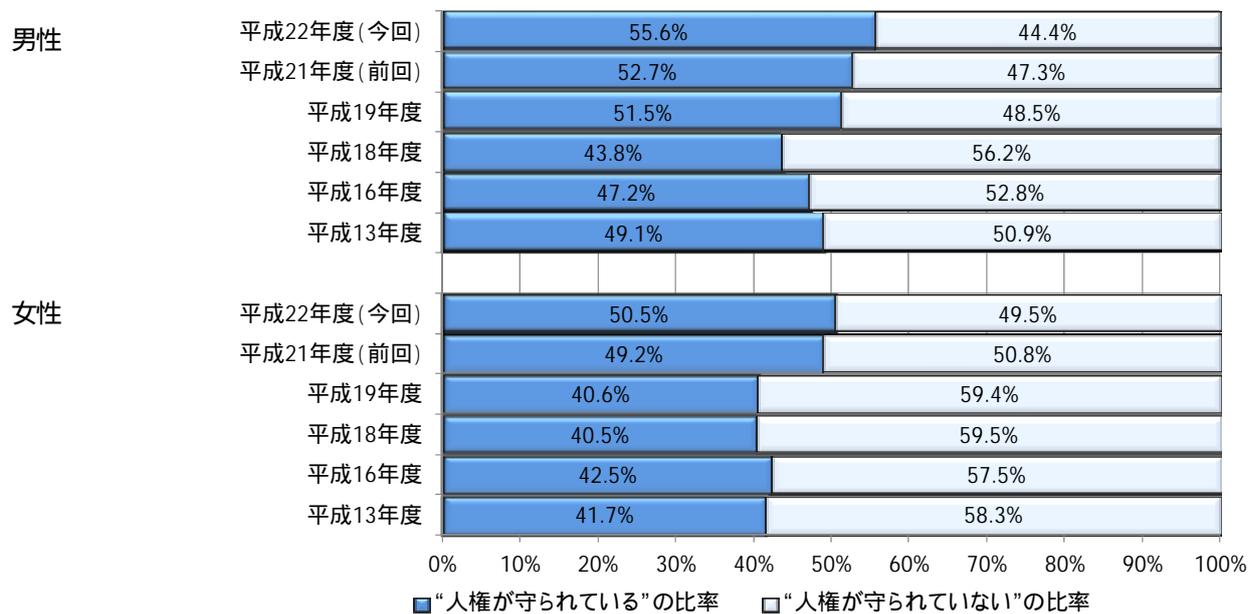
“人権が守られている”との回答は、平成18年以降高まっており、今回の調査では、48.1%と半数近くが回答しています。一方で、“人権が守られていない”という回答は42.6%と減少しています。



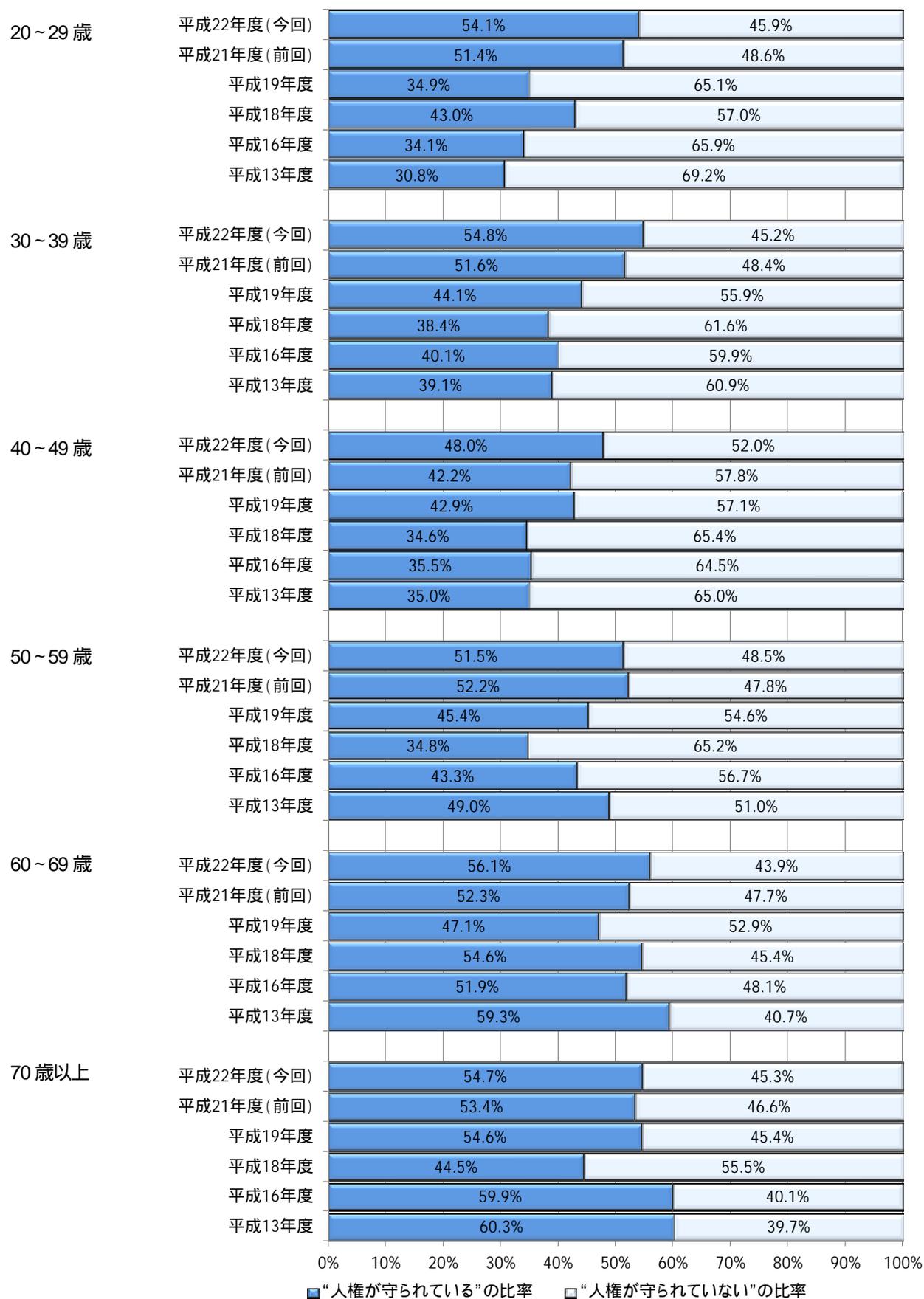
人権が日頃守られていないと感じることとしては、“高齢者の人権問題”(19.4%)と“障害者の人権問題”(16.7%)への回答が多いものの、これらの項目への回答は平成19年以降減少傾向にあり、反対に“女性の人権問題”(11.9%)と“子どもの人権問題”(10.6%)については、わずかながら回答の割合が高くなっています。



【人権問題×性別】



【人権問題×年齢】



## 第1節 連携型地域社会の形成

### 第2項 男女共同参画社会づくり

目的：性別に係わらず、社会・家庭での役割が、今以上に選択できるようになる

指標：性別による役割固定を支持しない人の割合

#### (1) 目的

「性別に係わらず、役割を選択できるような社会」を実現するためには、「男性は仕事、女性は家庭と子育て」などの固定的な男女の役割意識から脱却することが必要です。男女の人権が等しく尊重され、社会参加意欲にあふれた女性が自らの選択によっていきいきと活躍でき、男性も地域、職場、家庭で人間らしい生き方を楽しめ、お互いが支えあい、利益も責任も分かちあえる、バランスのとれた社会となることが重要であると考えます。

#### (2) 指標

固定的な男女の役割意識が払拭されていくことで、家庭環境、社会環境が改善され、性別に係わらず役割が今以上に選択できるようになると考えます。そこで、性別による役割固定を支持しない人の割合を増やしていくことを目指します。

#### (3) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・態度(認知)」

Q2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感する方ですか、それとも同感しない方ですか。(1つに )

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1 同感する方     | 3 同感しない方 |
| 2 どちらともいえない | 4 わからない  |

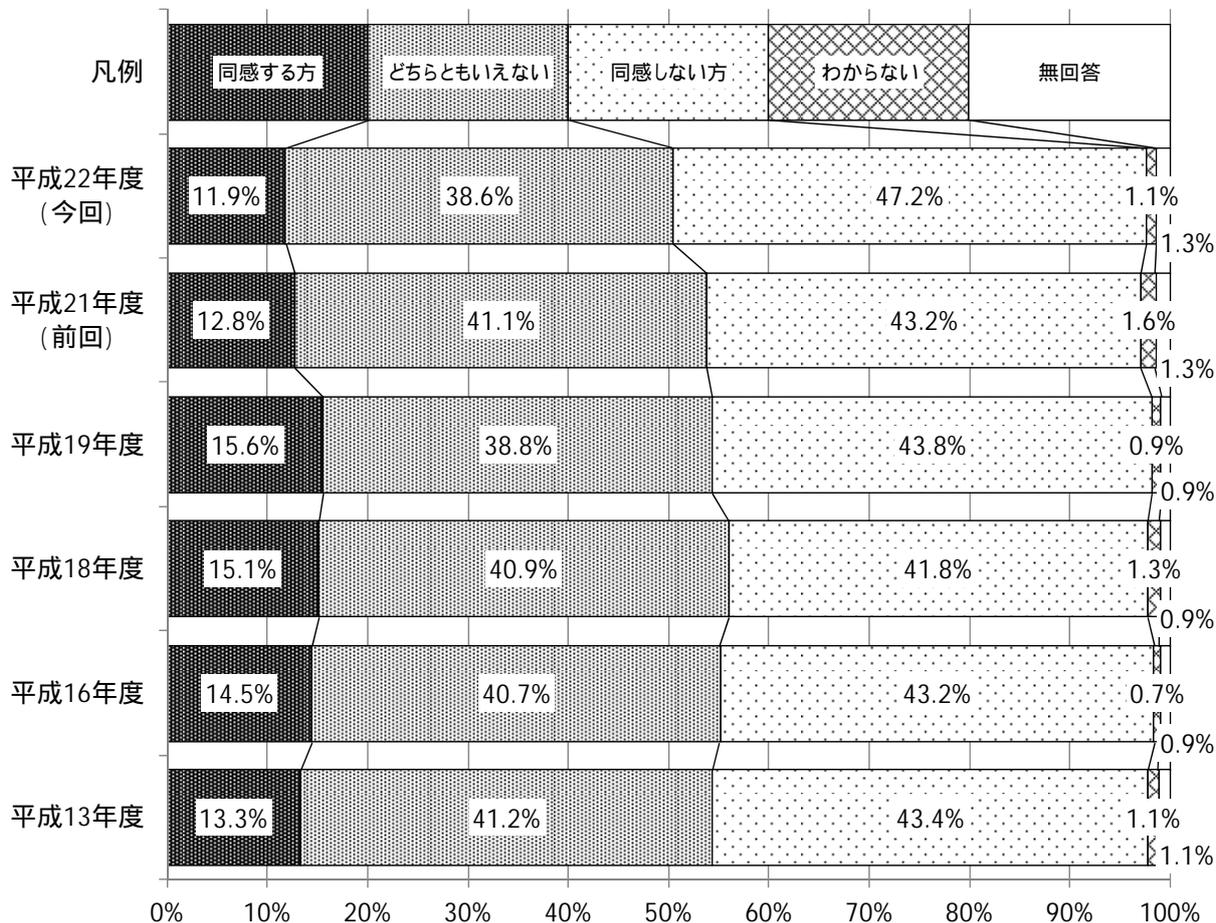
#### (4) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
同感しない方	43.4%	43.2%	41.8%	43.8%	43.2%	<b>47.2%</b>

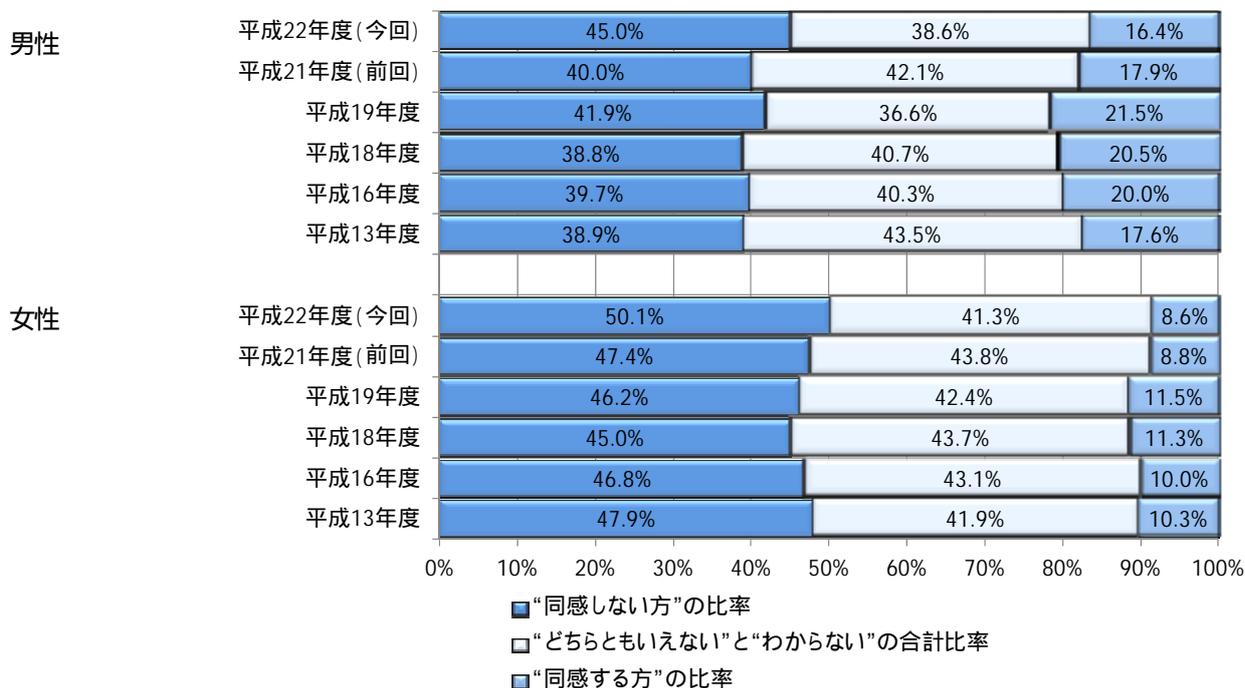
## (5) 指標の分析

性別による役割固定を支持しない人が徐々に増えています。

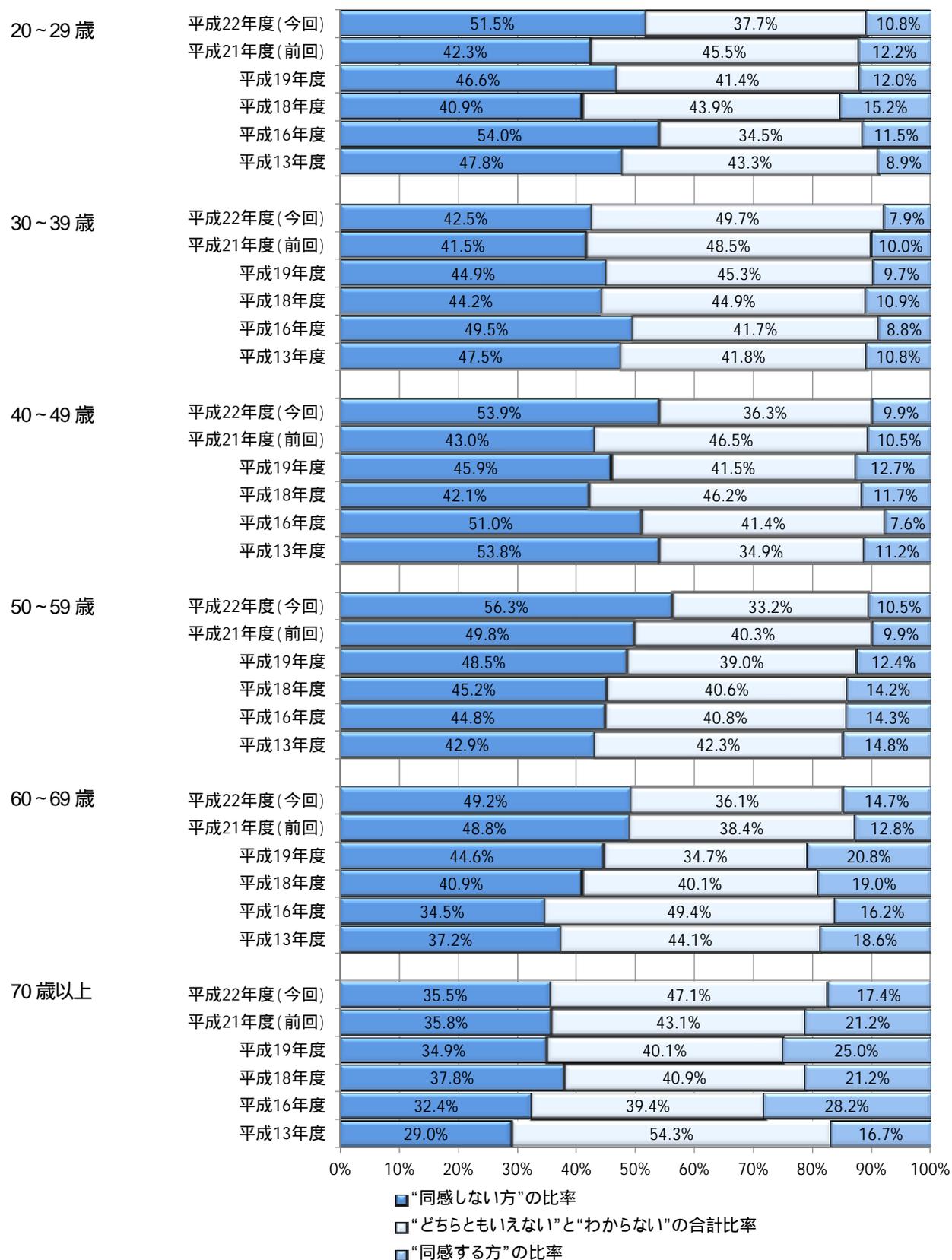
「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同感しない方」という回答は平成18年以降増加しており、今回の調査では47.2%となっています。「同感する方」という回答は平成19年以降減少傾向にあり、今回調査では11.9%となっています。



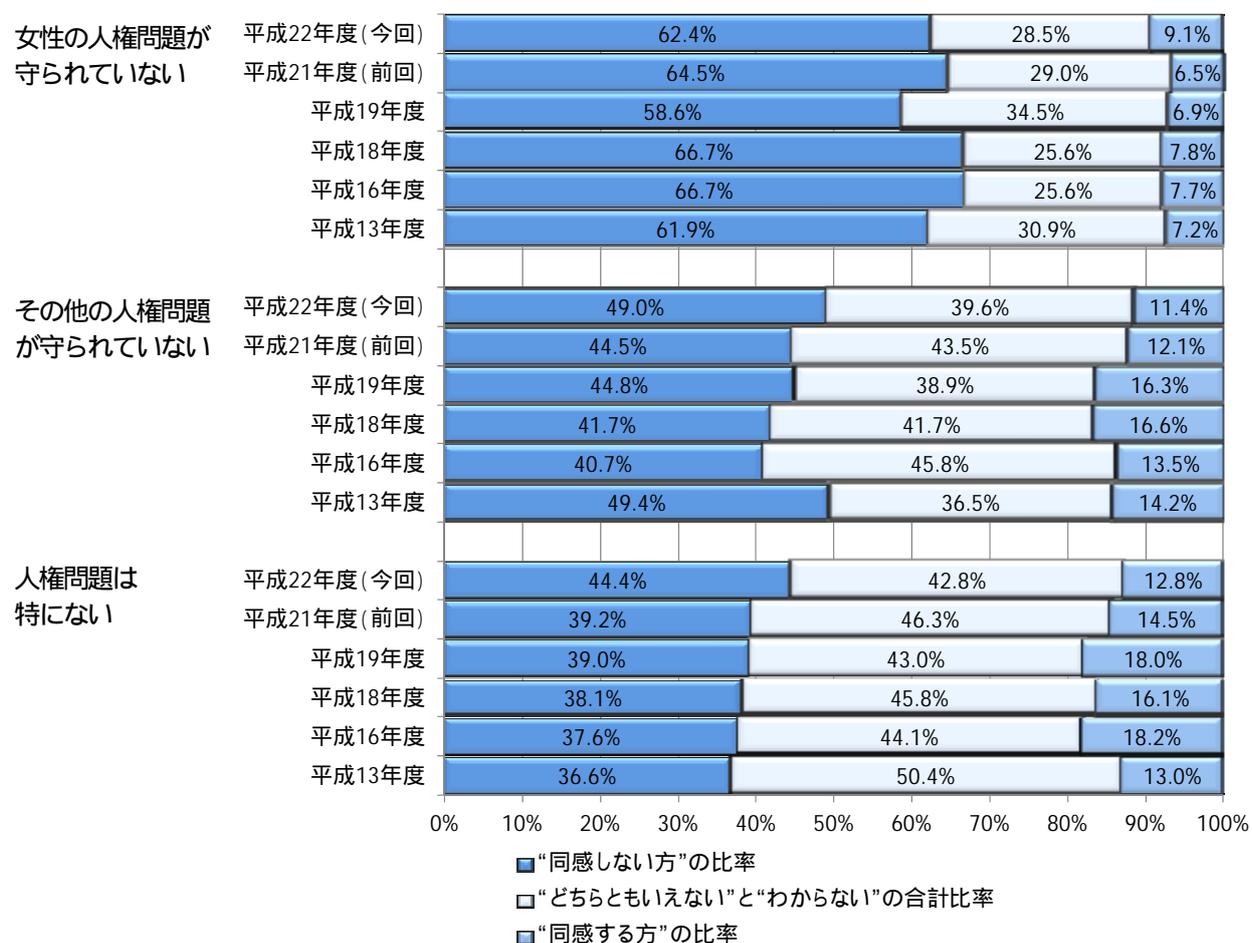
### 【性別による役割×性別】



【性別による役割×年齢】



【性別による役割×人権問題の認識】



## 第1節 連携型地域社会の形成

### 第3項 市民と行政のパートナーシップの強化

目的：市民主体の地域づくりが活発になる  
指標：地域活動に参加している人の割合

#### (1) 目的

市民と行政のパートナーシップを強化していくためには、市民一人ひとりが社会に貢献しようという意識を持ち、自らに合った活動の場を見つけ出すことにより、市民による主体的な地域づくりが活発になることが重要であると考えます。

#### (2) 指標

市民が、企業、NPO法人、ボランティア団体、町会、自治会などの一員として社会に貢献するという意志をもち、積極的に地域活動に参加することにより、市民主体の地域づくりが活発になることを目指します。

#### (3) 設問

この指標は、次の設問により地域を限定すると共に、積極性を加味し、直接的に聞いています。「社会・行動」

Q7 あなたは、市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、日頃積極的に参加していますか。次の中で、参加しているものをお答え下さい。(あてはまるもの全てに )

1 町会・自治会	6 企業による奉仕活動
2 ボランティア団体	7 有志・仲間との奉仕活動
3 PTA	8 その他( )
4 NPO法人(特定非営利活動法人)	9 積極的に参加しているものはない
5 子ども会育成会	

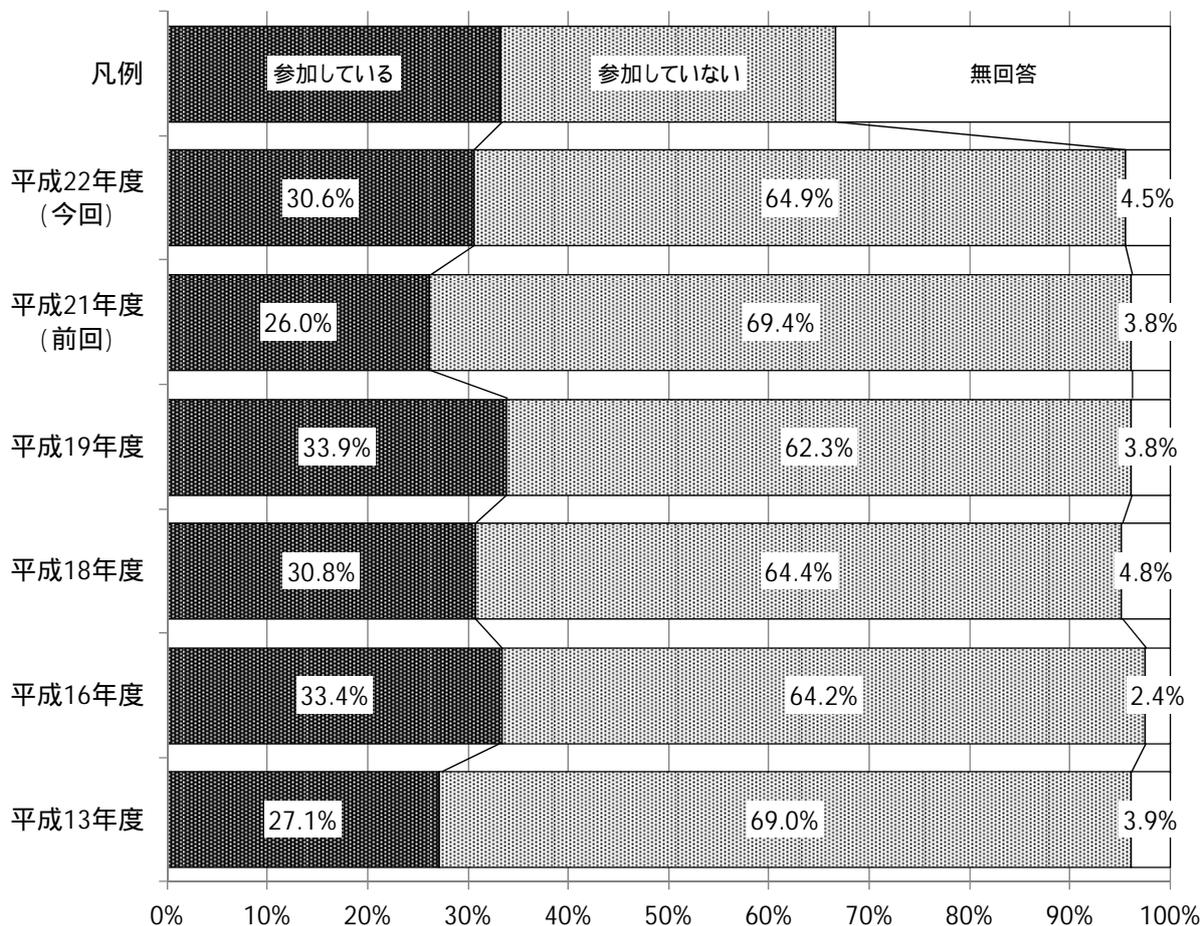
#### (4) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
参加している	27.1%	33.4%	30.8%	33.9%	26.0%	30.6%

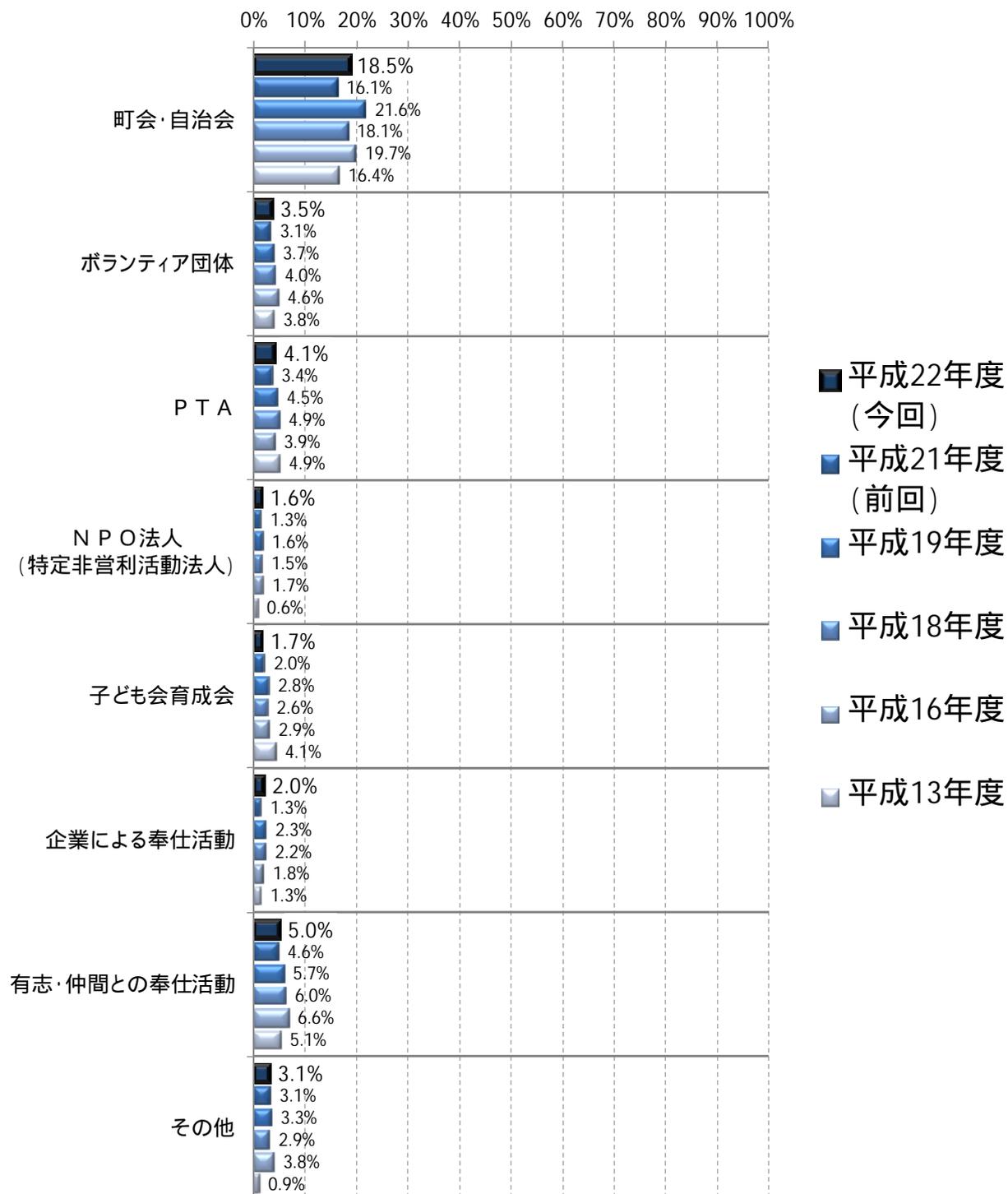
## (5) 指標の分析

地域活動への参加者は僅かに増えているものの、6割以上は「参加していない」としています。

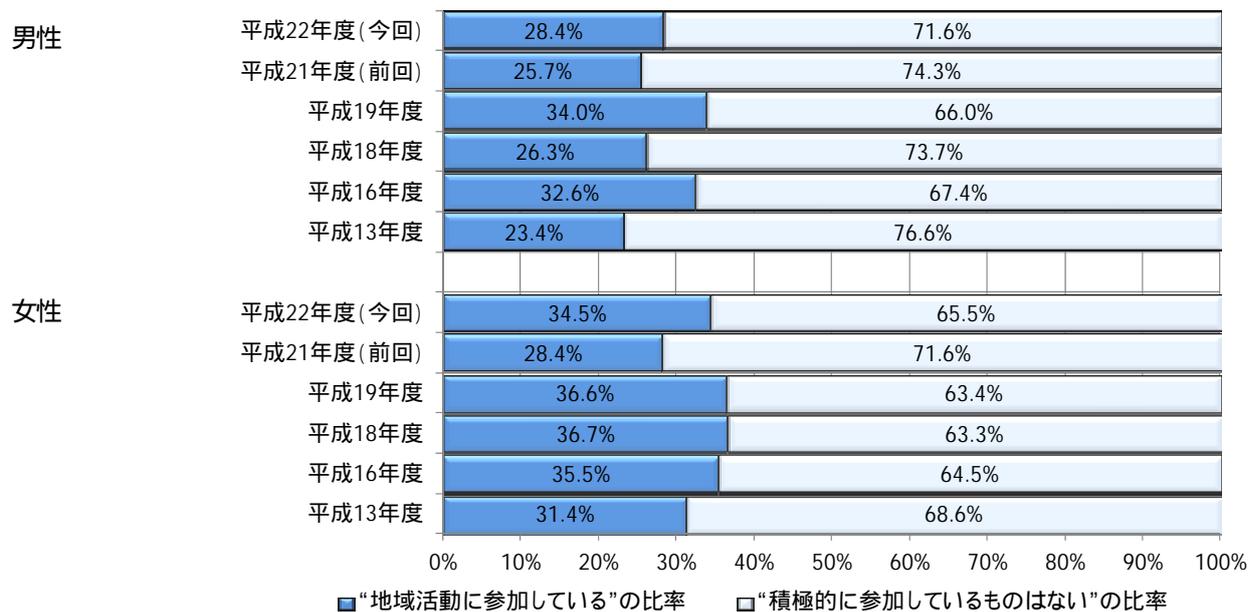
市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、日頃積極的に“参加している”という回答は30.6%と前回調査に比べると回答の割合が高くなっています。しかし、全体では“参加していない”という回答が6割以上を占め、参加経験者を大きく上回っています。



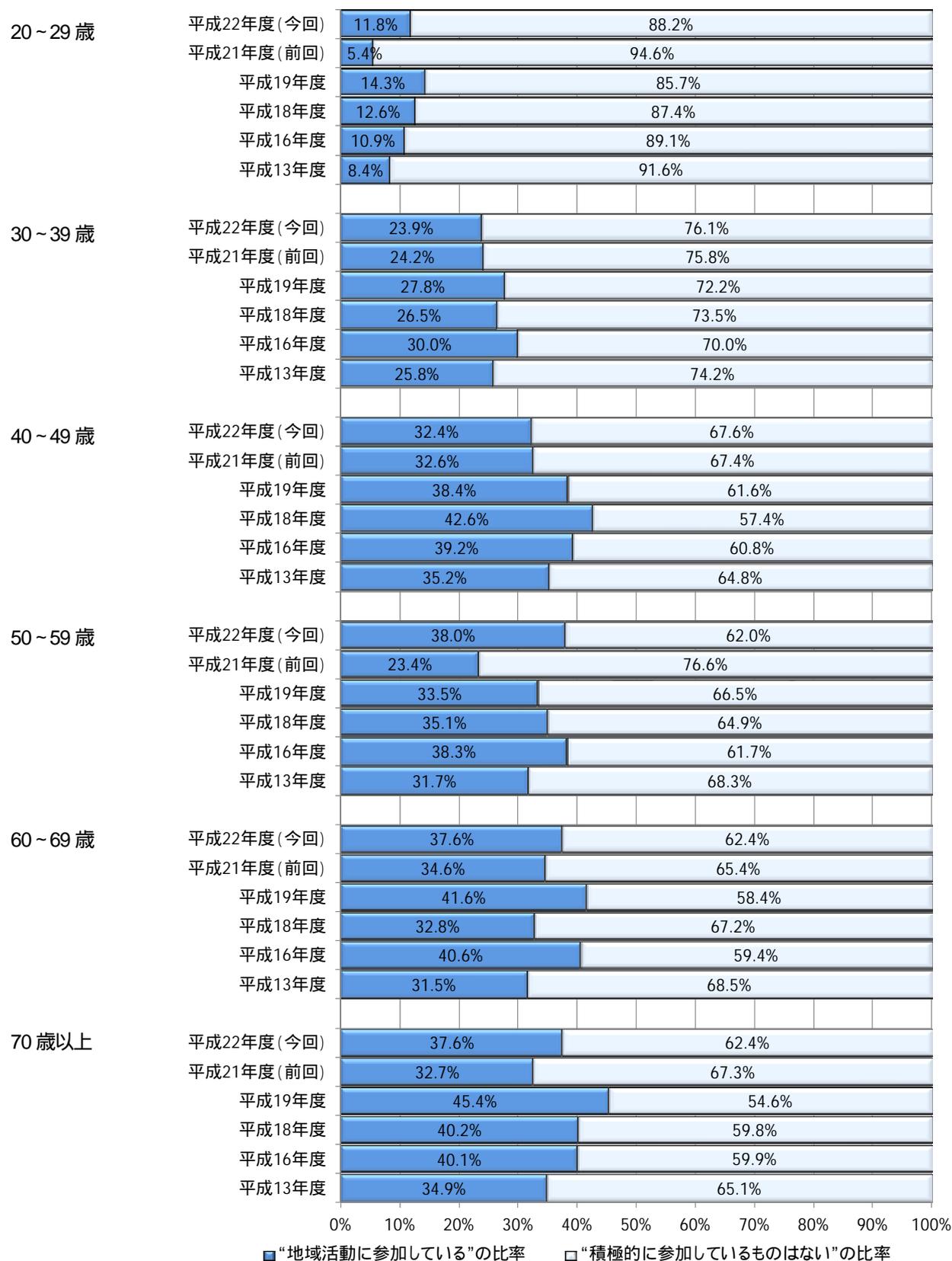
参加している活動としては、“町会・自治会”が 18.5%と多く、いずれの活動も前回調査に比べるとわずかながら回答の割合が増えています。



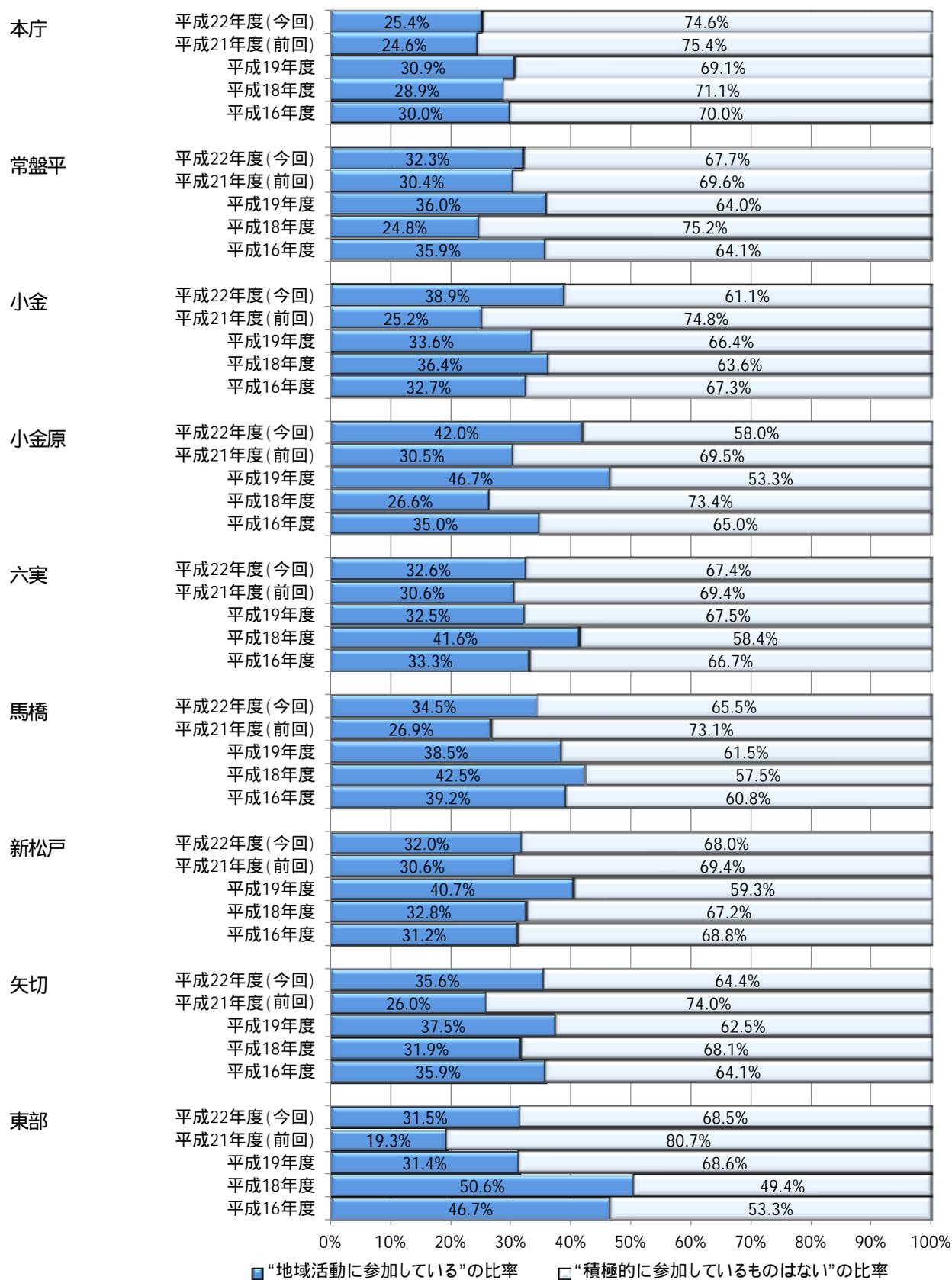
【地域活動×性別】



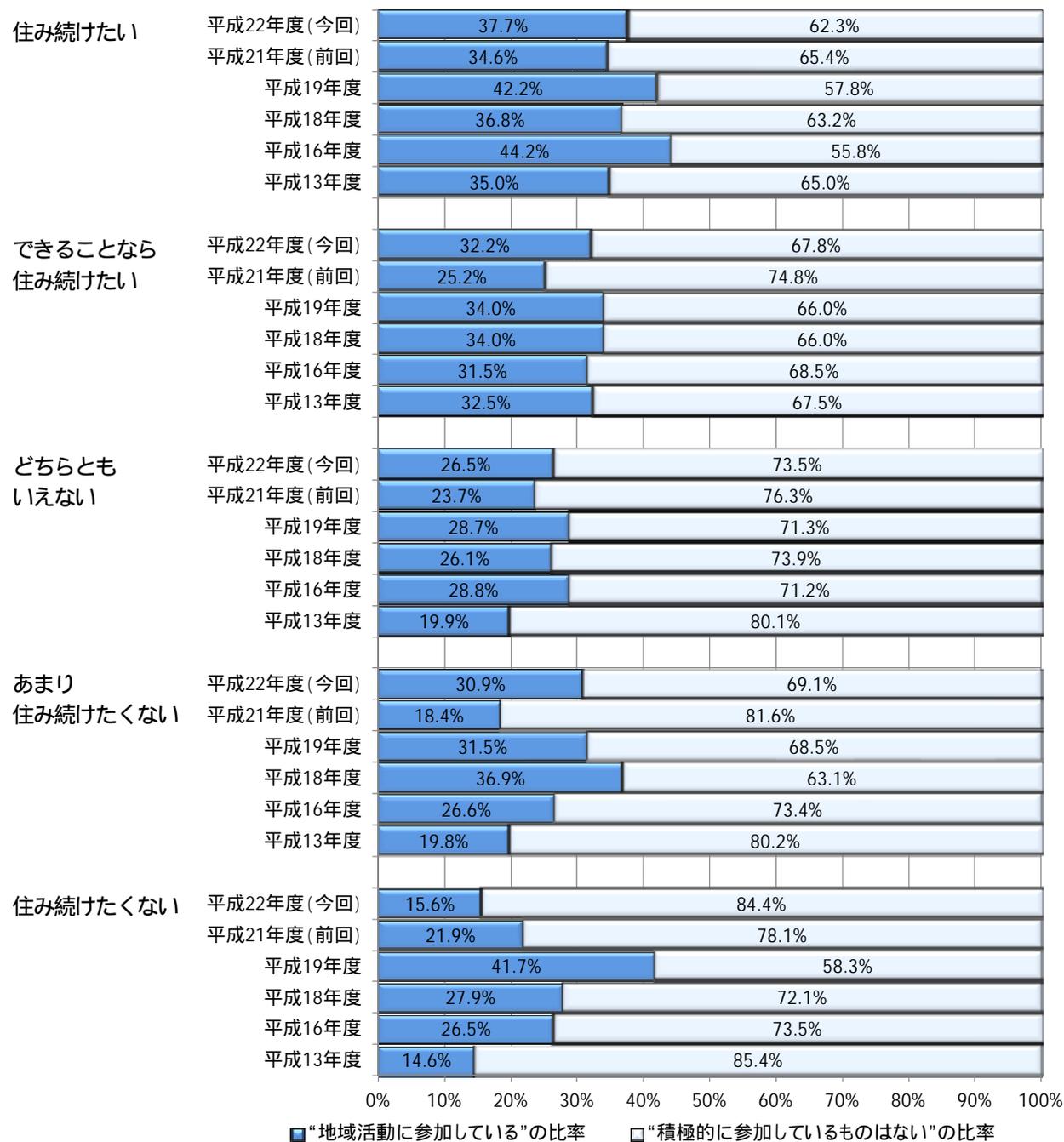
【地域活動×年齢】



【地域活動×地区】



【地域活動×定住意向】



## 第1節 連携型地域社会の形成

### 第5項 IT社会の実現

目的：IT技術が活用される地域社会になる  
指標：インターネットを利用している人の割合

#### (1) 目的

情報化の進展により、情報が生活に欠かせない社会インフラとなる現在、誰もが皆情報通信技術の恩恵を受けられるようにする必要があります。インターネットに代表されるIT技術が活用できるようになることで、時間と空間にとらわれることなく生活に必要な情報を即時に簡単に送受信することで、様々なコミュニケーションができる社会に対応できるようにすることが重要と考えます。

#### (2) 指標

インターネットを利用できる環境にある人は、その双方向性を活かして、活発に外部とのコミュニケーションを図ることにより、社会における活動範囲が拡大するとともに、生活の質の改善にもつながっていくと考えられます。そこでインターネットを利用している人の割合を知ることでITインフラの整備拡充に伴いIT技術を活用、享受できている人の増を目指します。

#### (3) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q10 あなたは、ご自身でインターネット（携帯電話やスマートフォンによるネット利用を含む）を利用しますか。（1つに...）

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 毎日のように利用している | 4 ほとんど利用していない |
| 2 時々利用している     | 5 全く利用していない   |
| 3 たまに利用している    |               |

併せて、付問(前問で1～3を選択した人のみ)により活用内容と利用媒体についても聞いている。

SQ1 あなたは、インターネットをどのようなことに活用していますか。（あてはまるもの全てに...）

- |  |
|--|
| 1 電子メールの送信によく利用している                                    |
| 2 メールマガジンやニュースなどのメール情報をよく受信している                        |
| 3 いろいろなホームページを開いて情報を入手している                             |
| 4 チケット予約やショッピング、オークション参加、株売買など買い物や取引<br>きをしている         |
| 5 自分自身でホームページやブログ（フェイスブックやツイッター含む）などを利用し、情<br>報を発信している |
| 6 その他（...）   |

SQ2 あなたのインターネット利用は、次の中のどれにあてはまりますか。（1つに...）

- |                                       |                                       |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 パソコンからのみ利用している                      | 4 携帯電話・スマートフォンが主で、補助<br>的にパソコンを利用している |
| 2 パソコンが主で、補助的に携帯電話・ス<br>マートフォンを利用している | 5 携帯電話・スマートフォンからのみ利用<br>している          |
| 3 パソコン、携帯電話・スマートフォンの<br>利用がほぼ半々である    | 6 その他（...）                            |

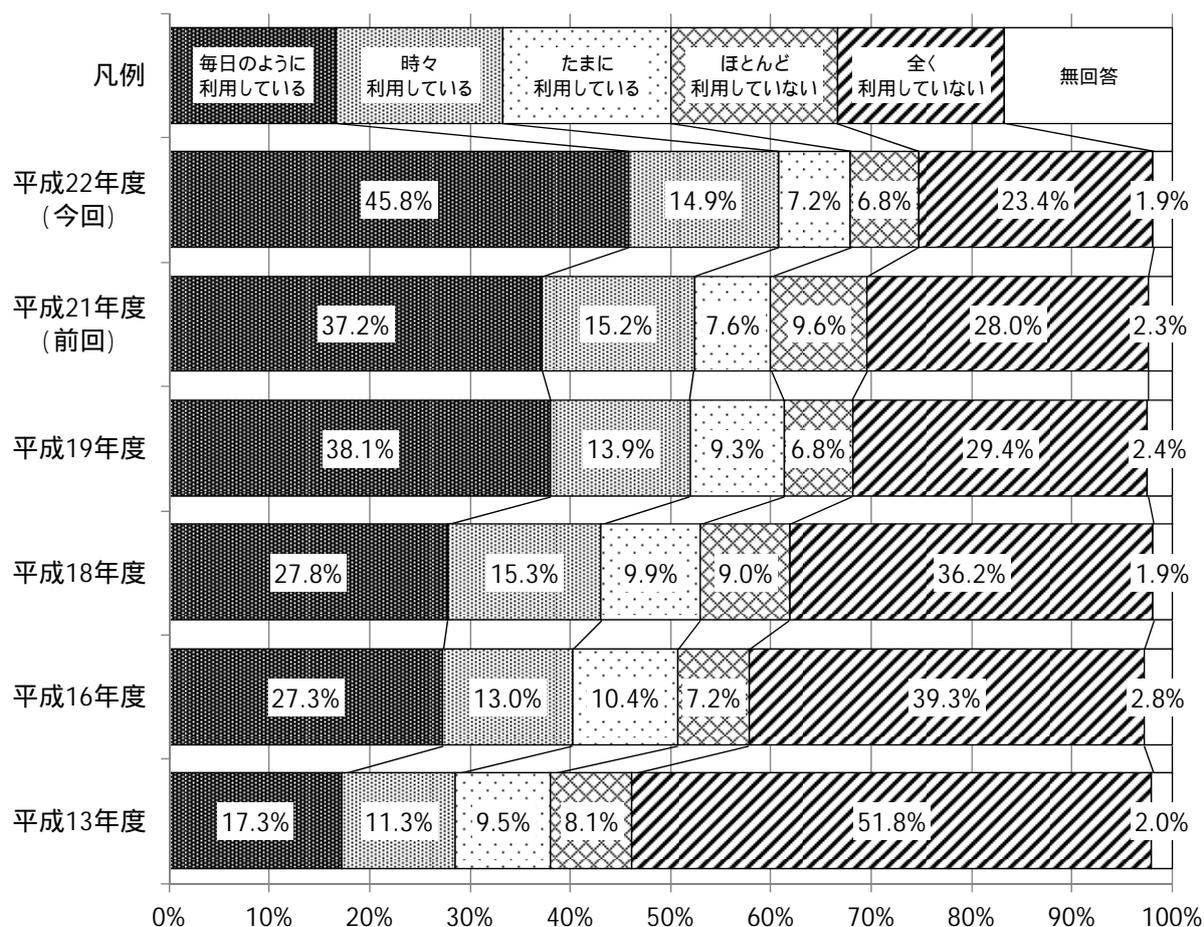
#### (4) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
毎日のように利用している	17.3%	27.3%	27.8%	38.1%	37.2%	<b>45.8%</b>
時々利用している	11.3%	13.0%	15.3%	13.9%	15.2%	<b>14.9%</b>
たまに利用している	9.5%	10.4%	9.9%	9.3%	7.6%	<b>7.2%</b>
計	38.1%	50.7%	53.0%	61.3%	60.0%	<b>68.0%</b>

#### (5) 指標の分析

インターネット利用者は7割近くを占め、“毎日のように利用している”という利用頻度の高い人も増加しています。

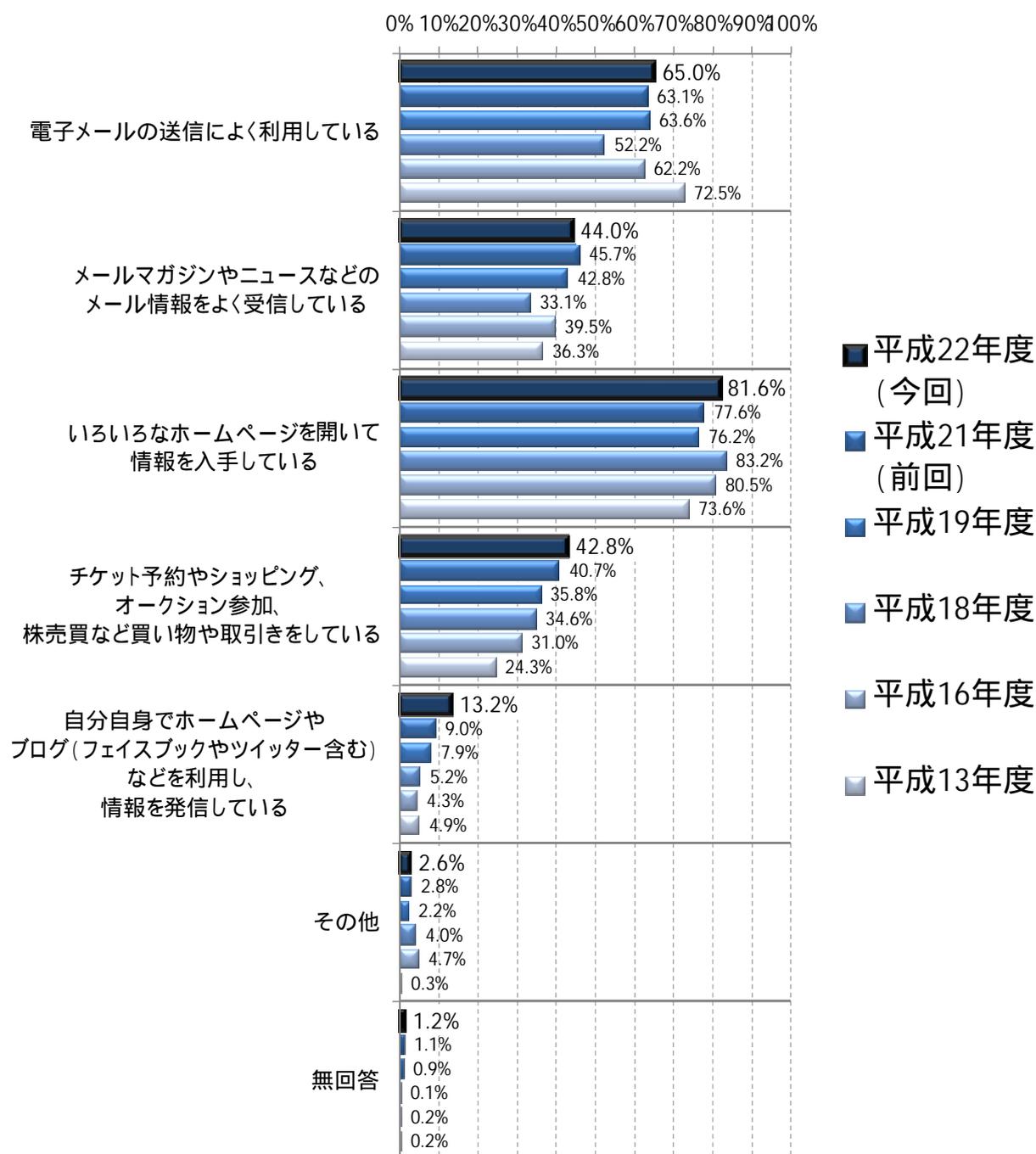
インターネットの利用状況を見ると、“毎日のように利用している”との回答が45.8%で最も多く、前回調査と比べても回答の割合が増加しています。“時々利用している”(14.9%)、“たまに利用している”(7.2%)とあわせると、68.0%と7割近くがインターネットを利用しているとしています。



インターネット利用者の利用目的は“いろいろなホームページを開いて情報を入手している”(81.6%)が最も多く、ついで“電子メールの送信によく利用している”(65.0%)となっています。

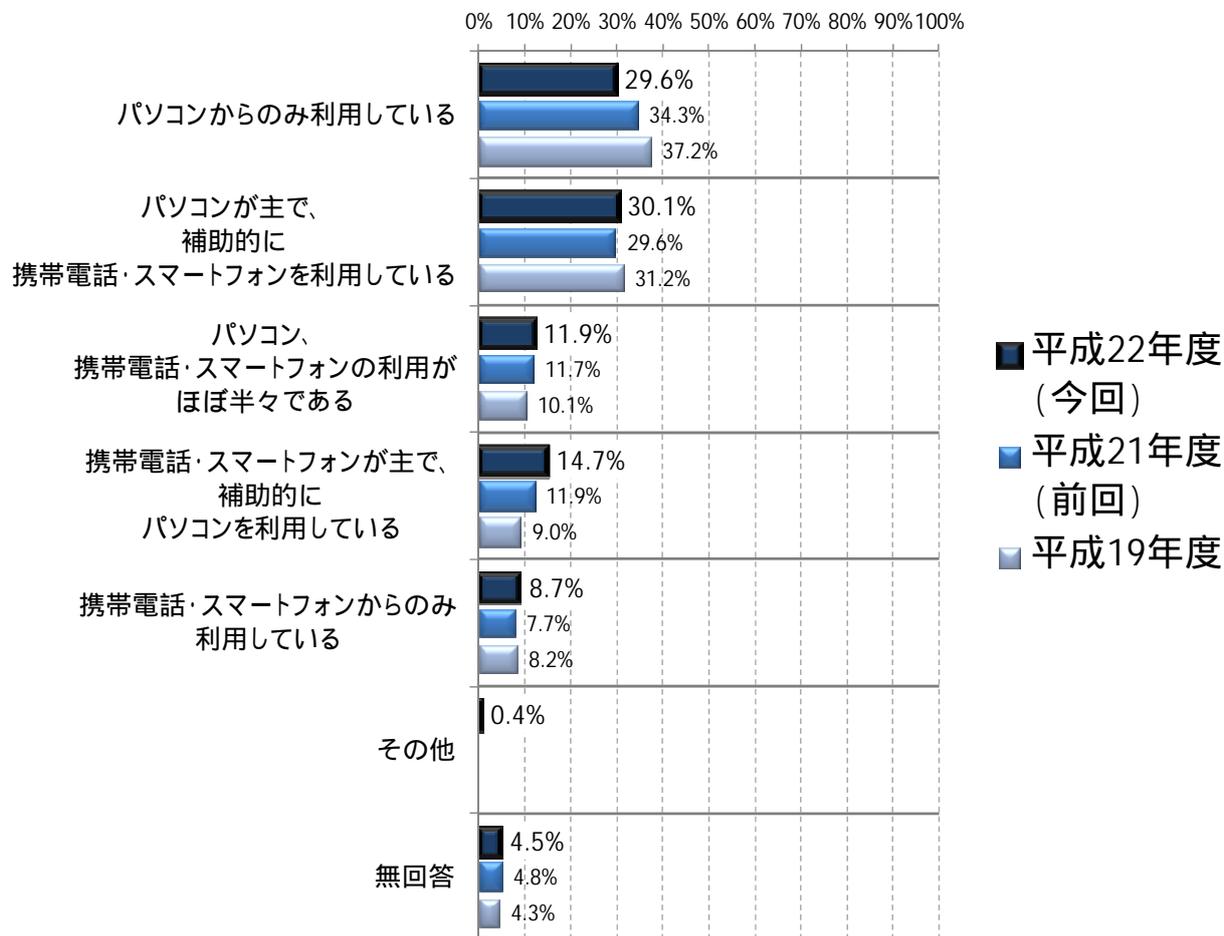
“自分自身でホームページやブログ(フェイスブックやツイッター含む)などを利用し、情報を発信している”(13.2%)への回答はまだ1割程度となっていますが、自身で情報発信を行う人は増加傾向にあります。

また、“チケット予約やショッピング、オークション参加、株売買など買い物や取引きをしている”(42.8%)への回答も年々増加しており、ネットショッピングが買い物の主要な手段の一つになっている状況が伺えます。

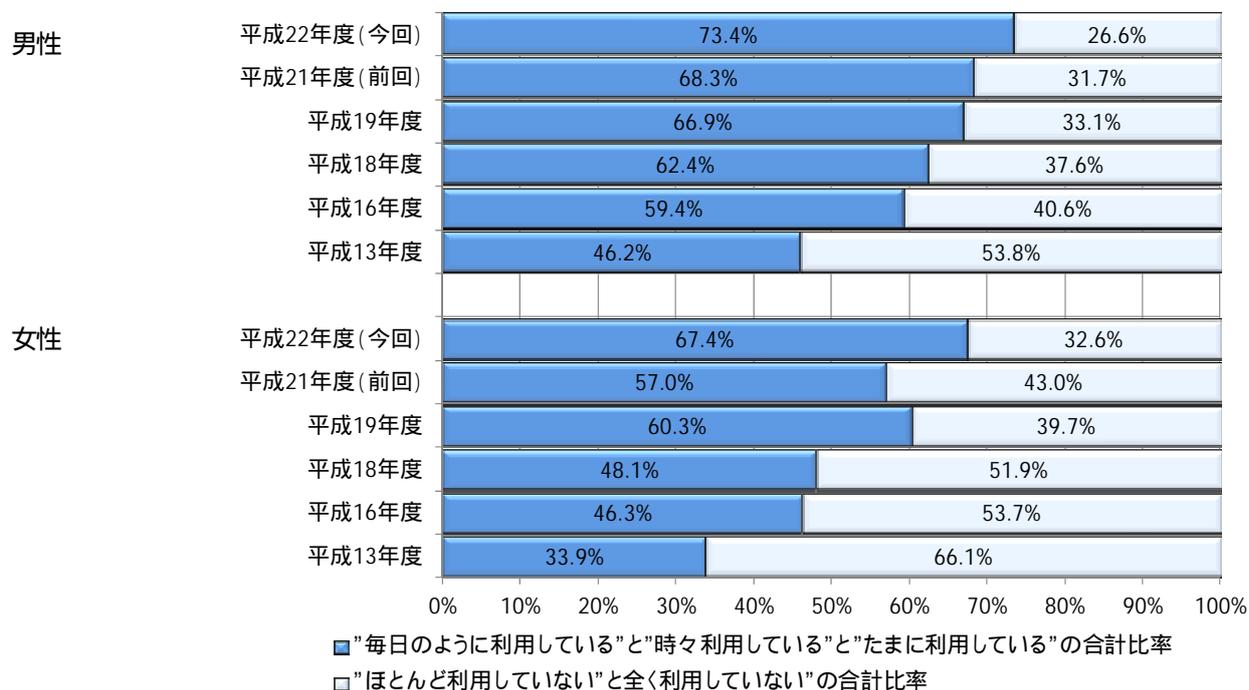


インターネット利用者のネットにアクセスする主な媒体についてみると、“パソコンからのみ利用している” (29.6%)、“パソコンが主で、補助的に携帯電話・スマートフォンを利用している” (30.1%)への回答が多く、パソコンが主に利用されているものと思われます。

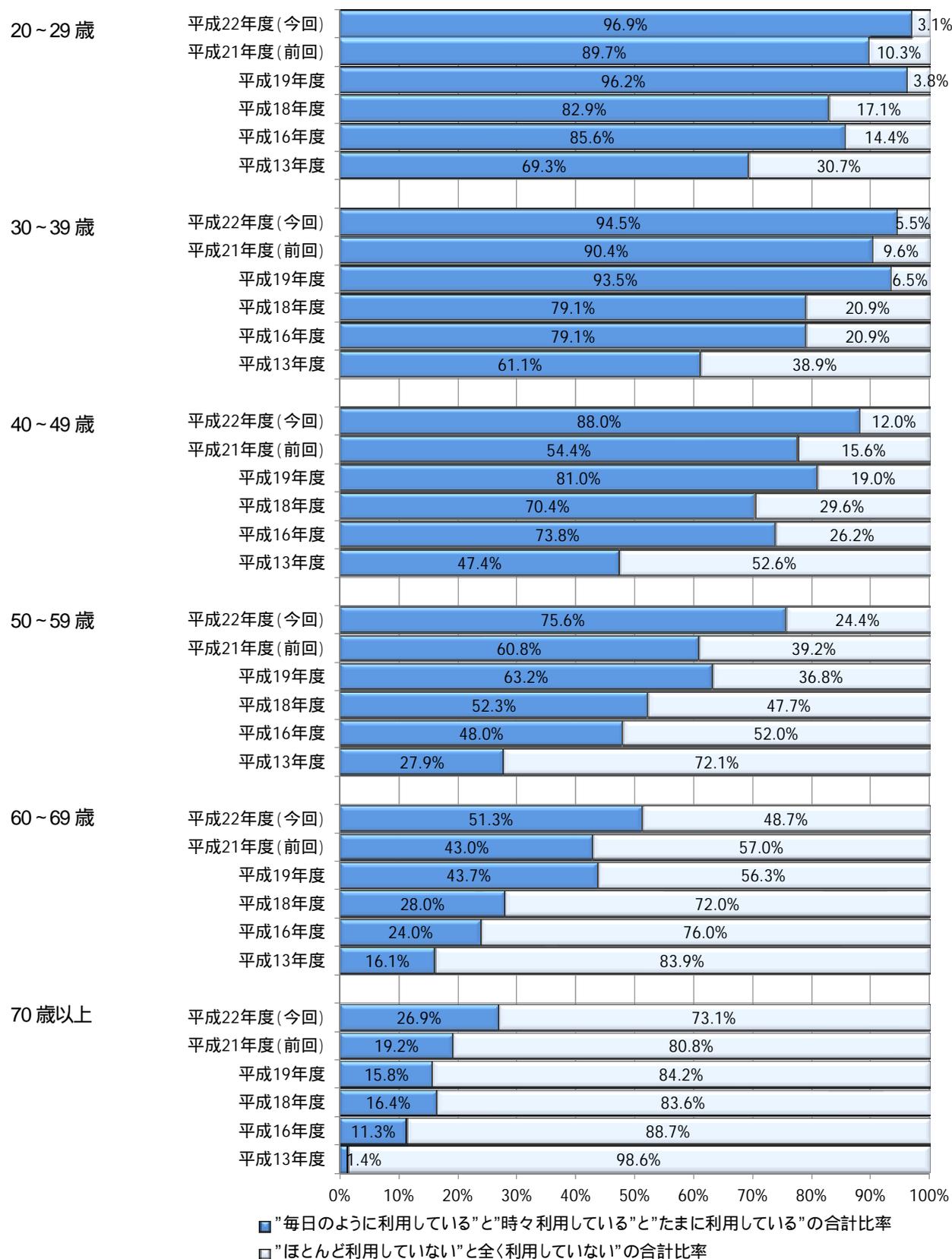
一方で、回答の割合は低いものの“携帯電話・スマートフォンからのみ利用している” (8.7%)、“携帯電話・スマートフォンが主で、補助的にパソコンを利用している” (14.7%)への回答も年々増加しています。



【インターネット利用×性別】



## 【インターネット利用×年齢】



## 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第1項 多様な生きがい感のある環境づくり

目的：生涯を通して、自分に合った社会参加ができ、生きがい感をもてるようになる

指標：生きがい感をもっている人の割合

#### (1) 目的

生涯を通して、心豊かに生活するためには、社会(家庭を含む)の中で自分の居場所が認知され、自分の希望や自分にあった活動ができることが重要であると考えます。

#### (2) 指標

生涯にわたり、その意欲や能力に応じて地域活動や就労等の社会参加の機会をもち、年齢や身体状況に係わりなく、いつでも心のはりや生きがいを持ち続ける人を増やすことを目指します。

#### (3) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・態度(認知)」

Q4 あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか。(1つに )

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1 大変感じている  | 3 ある程度感じている | 5 ほとんど感じていない |
| 2 かなり感じている | 4 あまり感じていない |              |

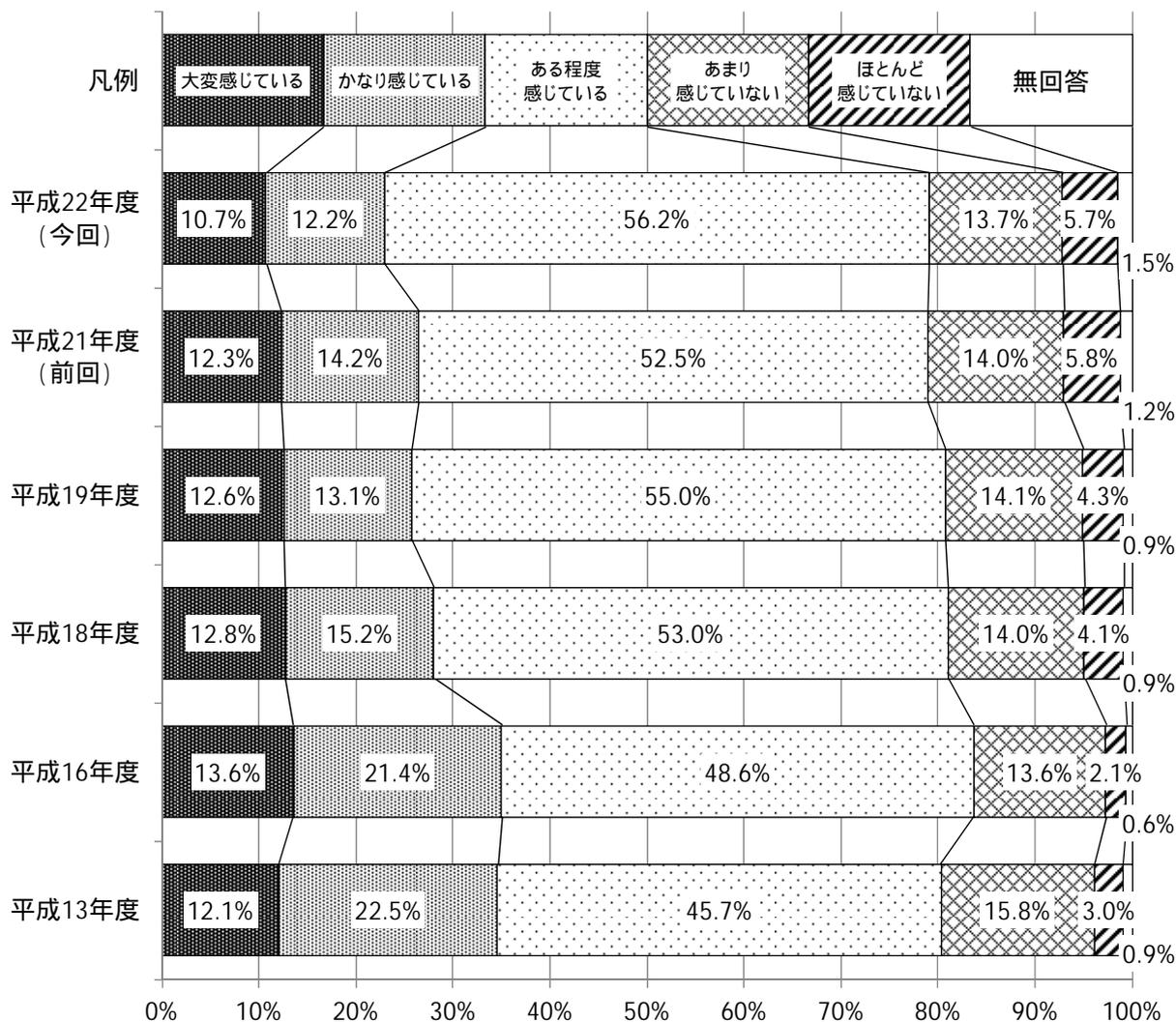
#### (4) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
大変感じている	12.1%	13.6%	12.8%	12.6%	12.3%	10.7%
かなり感じている	22.5%	21.4%	15.2%	13.1%	14.2%	12.2%
ある程度感じている	45.7%	48.6%	53.0%	55.0%	52.5%	56.2%
計	80.3%	83.6%	81.0%	80.7%	79.0%	79.1%

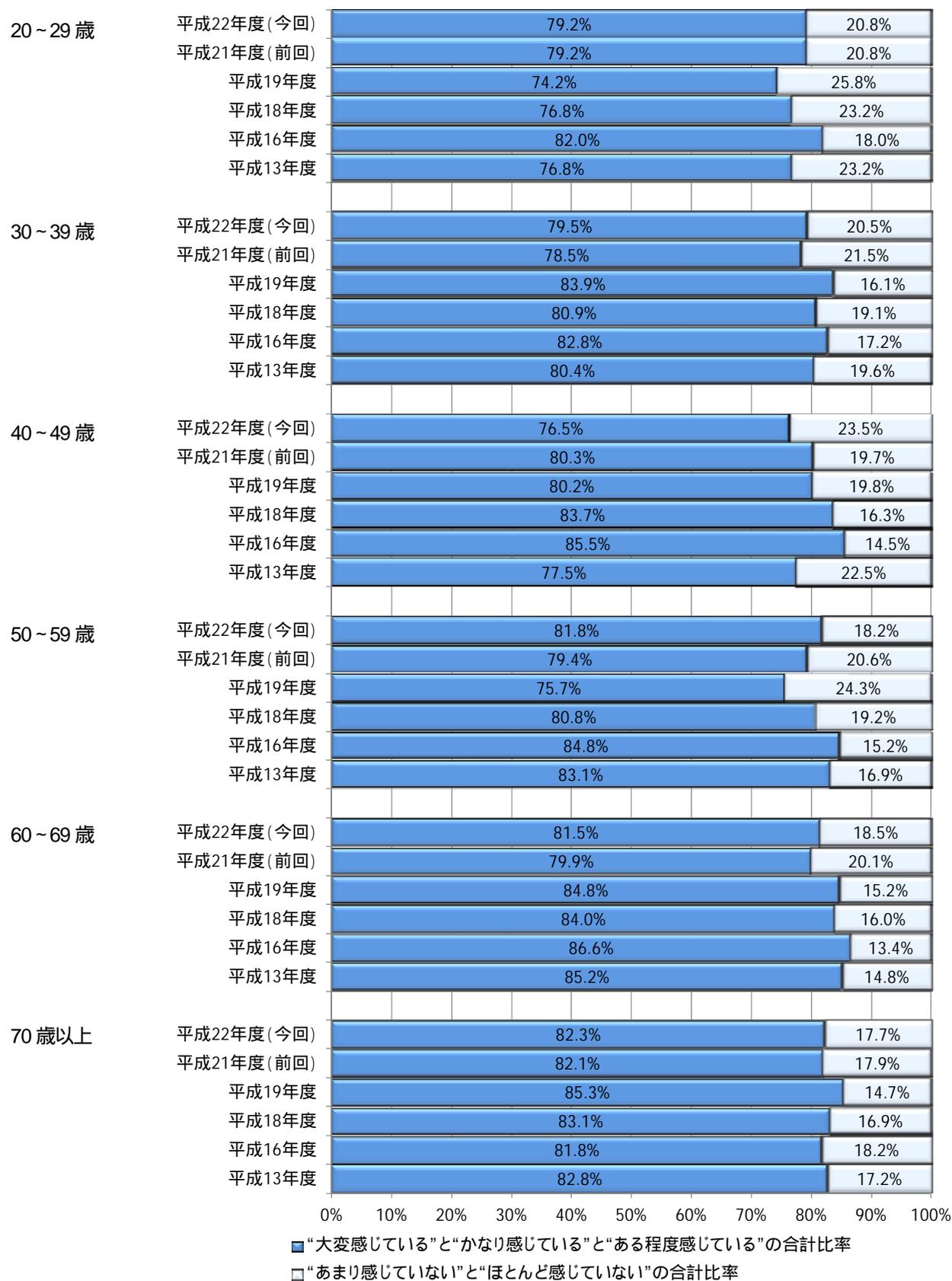
### (5) 指標の分析

何らかの生きがいを感じている人は約8割と前回とほぼ同様となっています。

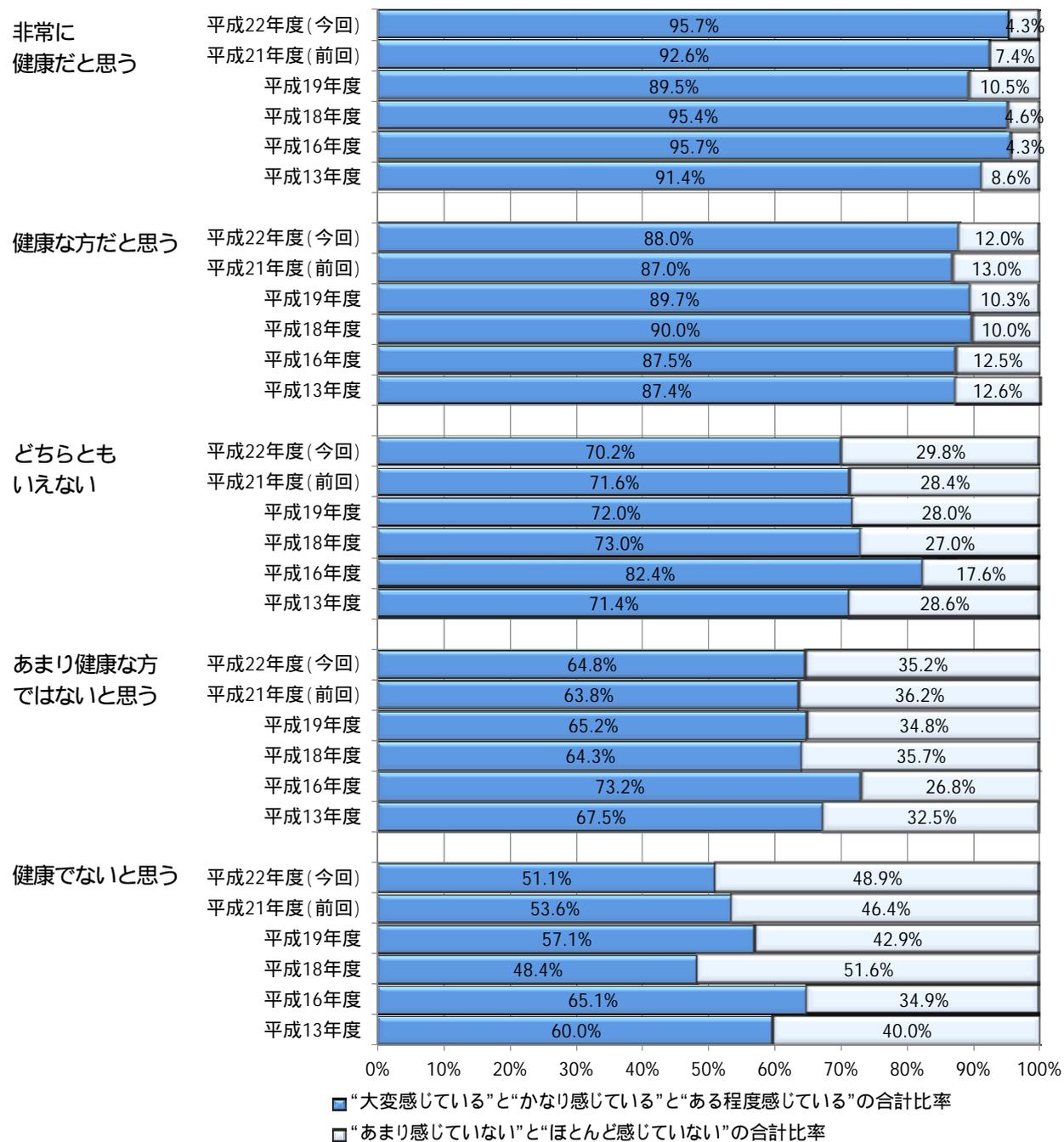
日頃の生活の中で生きがいを感じているかどうかについてみると、“大変感じている”、“かなり感じている”、“ある程度感じている”をあわせた生きがいを感じている人の割合は79.1%と8割近くを占めています。



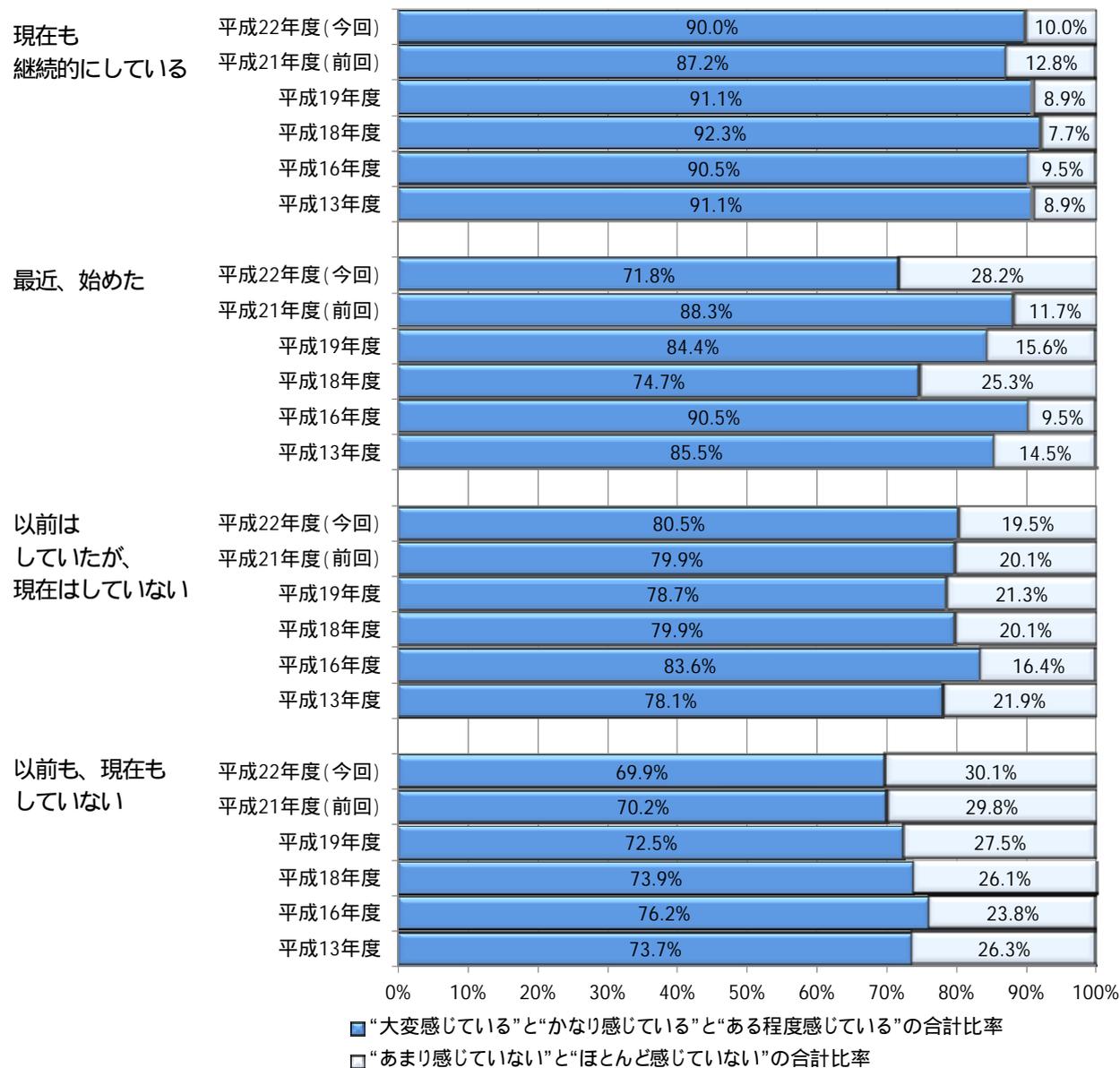
【生きがい感×年齢】



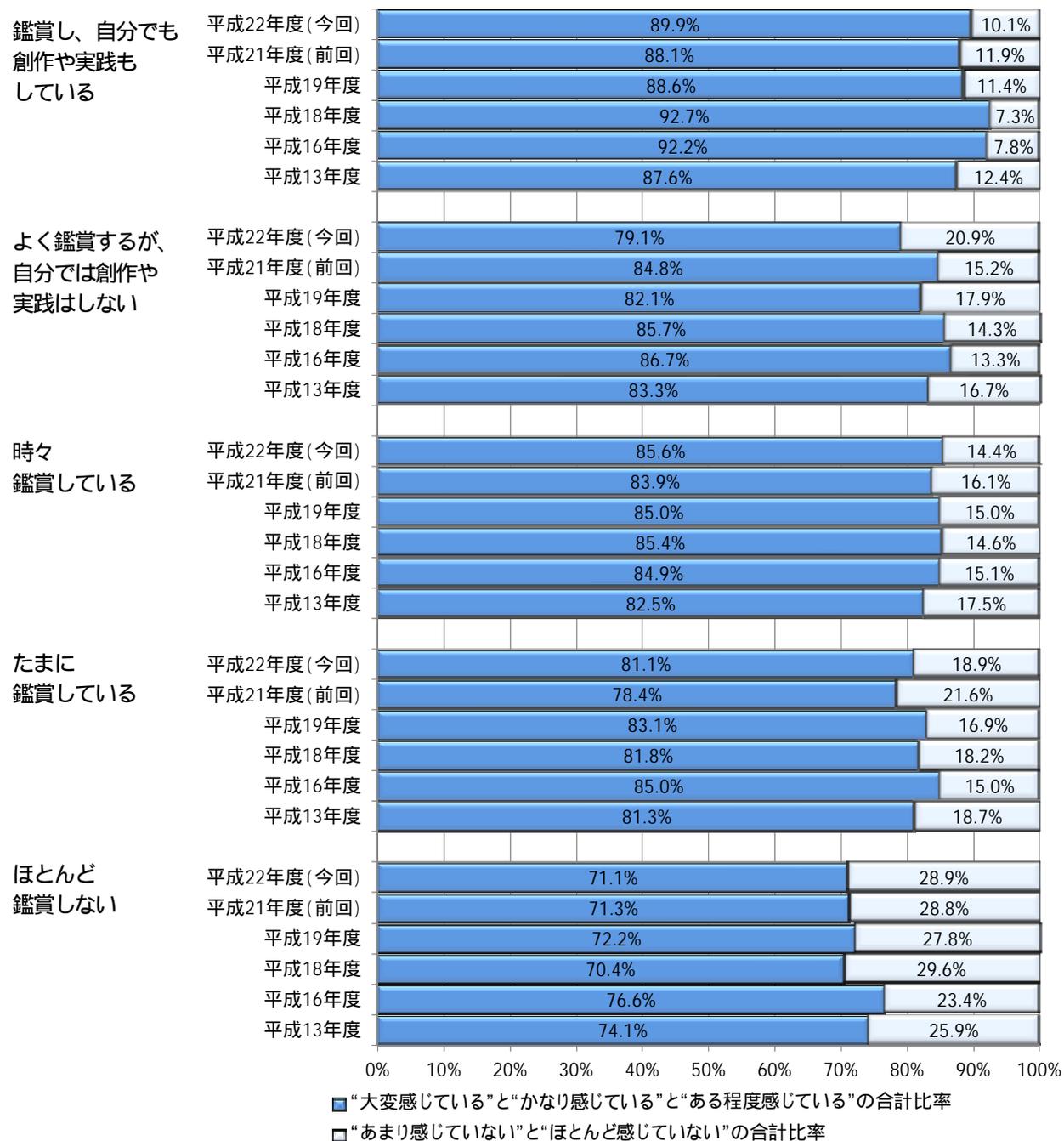
【生きがい感×本人の健康感】



### 【生きがい感×スポーツの実施状況】



### 【生きがい感×芸術文化の実施状況】



## 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第2項 健康の維持・増進

目的：生涯を通して、健康に良いと思う行動や身近な人の健康に配慮ができ、病気や障害をもつことになっても、自分に合った健康生活が送れるようになる

指標：本人が健康であると思う人の割合

#### (1) 目的

すべての人が生涯を通してその持てる能力を発揮するために、健康はその前提となる重要なものです。自分の健康は自分で守り、つくり、身近な人の健康に配慮をすることが必要であり、本人の意思や努力にもかかわらず病気に罹ったり、障害を持たざるを得なくなっても、病気や障害とうまく付き合い、その人の置かれた状況に応じて健康な生活が送れるようにすることが大切です。

#### (2) 指標

健康は、あらゆる社会活動と市民生活の基盤であり、病気や障害を持つことになっても、その人の置かれた状況に応じて健康な生活が送れることが必要となります。そこで、本人が健康であると思う人の割合を増やしていくことを目指します。

#### (3) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・態度(認知)」

Q5 あなたは今、健康だと思いますか。(1つに )

- |             |                  |            |
|-------------|------------------|------------|
| 1 非常に健康だと思う | 3 どちらとも言えない      | 5 健康でないと思う |
| 2 健康な方だと思う  | 4 あまり健康な方ではないと思う |            |

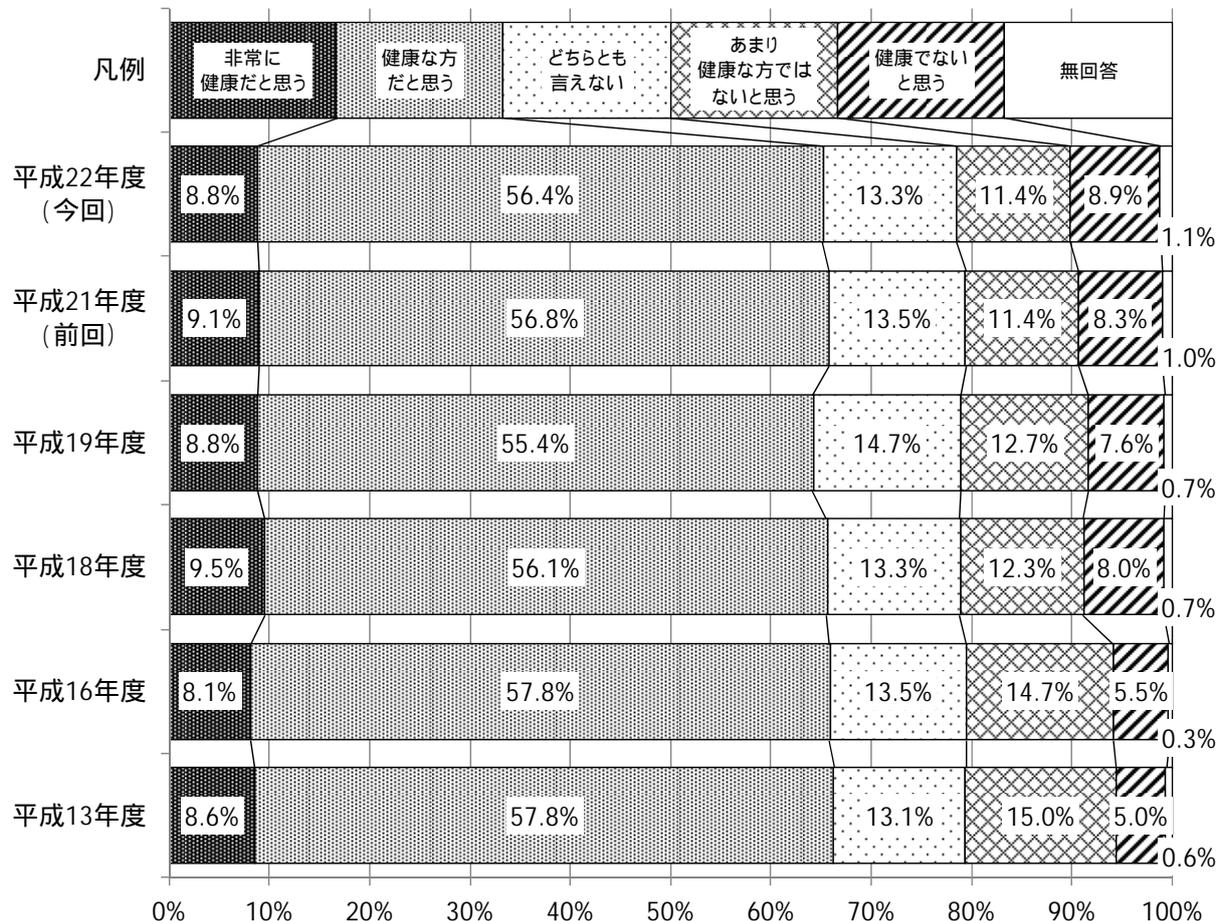
#### (4) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
非常に健康だと思う	8.6%	8.1%	9.5%	8.8%	9.1%	8.8%
健康な方だと思う	57.8%	57.8%	56.1%	55.4%	56.8%	56.4%
計	66.4%	65.9%	65.7%	64.3%	65.9%	65.2%

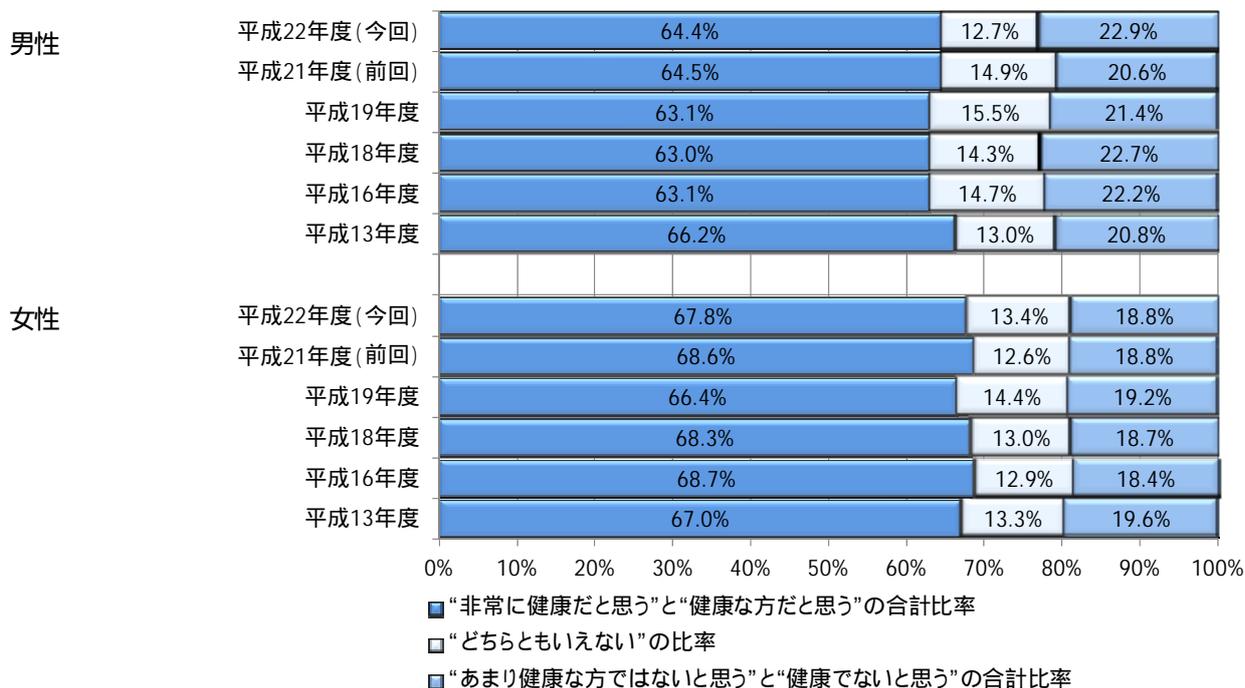
## (5) 指標の分析

自身の健康に対する評価に大きな変化はなく、6割以上が健康としています。

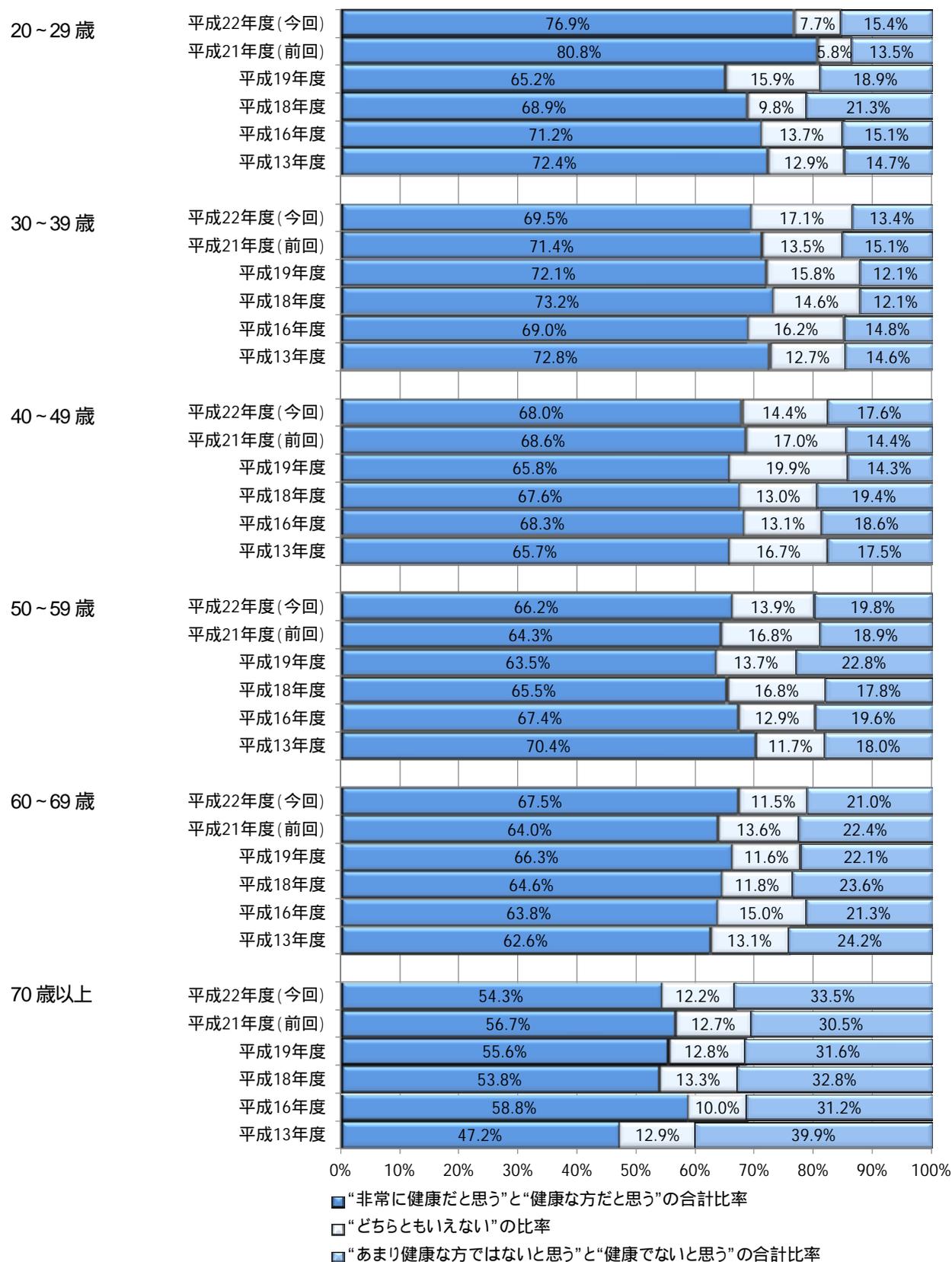
主観的な自身の健康に対する評価をみると、56.4%と半数以上が“健康な方だと思”と回答しており、“非常に健康だと思”とあわせると、65.2%が自分を健康だと考えています。これまでの調査に比べ、自身の健康に対する評価に大きな差はみられません。



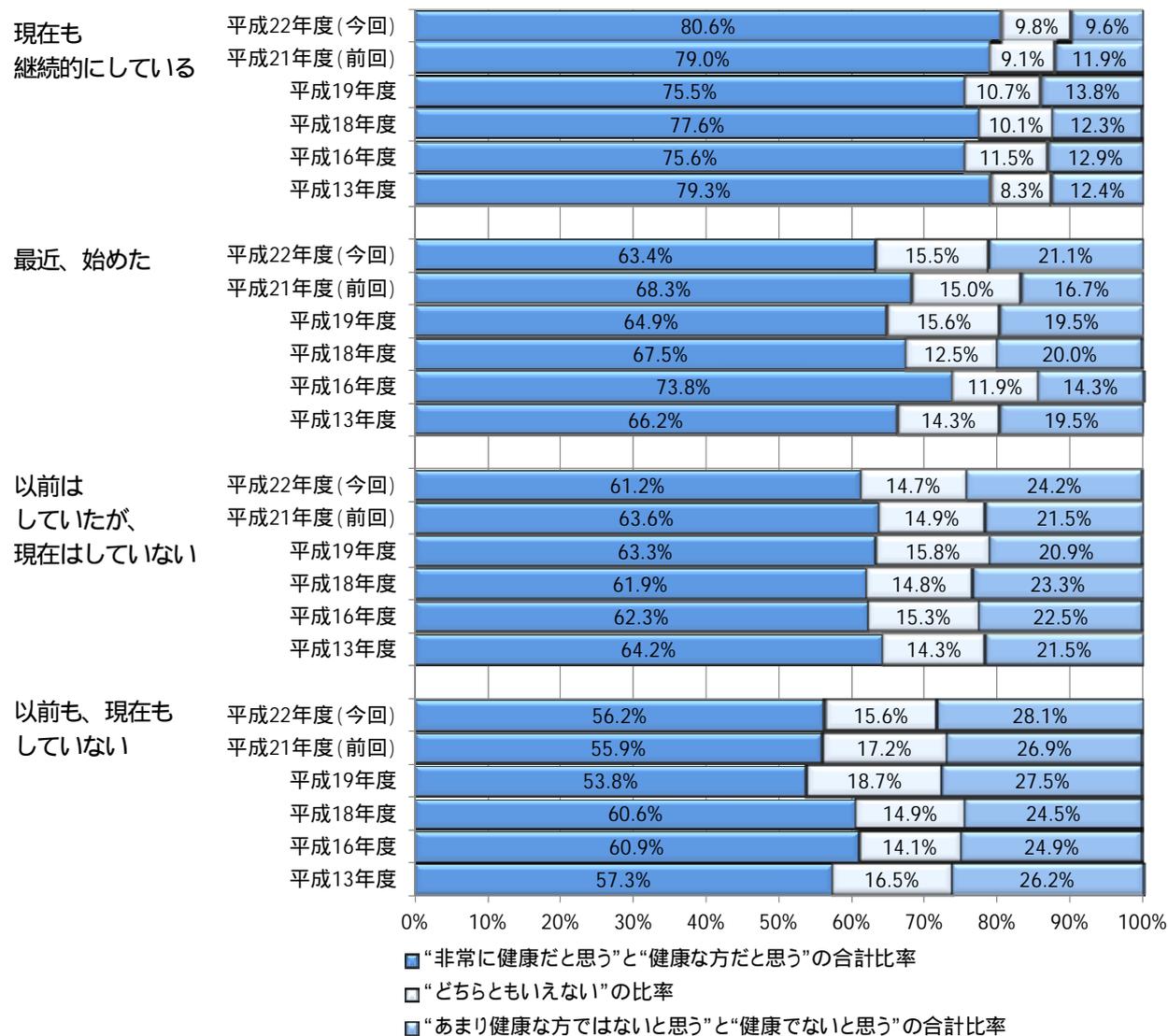
### 【健康感×性別】



【健康感×年齢】



【健康感×スポーツの実施状況】



## 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第3項 日常生活および緊急時の安全・安心性の向上

目的：生涯を通して、必要な時に必要度に応じて十分な医療、介護、保護、支援などのサービスが受けられ、生活する上での安心感がもてるようになる

指標：日常生活（心配事が起きた時を含む）に対するの安心感をもつ人の割合

#### (1) 目的

生涯を通してそれぞれのライフステージの中で、急病、事故による受傷、要援護状態（経済的な自立が困難になった場合を含む）、虐待、家庭内暴力への対応など日常生活におけるさまざまな不安や心配事を解消し、安心感を高めることが重要であると考えます。

#### (2) 指標

ここ数年の社会的・経済的状況による生活保護世帯の増加、万が一のための救急医療体制、高齢化社会の進展による要介護者の増加等、市民を取り巻く社会環境のなかで、日常生活上のセーフティネット（安全網）を確立し、生活する上での安心感の向上を目指します。

#### (3) 設問

この指標は、次の設問により逆説的に聞いています。「個人・態度(認知)」

Q6 あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。次の中から特に気になることをお答え下さい。（あてはまるもの全てに ）

1 自分の健康	8 子どもの将来
2 家族の健康	9 住居や住まい
3 将来自分や家族が必要になったときの介護	10 財産や資産
4 現在の生活や家計	11 人との付き合い
5 将来の生活や家計	12 生きがい
6 仕事	13 その他（ ）
7 出産や子育て	14 特にない

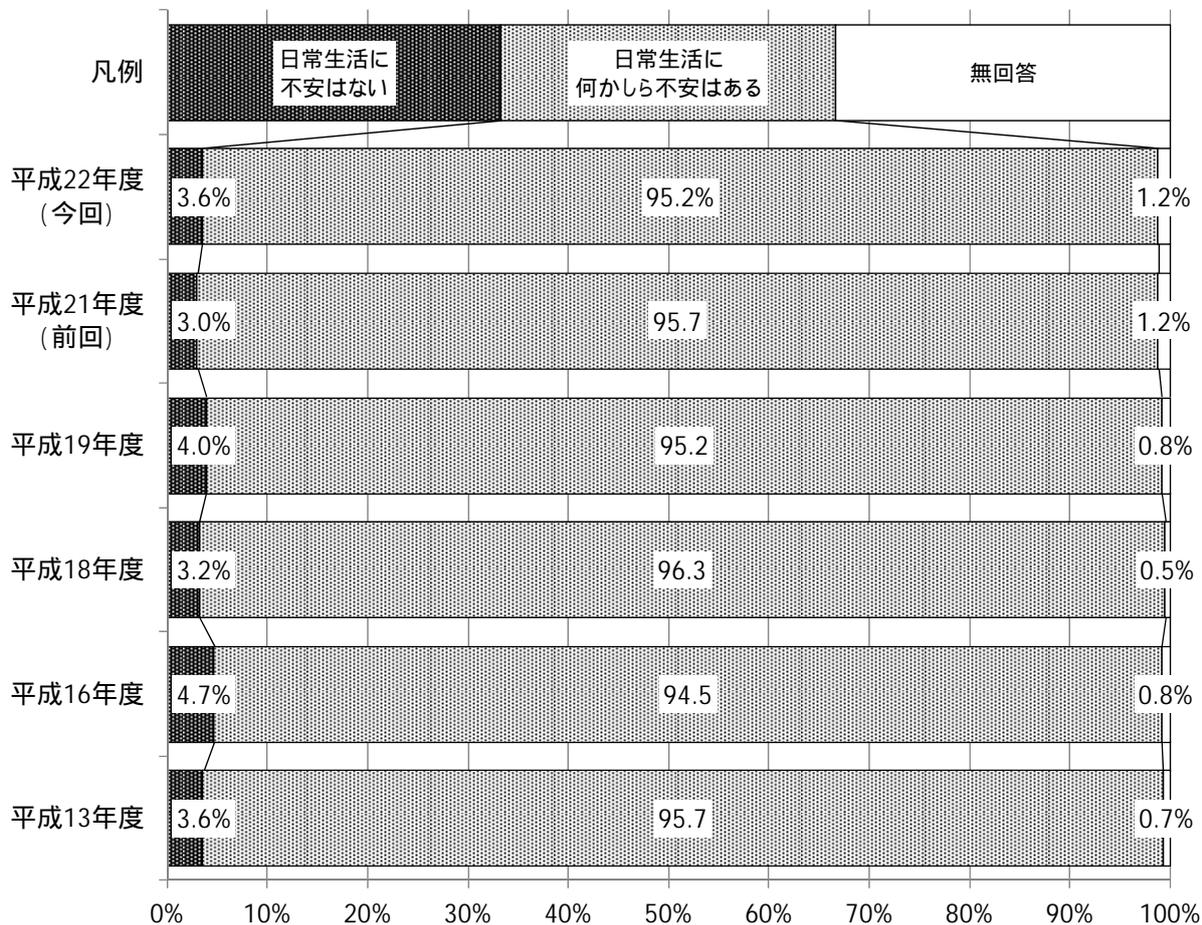
#### (4) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
特にない	3.6%	4.7%	3.2%	4.0%	3.0%	<b>3.6%</b>

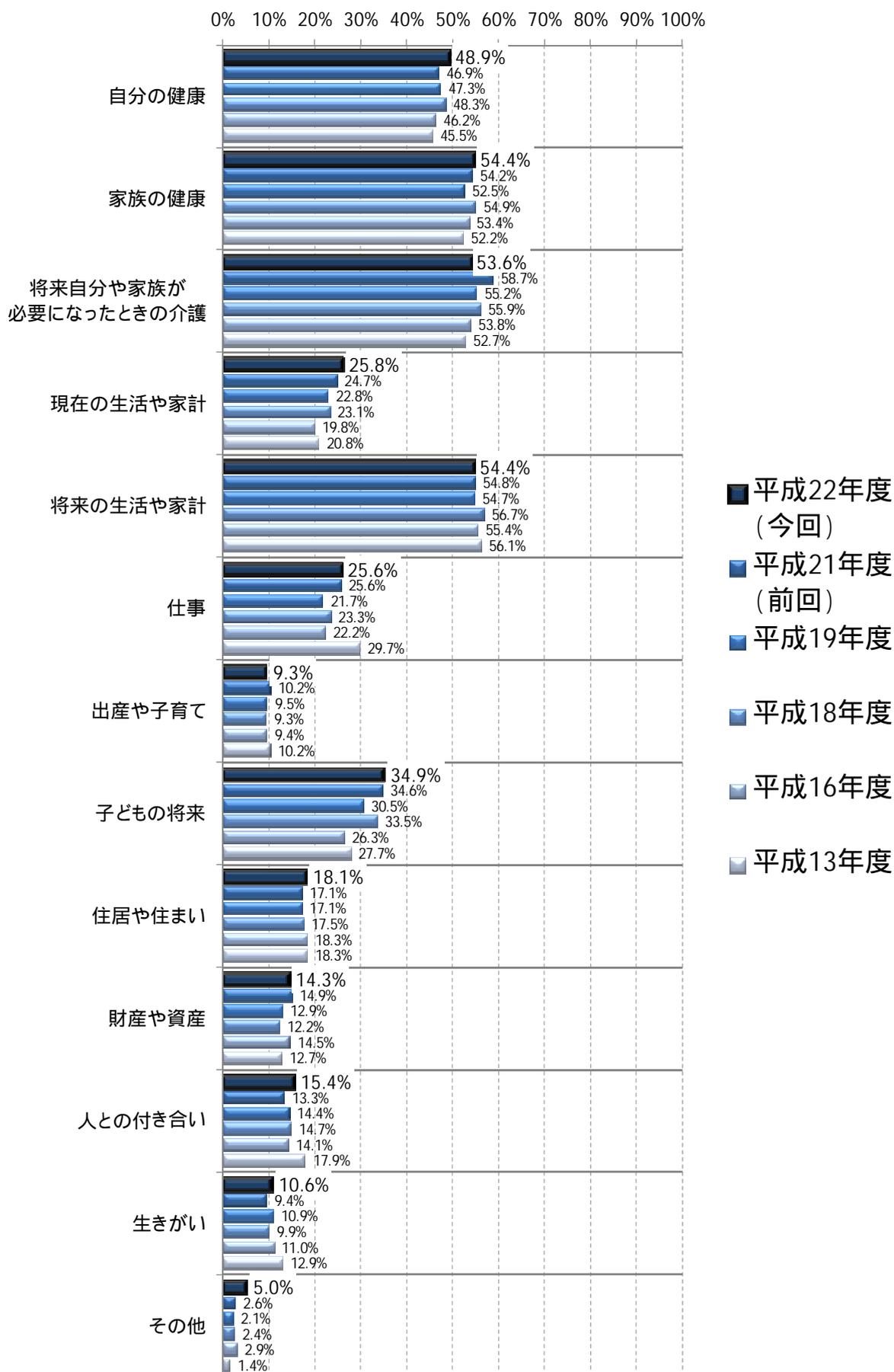
## (5) 指標の分析

### 日常生活に不安はないとする人が、前回から僅かに増加

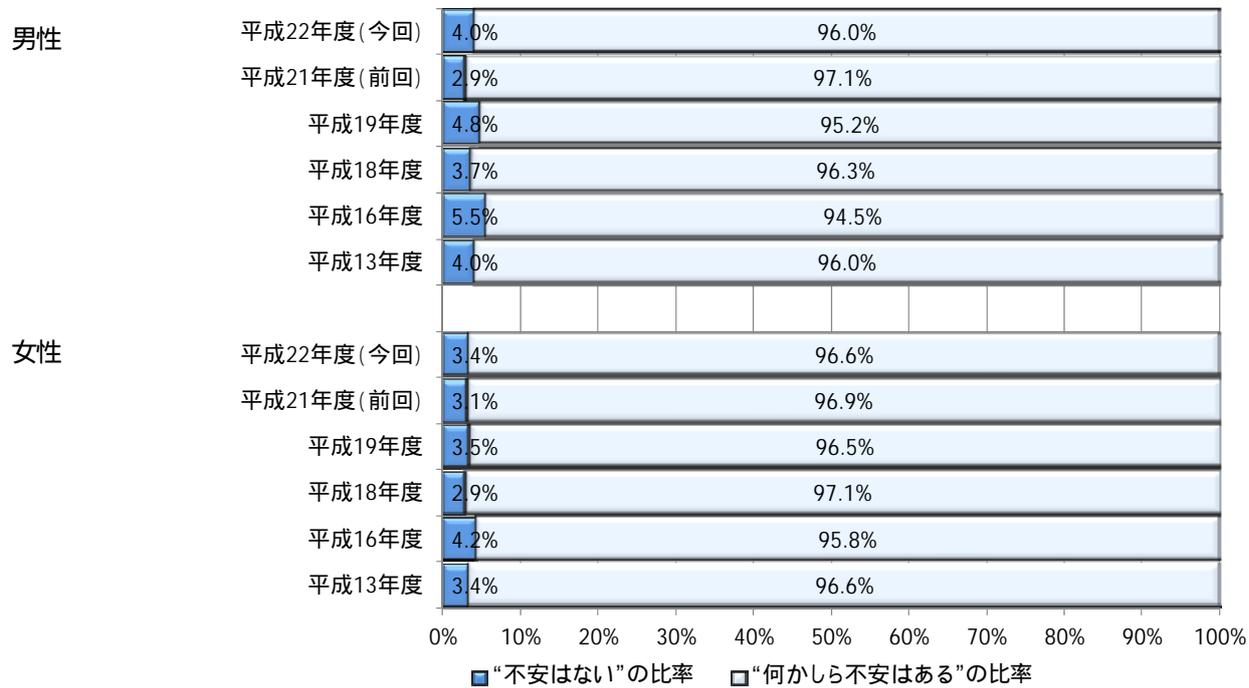
“日常生活に不安はない”という回答は3.6%でこれまでの調査と大きな差はみられません。  
大半は何かしらの不安を感じており、不安を感じている人の割合にも大きな変化はみられません。



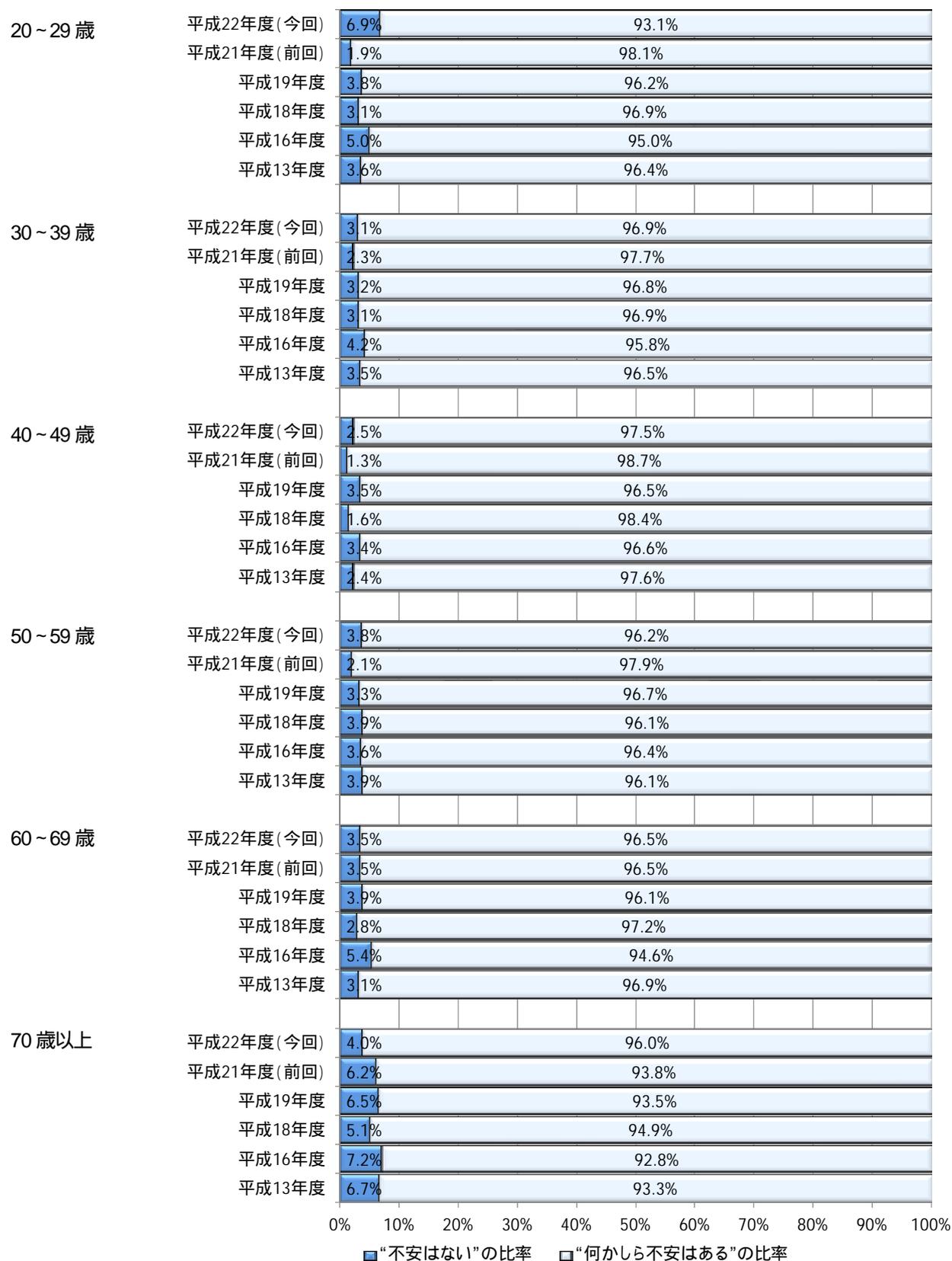
不安や心配なこととしては、“家族の健康”(54.4%)、“将来の生活や家計”(54.4%)、“将来自分や家族が必要になったときの介護”(53.6%)、“自分の健康”(48.9%)などへの回答が多くなっています。



【安心感×性別】



【安心感×年齢】



## 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第4項 福祉のための基盤整備

目的：生涯を通して、必要な時に健康福祉施設サービスが必要度に応じて利用できるようになる

指標：出産や子育てに不安や心配がない人の割合

#### (1) 目的

高齢者や障害者を含むすべての市民が、福祉の担い手であると同時に受け手であることを自覚し、相互に支えあい、施設サービスが必要となったとき、必要度に応じた施設利用ができるようにすることが重要と考えます。

#### (2) 指標

健康福祉サービスの中では、子育て支援施設の充実が最も重要な課題のひとつとなっています。そこで子育て支援施設の充足により子育てに満足している人を増やします。

#### (3) 設問

この指標は、次の設問により出産や子育てに不安や心配がない人の割合を逆説的に取得しています。「個人・態度(認知)」

Q6 あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。次の中から特に気になることをお答え下さい。(あてはまるもの全てに )

1 自分の健康	8 子どもの将来
2 家族の健康	9 住居や住まい
3 将来自分や家族が必要になったときの介護	10 財産や資産
4 現在の生活や家計	11 人との付き合い
5 将来の生活や家計	12 生きがい
6 仕事	13 その他( )
7 出産や子育て	14 特になし

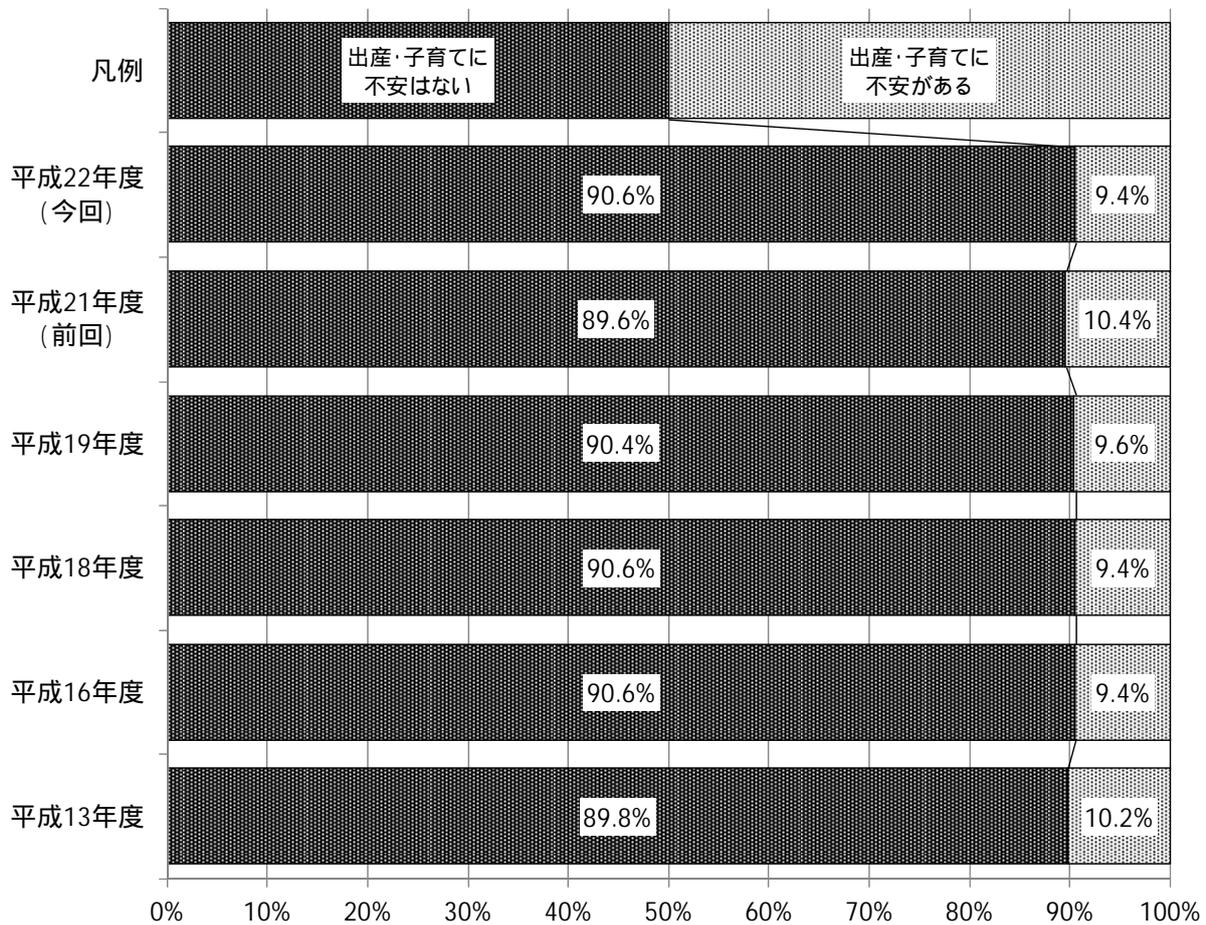
#### (4) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
出産や子育てに不安や心配がない	89.8%	90.6%	90.6%	90.4%	89.6%	<b>90.6%</b>

### (5) 指標の分析

出産や子育てについて不安を感じない人が大多数を占めています。

出産や子育てに対して不安を感じている人は9.4%であり、概ねこれまでと同様の傾向となっています。



## 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

目的：多くの市民が暮らしたいと思う文化や教育環境がある

指標：文化・教育に魅力を感じて、いつまでも住み続けたいと思う人の割合

### (1) 目的

このまちにいつまでも住み続けたい、住んでいて良かったと市民が感じ、喜びや生きがいとともに、ふるさととして愛着が感じられるまちにするためには、教育と文化も大きな役割を担っています。

### (2) 指標

松戸市の文化・教育環境の整備方針や施策の評価は、本市の定住志向に関する市民意識調査において、文化・教育の環境整備を理由に住み続けたいという市民の割合としてとらえることが的確です。今後、この評価を高めて行くことを目指します。

### (3) 設問

この指標は、「文化・教育環境の4項目の満足度」を組みあわせ聞いています。「社会・態度(評価)」

「子どもの教育環境」「文化・芸術の鑑賞や活動環境」「スポーツや健康づくりのための環境」「史跡や神社など歴史・伝統文化遺産」の4項目

Q17 あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次の各項目ごとに、あなたの考えに最も近いものをお答え下さい。(それぞれ1つに )

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
エ 子どもの教育環境	1	2	3	4	5	6
オ 文化・芸術の鑑賞や活動環境	1	2	3	4	5	6
カ スポーツや健康づくりのための環境	1	2	3	4	5	6
ス 史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産	1	2	3	4	5	6

### < 総合満足度の算出について >

文化・教育環境の4項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出しています。

- ・Q17 エ、オ、カ、スの4つの質問のそれぞれについて、選択肢に応じた評価点を付与する。
- ・該当する質問の評価点を合計し、合計点に基づいて総合満足度を判定する。

評価点	判定
「十分満足」 + 2点	+ 5点以上 (十分満足している) + 1 ~ + 4点 (まあまあ満足している) ± 0点 (普通である) - 1 ~ - 4点 (やや不満である) - 5点以下 (きわめて不満である)
「まあまあ満足」 + 1点	
「普通」 ± 0点	
「やや不満」 - 1点	
「きわめて不満」 - 2点	

該当する質問の評価点を合計する

#### (4) 指標の現状

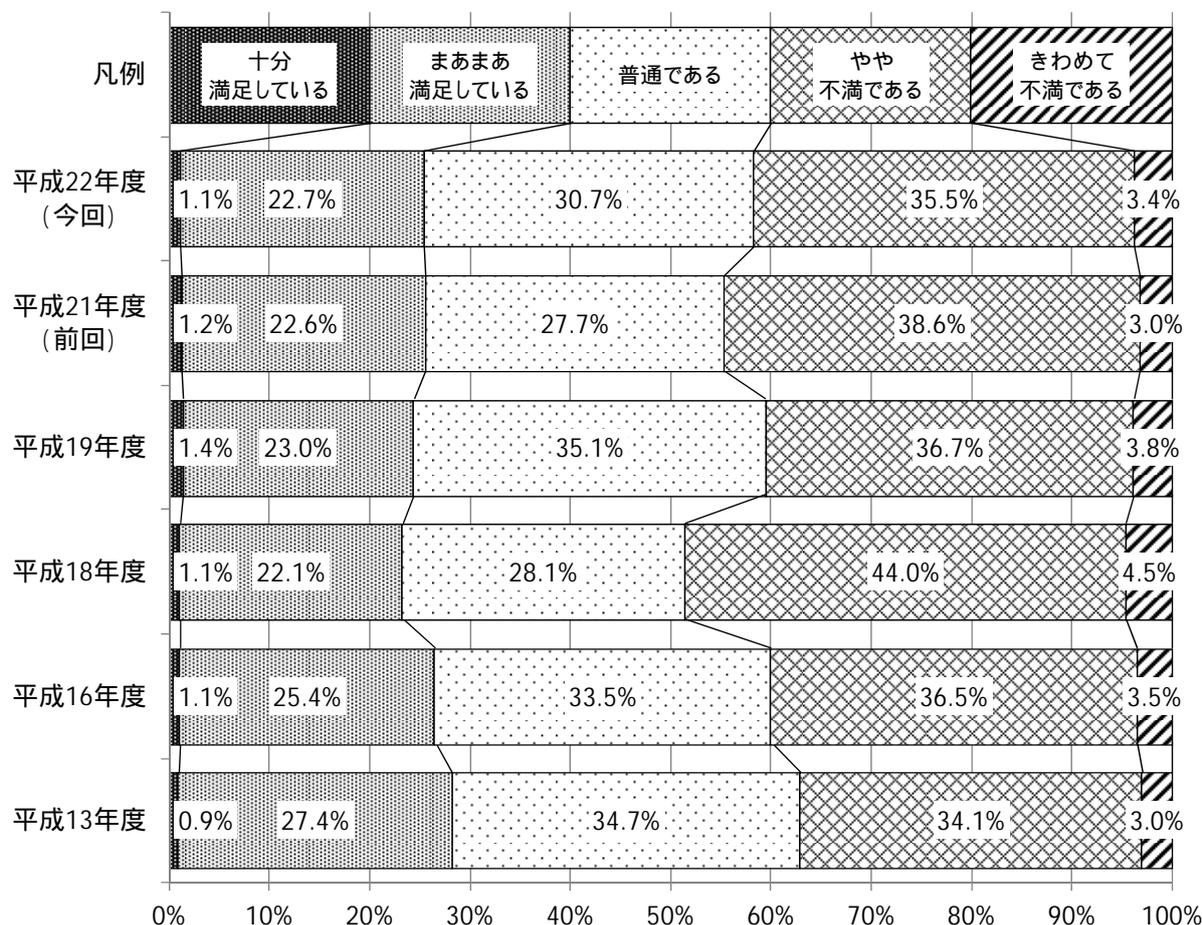
	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
十分満足しており、住み続けたい	0.7%	1.1%	1.1%	1.4%	1.2%	<b>0.8%</b>
まあまあ満足しており、住み続けたい	20.6%	20.1%	16.4%	18.3%	18.0%	<b>17.3%</b>
計	21.3%	21.2%	17.5%	19.7%	19.2%	<b>18.1%</b>

(注)「十分満足しており、住み続けたい」は文化・教育環境 4 項目の総合満足度が「十分満足している」に該当し、定住意向で“住み続けたい”と回答している人の割合です。同様に「まあまあ満足しており、住み続けたい」も文化・教育環境の総合満足度が「まあまあ満足している」に該当し、定住意向で“住み続けたい”と回答している人の割合となっています。

#### (5) 指標の分析

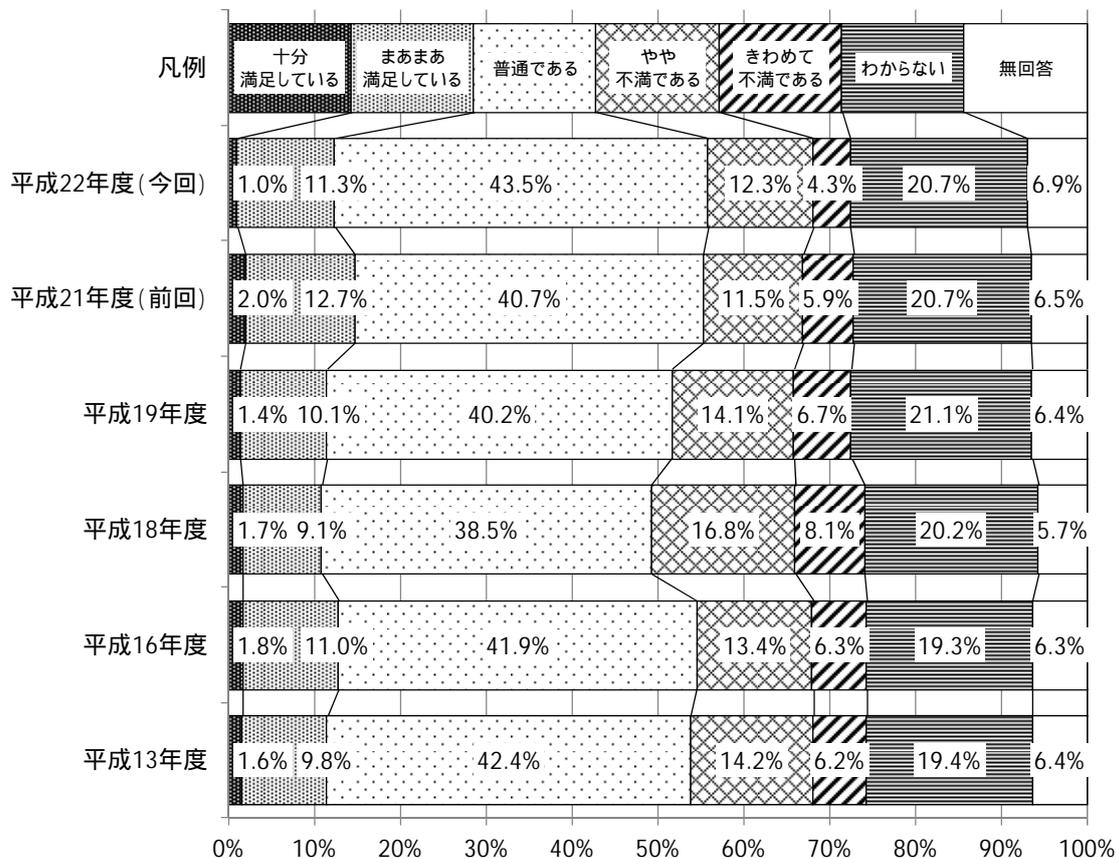
文化・教育環境については満足層よりも不満層の方が多く、満足層の定住意向は減少傾向にあります。

文化・教育環境の 4 項目の総合満足度についてみると、“十分満足している”(1.1%)、“まあまあ満足している”(22.7%)を合わせた文化・教育環境に満足している層は 23.8%となっています。反対に“やや不満である”(35.5%)、“きわめて不満である”(3.4%)を合わせた不満層は 4 割近くを占め、文化・教育環境については満足よりも不満が大きく上回っています。

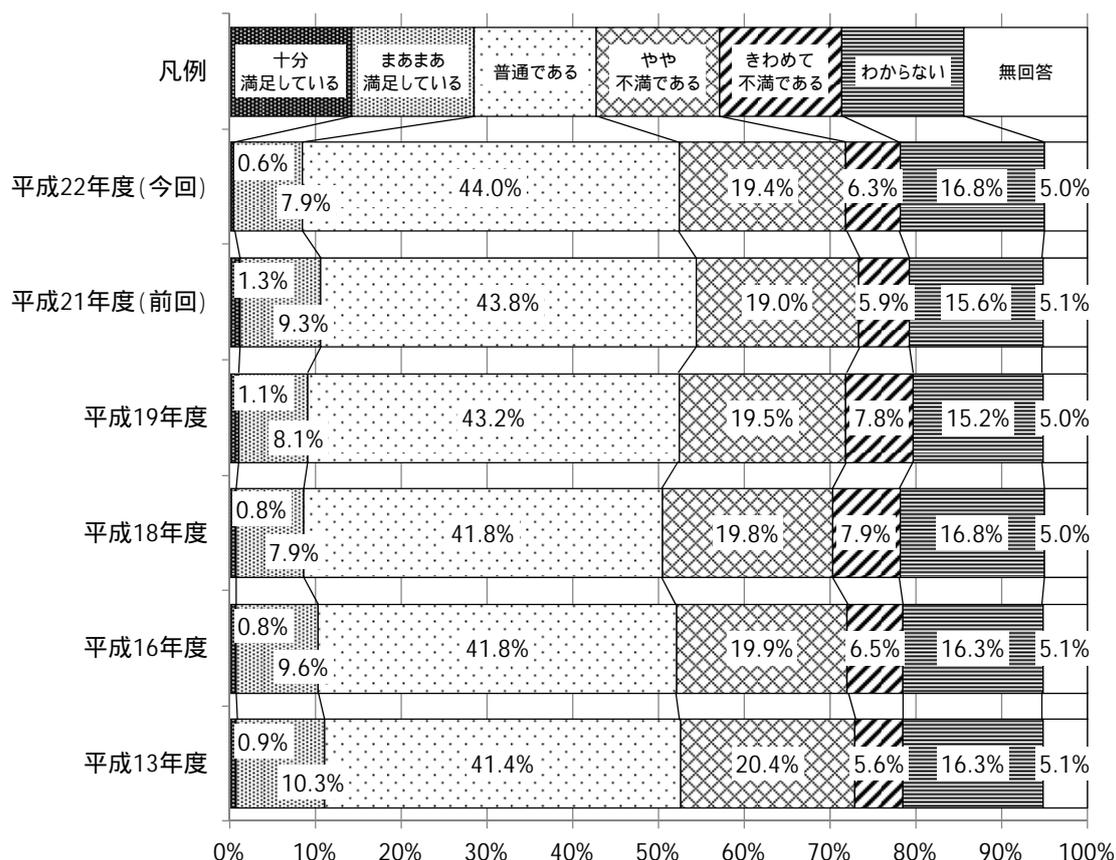


【史跡や神社など歴史・伝統文化遺産】に満足している人の割合はあまり変化がないものの、【子どもの教育環境】、【文化・芸術の鑑賞や活動環境】、【スポーツや健康づくりのための環境】の満足層はやや減少しています。

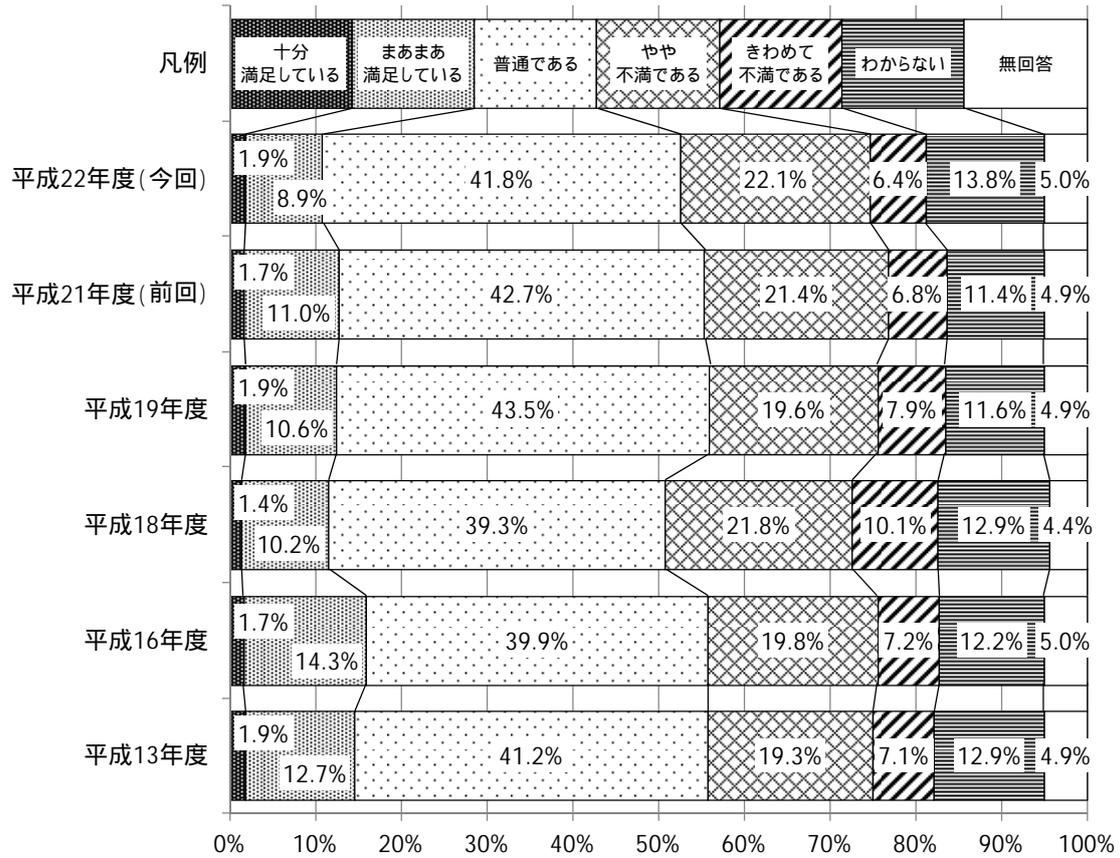
【子どもの教育環境】



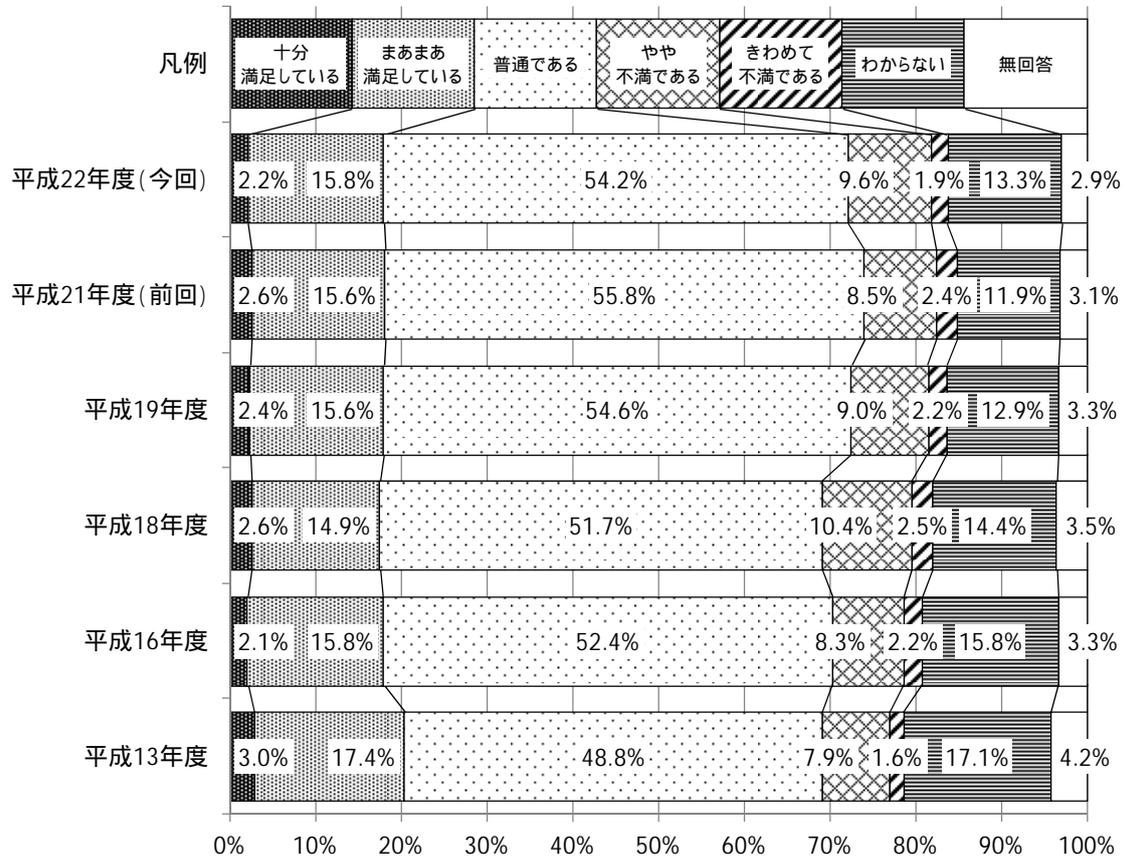
【文化・芸術の鑑賞や活動環境】



【スポーツや健康づくりのための環境】



【史跡や神社など歴史・伝統文化遺産】



## 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

### 第1項 生涯学習の推進（学習活動の割合）

目的：より多くの人々が積極的に学習活動を行い、その成果を活かすようになる

指標：学習活動を行っている人の割合

#### （1）目的

学習は、その体験を成果として何らかの形で活かすことにより、学んだ事柄が自分の中に定着し、さらに次の学習に進んでいくという構造を持っています。このことは、学習者の主体的な学習と、地域の中での多様な学習活動による学び合う関係を育てていきます。また、本市の生涯学習に関する市民意識調査においては、学習活動と地域活動との間に相関関係が認められました。

これらのことは、学習活動が地域社会での活動へと発展し、地域づくりの重要な要素となることを示唆しています。

#### （2）指標

地域づくりの基盤となる生涯学習社会の実現に向けて、学習活動に取り組む市民が多くなることを目指します。

#### （3）設問

この指標は、次の設問により期間を限定して直接的に聞いています。「個人・行動」

Q8 あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか。過去1年間を振り返って、学習活動に取り組んだ日数は平均するとどのくらいですか。

（1つに ）

1 ほぼ毎日	3 月に数日ほど	5 全くない
2 週に数日ほど	4 年に数日ほど	

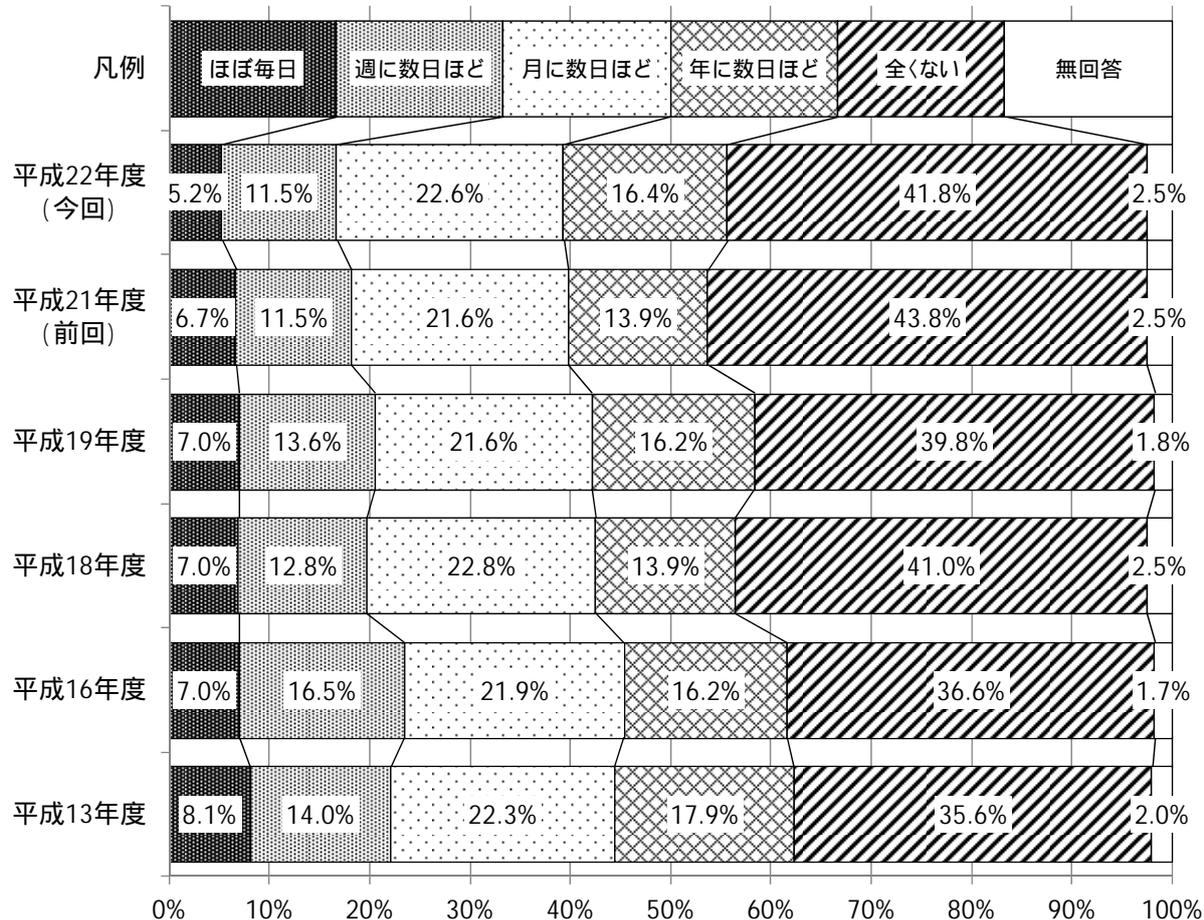
#### （4）指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度
ほぼ毎日	8.1%	7.0%	7.0%	7.0%	6.7%	5.2%
週に数日ほど	14.0%	16.5%	12.8%	13.6%	11.5%	11.5%
月に数日ほど	22.3%	21.9%	22.8%	21.6%	21.6%	22.6%
計	44.4%	45.4%	42.6%	42.2%	39.8%	39.3%

## (5) 指標の分析

定期的に学習活動を行う人は約4割を占めています。

月に数日以上自主的に学習活動を行う人は 39.3%と約 4 割を占めています。月に数日以上の定期的な学習活動を行う人の割合はわずかながら減少傾向を示しています。



### 【学習活動×性別】

